

2023年度

授業大要（シラバス）

SYLLABUS for STUDENTS

MATSUMOTO DENTAL UNIVERSITY

（第 4 学年）

松本歯科大学

建学の理念

佐久間象山 福沢諭吉両先生の学訓に従い

国手的精神に立脚し

教育と研究の有機的結合を強固にして大学の本質を常に究め

近代民主主義の本源的価値観と世界観を確立し

人間の尊厳を認識せしめつつ民主主義的人格を陶冶し

深遠な真理を追求しつつ科学思想昂揚の完璧を期するにある

過去より未来を通じての現代の世界史的位置を認識せしめ

偉大な人類の業績を讃えると共に

未来への方法と科学的展望を確立せしめる

教学一致の不断の研鑽と遠大な理想に基づき

輝ける高雅な環境の醸成につとめ

自治の尊厳を守り

芸術を尊び高度の情操を育成せしめる

創立者

矢崎 康

3つのポリシー

教育目標を達成するために必要な3つのポリシー、すなわち「アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）」、「カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）」及び「ディプロマ・ポリシー（卒業認定に関する方針）」を制定しています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1. 歯科医師になろうとする強い意志を持っている。
2. 歯科医学を習得するために必要な基礎的な学力を備えている。
3. 生命科学を学ぼうとする意欲を備えている。
4. 相手を理解し、自分の意思を適確に伝えることができる。
5. 諸問題を抽出・理解し、自分の考えをまとめることができる。
6. 国際的視野で思考し社会に貢献しようと考えている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

松本歯科大学は豊かな人間性を有した歯科医師を育成するために、以下にカリキュラムポリシーを定める。

1. ディプロマポリシーを達成するために6年一貫の弾力的なカリキュラム編成を行う。
2. 歯科医師として具備すべき、教養、倫理観を育成するために人文科学系科目、社会科学系科目を設置する。
3. 歯科医学の基礎及び臨床科目の理解に必要な知識を育成するために、自然科学系科目を設置する。
4. 歯科医学を勉学する動機づけのために早期体験型科目を設置する。
5. 国際的視野で社会貢献するために必要な外国語能力やコミュニケーション能力を養成する科目を設置する。
6. 歯科医療の専門知識と技能を養成するために専門基礎科目及び専門臨床科目を設置する。
7. 歯科医師として必要な知識・技能・態度を修得するために、診療参加型臨床実習を行う。

ディプロマ・ポリシー（卒業に関する方針）

1. 歯科医師として倫理観を身につける。
2. 歯科医師として自己研鑽する態度を身につける。
3. 歯科医師として必要な基礎的知識を身につける。
4. 歯科医師として必要な基本的技能を身につける。
5. 歯科医学の問題を自然・社会・人文科学的方法を統合して解決する能力を身につける。
6. 歯科医師として国際的視野に基づいて社会貢献する態度を身につける。

2023年度 授業科目履修基準表

学則 第8条 別表2

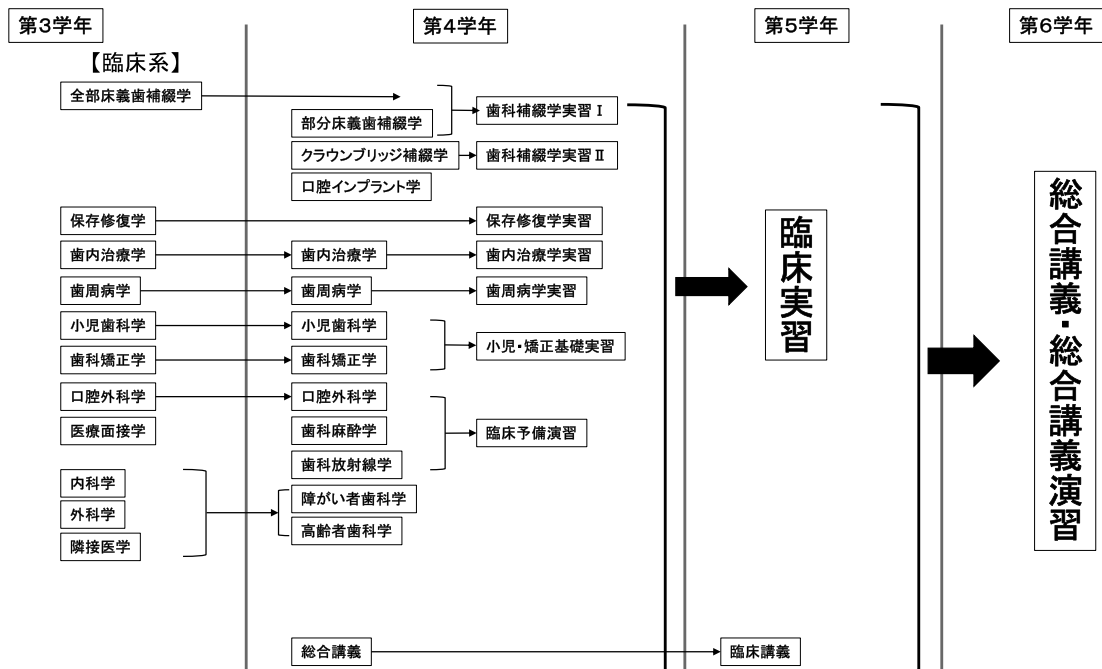
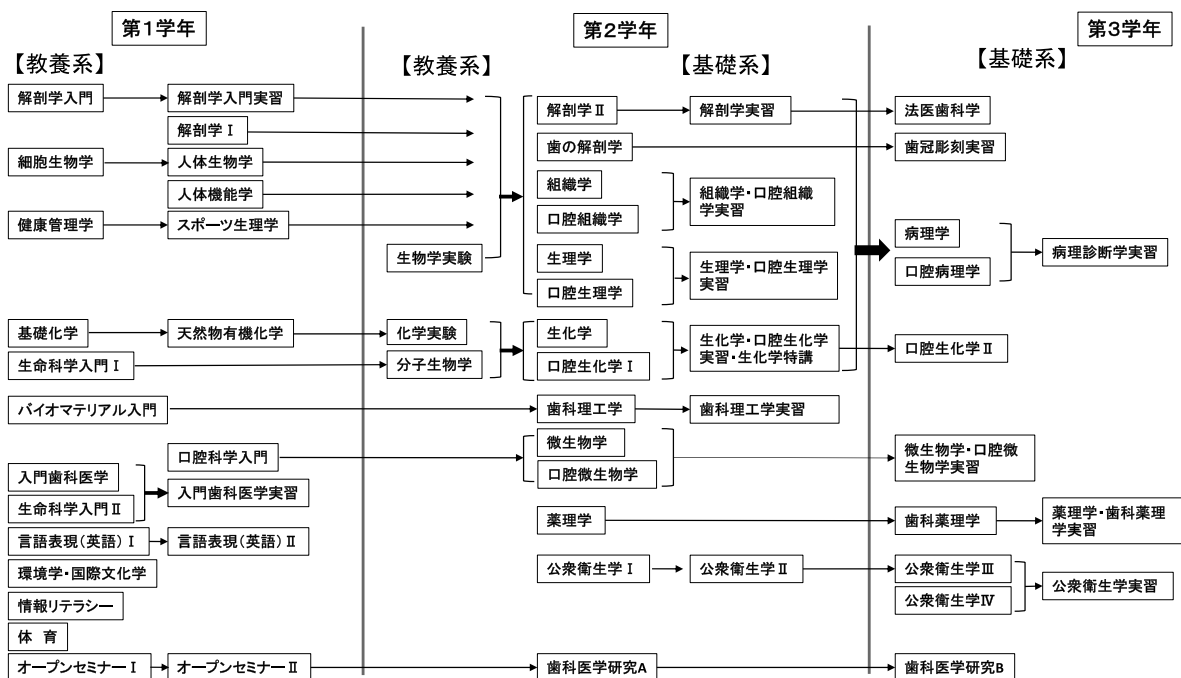
	科目 コード	学 科 目	授業形態	履修区分	履修数		履 修 学 年 及 び 履 修 期						備 考						
					時間	単位	第1学年		第2学年		第3学年			第4学年	第5学年	第6学年			
							前期	後期	前期	後期	前期	後期		全期	全期	全期			
教 養 教 育 科 目	A1010	入 門 歯 科 医 学	講義	必修	30	1	1												
	A1020	生 命 科 学 入 門Ⅰ	講義	必修	30	1	1												
	A1025	生 命 科 学 入 門Ⅱ	講義	必修	30	1	1												
	A1030	入 門 歯 科 医 学 実 習	実習	必修	120	4	2	2											
	A1041	人 体 機 能 学	講義	必修	30	1	1												
	A1046	環 境 学・国 際 文 化 学	講義	必修	30	1	1												
	A1050	体 育	実技	必修	60	2	1	1											
	A1060	情 報 リ テ ラ シ ー	講義	必修	30	1		1											
	A1070	口 腔 科 学 入 門	講義	必修	30	1		1											
	A1080	解 剖 学 入 門	講義	必修	30	1	1												
	A1100	言 語 表 現 (英 語)Ⅰ	講義	必修	60	2	2												
	A1110	言 語 表 現 (英 語)Ⅱ	講義	必修	60	2		2											
	A1160	基 礎 化 学	講義	必修	60	2	2												
	A1170	天 然 物 有 機 化 学	講義	必修	30	1		1											
	A1175	バ イ オ マ テ リ ア ル 入 門	講義	必修	30	1		1											
	A1180	健 康 管 理 学	講義	必修	30	1	1												
	A1185	ス ポ ー ツ 生 理 学	講義	必修	30	1		1											
	A1190	細 胞 生 物 学	講義	必修	30	1	1												
	A1195	人 体 生 物 学	講義	必修	30	1		1											
	A1200	オ ー プ ン セ ミ ナ ーⅠ	講義・演習	選択	30	1	(1)												
A1210	オ ー プ ン セ ミ ナ ーⅡ	講義・演習	選択	30	1		(1)										() 選択必修科目		
A2010	化 学 実 験	実験	必修	30	1			1											
A2020	生 物 学 実 験	実験	必修	30	1			1											
A2030	分 子 生 物 学	講義	必修	30	1			1											
小 計					930	31	28	単位	3	単位	0	単位	0	単位	0	単位	0	単位	
専 門 教 育 科 目	B1090	解 剖 学Ⅰ	講義	必修	30	1		1		3	単位	0							
	B1120	解 剖 学 入 門 実 習	実習	必修	30	1		1											
	B2050	解 剖 学Ⅱ	講義	必修	30	1			1										
	B2060	歯 の 解 剖 学	講義	必修	30	1				1									
	B2070	解 剖 学 実 習	実習	必修	120	4			1	3									
	B2080	組 織 学	講義	必修	30	1			1										
	B2090	口 腔 組 織 学	講義	必修	30	1				1									
	B2095	組織学・口腔組織学実習	実習	必修	90	3				3									
	B2100	生 理 学	講義	必修	60	2			2										
	B2110	口 腔 生 理 学	講義	必修	30	1				1									
	B2120	生理学・口腔生理学実習	実習	必修	60	2				2									
	B2130	生 化 学	講義	必修	60	2			2										
	B2140	口 腔 生 化 学Ⅰ	講義	必修	30	1				1									
	B3030	口 腔 生 化 学Ⅱ	講義	必修	30	1					1								
	B2150	生化学・口腔生化学実習・生化学特講	実習	必修	60	2				2									
	B2160	微 生 物 学	講義	必修	60	2			2										
	B2165	口 腔 微 生 物 学	講義	必修	30	1				1									
	B3050	微生物学・口腔微生物学実習	実習	必修	60	2				2									
	B2170	薬 理 学	講義	必修	30	1				1									
	B3060	歯 科 薬 理 学	講義	必修	60	2					2								
	B3070	薬理学・歯科薬理学実習	実習	必修	60	2					2								
	B2175	公 衆 衛 生 学Ⅰ	講義	必修	30	1			1										
	B2176	公 衆 衛 生 学Ⅱ	講義	必修	30	1				1									
	B3090	公 衆 衛 生 学Ⅲ	講義	必修	30	1					1								
	C3095	公 衆 衛 生 学Ⅳ	講義	必修	30	1						1							
	B3100	公 衆 衛 生 学 実 習	実習	必修	60	2						2							
	B3110	病 理 学	講義	必修	60	2					2								
	B3130	口 腔 病 理 学	講義	必修	60	2						2							
	B3120	病理診断学実習	実習	必修	90	3						3							
	B2180	歯 科 理 工 学	講義	必修	90	3			2	1									
	B2190	歯 科 理 工 学 実 習	実習	必修	60	2				2									
	C3150	全 部 床 義 歯 補 綴 学	講義	必修	60	2					1	1							
	C4010	歯 科 補 綴 学 実 習Ⅰ	実習	必修	90	3							3						
	C4020	部 分 床 義 歯 補 綴 学	講義	必修	60	2							2						
	C4030	歯 科 補 綴 学 実 習Ⅱ	実習	必修	90	3							3						
	C4040	ク ラ ウ ン プ リ ッ ジ 補 綴 学	講義	必修	60	2							2						
	C3160	歯 冠 彫 刻 実 習	実習	必修	60	2					2								
	C3170	保 存 修 復 学	講義	必修	60	2					1	1							
	C4060	保 存 修 復 学 実 習	実習	必修	90	3							3						
	C3180	小 児 歯 科 学	講義	必修	30	1						1							
	C4065	小 児 歯 科 学	講義	必修	30	1							1						
	C3190	歯 科 矯 正 学	講義	必修	30	1						1							
	C4080	歯 科 矯 正 学	講義	必修	30	1							1						
	C4095	小 児 ・ 矯 正 基 礎 実 習	実習	必修	60	2							2						
	C3200	口 腔 外 科 学	講義	必修	30	1						1							
	C4100	口 腔 外 科 学	講義	必修	60	2							2						
	C4110	歯 科 麻 酔 学	講義	必修	60	2							2						
	C4120	歯 科 放 射 線 学	講義	必修	60	2							2						
	C3205	歯 内 治 療 学	講義	必修	30	1						1							
	C4130	歯 内 治 療 学	講義	必修	30	1							1						
C4140	歯 内 治 療 学 実 習	実習	必修	60	2							2							
C3210	歯 周 病 学	講義	必修	30	1						1								
C4150	歯 周 病 学	講義	必修	30	1							1							
C4160	歯 周 病 学 実 習	実習	必修	60	2							2							
C3220	内 科 学	講義	必修	60	2					1	1								
C4105	口 腔 イ ン プ ラ ン ト 学	講義	必修	30	1							1							
C3254	法 医 歯 科 学	講義	必修	30	1					1									
C4180	障 が い 者 歯 科 学	講義	必修	30	1							1							
C4185	高 齢 者 歯 科 学	講義	必修	30	1							1							
C4187	摂 食 嚥 下 療 法 学	講義	必修	30	1							1							
C3251	医 療 面 接 学	講義	必修	30	1					1									
C3015	臨 牀 医 学	講義	必修	30	1						1								
B2210	歯 科 医 学 研 究 A	演習	選択	30	(1)				(1)								() 自由選択科目		
B3260	歯 科 医 学 研 究 B	演習	選択	30	(1)						(1)								
C4192	臨 床 予 備 演 習	演習	必修	60	2							2							
C4200	総 合 講 義 4 年	講義	必修	150	5							5							
D5001	臨 床 講 義	講義	必修	285	9									9					
E6010	総 合 講 義 6 年	講義	必修	1125	36											36			
E6050	総 合 講 義 演 習	演習	必修	225	5											5			
D5500	臨 床 実 習	実習	必修	1575	35										35				
小 計					6510	193	2	単位	32	(33) 単位	34	(35) 単位	40	単位	44	単位	41	単位	
合 小 計					7440	224	(226)	30	単位	35	(36) 単位	34	(35) 単位	40	単位	44	単位	41	単位

2023年度卒業認定・学位授与の当該授業科目一覧表

ディプロマ・ポリシー

DP1	1. 歯科医師としての倫理観を身につける。
DP2	2. 歯科医師として自己研鑽する態度を身につける。
DP3	3. 歯科医師として必要な基礎的知識を身につける。
DP4	4. 歯科医師として必要な基本的技能を身につける。
DP5	5. 歯科医学の問題を自然・社会・人文科学的方法を統合して解決する能力を身につける。
DP6	6. 歯科医師として国際的視野に基づいて社会貢献する態度を身につける。

	No	学 科 目	ディプロマ・ポリシー					
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
教 養 教 育 科 目	A1010	入門歯科医学	○	○	○			
	A1020	生命科学入門Ⅰ		○	○		○	
	A1025	生命科学入門Ⅱ		○	○		○	
	A1030	入門歯科医学実習		○	○	○		
	A1041	人体機能学		○	○		○	
	A1046	環境学・国際文化学		○	○		○	○
	A1050	体育		○	○			
	A1060	情報リテラシー		○	○	○	○	
	A1070	口腔科学入門		○	○		○	
	A1080	解剖学入門		○	○		○	
	A1100	言語表現（英語）Ⅰ		○	○			○
	A1110	言語表現（英語）Ⅱ		○	○			○
	A1160	基礎化学		○	○		○	
	A1170	天然物有機化学		○	○		○	
	A1175	バイオマテリアル入門		○	○		○	
	A1180	健康管理学		○	○		○	
	A1185	スポーツ生理学		○	○		○	
	A1190	細胞生物学		○	○		○	
	A1195	人体生物学		○	○		○	
	A1200	オープンセミナーⅠ		○	○		○	
	A1210	オープンセミナーⅡ		○	○		○	
	A2010	化学実験		○	○		○	
	A2020	生物学実験		○	○		○	
	A2030	分子生物学		○	○		○	
専 門 教 育 科 目	B1090	解剖学Ⅰ		○	○			
	B1120	解剖学入門実習		○	○			
	B2050	解剖学Ⅱ		○	○			
	B2060	歯の解剖学		○	○			
	B2070	解剖学実習	○	○	○			
	B2080	組織学		○	○			
	B2090	口腔組織学		○	○			
	B2095	組織学・口腔組織学実習		○	○			
	B2100	生理学		○	○			
	B2110	口腔生理学		○	○			
	B2120	生理学・口腔生理学実習		○	○			
	B2130	生化学		○	○			
	B2140	口腔生化学Ⅰ		○	○			
	B3030	口腔生化学Ⅱ		○	○			
	B2150	生化学・口腔生化学実習、生化学特講		○	○			
	B2160	微生物学		○	○			
	B2165	口腔微生物学		○	○			
	B3050	微生物学・口腔微生物学実習		○	○			
	B2170	薬理学		○	○			
	B3060	歯科薬理学		○	○			
	B3070	薬理学・歯科薬理学実習		○	○			
	B2175	公衆衛生Ⅰ		○	○			
	B2176	公衆衛生Ⅱ		○	○			
	B3090	公衆衛生Ⅲ		○	○			
	C3095	公衆衛生Ⅳ	○	○	○			
	B3100	公衆衛生学実習	○	○	○			
	B3110	病理学		○	○			
	B3130	口腔病理学		○	○			
	B3120	病理診断学実習		○	○	○		
	B2180	歯科理工学		○	○			
	B2190	歯科理工学実習		○	○	○		
	C3150	全部床義歯補綴学		○	○			
	C4010	歯科補綴学実習Ⅰ		○	○	○		
	C4020	部分床義歯補綴学		○	○			
	C4030	歯科補綴学実習Ⅱ		○	○	○		
	C4040	クランプブリッジ補綴学		○	○			
	C3160	歯冠形成実習		○	○	○		
	C3170	保存修復学		○	○			
	C4060	保存修復学実習		○	○	○		
	C3180	小児歯科学		○	○			
	C4065	小児歯科学		○	○			
	C3190	歯科矯正学		○	○			
	C4080	歯科矯正学		○	○			
	C4095	小児・矯正基礎実習		○	○	○		
	C3200	口腔外科学		○	○			
	C4100	口腔外科学		○	○			
	C4110	歯科麻酔学		○	○			
	C4120	歯科放射線学		○	○			
	C3205	歯内治療学		○	○			
	C4130	歯内治療学		○	○			
	C4140	歯内治療学実習		○	○	○		
	C3210	歯周病学		○	○			
	C4150	歯周病学		○	○			
	C4160	歯周病学実習		○	○	○		
	C3220	内科学		○	○		○	
	C4105	口腔インプラント学		○	○		○	
	C3254	法医学		○	○			
	C4180	障がい者歯科学	○	○	○	○		
	C4185	高齢者歯科学		○	○			
	C4187	摂食嚥下療法		○	○			
	C3251	医療面接学		○	○			
	C3015	隣接医学		○	○	○		
	B2210	歯科医学研究 A		○	○		○	
	B3260	歯科医学研究 B		○	○		○	
	C4192	臨床予備演習	○	○	○		○	
	C4200	総合講義4年	○	○	○	○		
	D5001	臨床講義	○	○	○			
	E6010	総合講義6年	○	○	○			
	E6050	総合講義演習	○	○	○		○	
	D5500	臨床実習	○	○	○	○	○	
	D5500	臨床実習	○	○	○	○	○	
合 計			8	91	91	14	23	3



2023年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧表

	学 科 目	授業 形態	履修 区分	履修数		学年	実務経験 職種	主な担当者 (実務経験のある教員)	実務経験と教育内容の関連性
				時間	単位				
専門	全部床義歯補綴学	講義	必修	60	2	3	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口菓子、吉田裕哉、鷹股哲也	歯及び顎口腔系の喪失に伴う形態変化と機能喪失により低下したQOLを可塑性補綴装置により改善させる欠損補綴学の講義をする。
	歯科補綴学実習Ⅰ	実習	必修	90	3	4	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口菓子、吉田裕哉、霜野良介、平井博一郎、吉野旭宏、谷内秀寿、篠原聖武、秋山友里	可塑性補綴装置により改善させる有床義歯の基本的な臨床手法ならびに製作法の実習を行う。
	部分床義歯補綴学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口菓子、吉田裕哉、霜野良介	部分欠損患者の機能回復の手段となる部分床義歯を中心に学理と技法の講義を行う。
	歯科補綴学実習Ⅱ	実習	必修	90	3	4	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口菓子、吉田裕哉、霜野良介、平井博一郎、吉野旭宏、谷内秀寿、篠原聖武、秋山友里	欠損歯列模型を用いて、部分欠損の補綴装置ならびに歯冠補綴装置を製作する術式について実習する。
	クラウンブリッジ補綴学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口菓子、吉田裕哉、霜野良介	クラウンブリッジによる機能回復法ならびにその術後管理に関する講義を行う。
	歯冠彫刻実習	実習	必修	60	2	3	歯科医師	金銅英二、亀山敦史、森啓、小町谷美帆、小松佐保	歯冠修復物の形態的具備要件を臨床上適切、かつ効率的に適用するために必要な歯冠形態、咬合関係の回復に関する実習を行う。
	保存修復学	講義	必修	60	2	3	歯科医師	亀山敦史、森啓、小町谷美帆、小松佐保	歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する講義を行う。
	保存修復学実習	実習	必修	90	3	4	歯科医師	亀山敦史、山本昭夫、森啓、小町谷美帆、小松佐保、中村圭吾、宮國西、奥瀬稔之	歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する実習を行う。
	小児歯科学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	大須賀直人、正村正仁、中村浩志、中山聡	小児期から成人に至る口腔機能について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	歯科矯正学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	川原良美	矯正歯科治療の意義と目的及び不正咬合に対する矯正歯科治療の必要性とその意義について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	小児・矯正基礎実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	大須賀直人、正村正仁、中村浩志、川原良美、中山聡、森山敬太、村岡理奈、西村恵子、深沢香葉子、中根隆橋本達也、丸山歩美	乳歯の窩洞形成法、歯冠修復法や歯内療法、小児のブラッシング方法、保険装置の製作法、矯正装置の構造と作用機序を理解し、それらの作製法および調整方法について実習を行う。
	口腔外科学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	栗原祐史、芳澤享子、富士安奈、佐藤工	口腔外科領域の疾患（外傷、口腔粘膜疾患、腫瘍、囊腫、顎関節疾患、唾液腺疾患、神経疾患、顎変形症）の原因、発生機序・症状および口腔領域に関わる全身疾患の病態と罹患患者に対する口腔外科的治療法について講義をする。
		講義	必修	60	2	4			
	歯科麻酔学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	澁谷徹、谷山貴一	歯科治療における全身管理、局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔の基本、救急処置の基本、口腔顎顔面領域の慢性痛と神経麻痺、および医療事故防止のための安全管理について講義をする。
	歯科放射線学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	田口明、杉野紀幸、黒岩博子	歯科治療における画像検査法の特徴と適応ならびに画像診断、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法および放射線治療の基礎について講義をする。
	歯内治療学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	増田宜子	歯の健康を回復し、歯の機能を維持させるために、歯・歯周組織の構造と機能を理解し、歯の硬組織疾患、歯髓疾患、発生性歯周組織疾患の概要、原因、症状、検査、診断および処置法について講義をする。
		講義	必修	30	1	4	歯科医師		
	歯内治療学実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	増田宜子、小町谷美帆、尾崎友輝、中村卓、小松佐保、石岡康明、中村圭吾、宮國西、岩崎拓也、奥瀬稔之、水谷莉紗、水谷隆一、甲田調子	触蝕を指摘し、臨床応用できる基本的な技術をマネキン、顎模型、レジン歯によるシミュレーションシステムにより実習する。
	歯周病学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	吉成伸夫、尾崎友輝、出分葉々衣、中村卓、石岡康明	歯周組織の形態的・機能的特性、歯周病の病因に基づいて歯周疾患の検査、診断、病態、分類、疫学について各種治療法と、予防法について講義をする。
		講義	必修	30	1	4	歯科医師		
	歯周病学実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	吉成伸夫、尾崎友輝、出分葉々衣、中村卓、石岡康明、田井康寛、水谷隆一、上原龍一、原美音	歯周病学の病因、理論を基に、臨床に必要な歯周病の診断、各種歯周治療法や術式などの基礎的技術を模型により実習を行う。
	内科学	講義	必修	60	2	3	医師	佐藤晶、川茂幸	医師として実務経験のある教員が、内科的疾患の病態と治療に関する身体の総合的かつ内科的な疾患を歯科医師としての関わりについて講義をする。
	口腔インプラント学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口菓子、吉野旭宏、矢島安朝	インプラント治療を適切に説明し実践するために、インプラント治療の目的と意義、治療計画、手術方法、装着後のメンテナンスまでの治療などについて講義を行う。
	障がい者歯科学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之	スペシャルニーズのある（特別な対応を要する）人への歯科保健と歯科医療について講義をする。
	高齢者歯科学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之	全身疾患を有する高齢者への歯科保健と歯科医療について講義をする。
	摂食嚥下療法学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之	摂食嚥下機能障害を有する障害児・者ならびに高齢者への講義を行う。
	医療面接学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	森啓	歯科臨床における医療面接について、倫理的配慮より適切に患者症状を聴取することができるようになるよう講義をする。
	隣接医学	講義	必修	30	1	3	医師	皮膚科：林宏一、鈴木啓之 精神医学：石川紘一 耳鼻咽喉科：相馬啓子	それぞれの担当科で歯科口腔領域との関連疾患の診断、治療について講義をする。
	臨床実習	実習	必修	1575	35	5	歯科医師	吉成伸夫、山本昭夫、亀山敦史、増田宜子、黒岩弘、栗原祐史、芳澤享子、影山徹、川原良美、大須賀直人、田口明、内田啓一、配島弘之、澁谷徹、樋口大輔	精巧なマネキンを使っているのシュミレーション実習、学生相互による診療行為、医局員による診療の見学と介助、さらには指導者の直接の監督下での診療行為を実施する。
合 計				3015	83				
省令で定める基準単位数					19				

2023年度 前期 時間割表

学年	第 1 学 年					第 2 学 年					第 3 学 年		第 4 学 年	第 5 学 年	第 6 学 年
	月	日	A	B	C	D	A	B	C	D	A・B	Weekly Test	Weekly Test	本・601	本・602
月	1	9:00～	Weekly Test					図書会館・学生ホール					講・201		
	2	10:40～	英語表現(英語)Ⅰ(3クラス編成)					生化学					全部授業普通科学		
	3	13:10～	環境学・国際文化学					解剖学実習					(堀口) 講・201		
	4	14:50～	人体機能学					生化学実習					東理学・歯科薬理学実習		
	5	16:30～	日本経済演習(留学生) 講・101・102・105					※化学実験・生物実験は1クラス単位で交互に行う					(齊) 実・317・308、講・201		
火	1	9:00～	生命科学入門Ⅰ					総論科学					歯科薬理学		
	2	10:40～	入門理科医学					生化学					(堀口) 講・202		
	3	13:10～	生命科学入門Ⅱ					生化学実習					歯科薬理学		
	4	14:50～	入門理科医学実習(8班編成)					解剖学実習					(堀口) 講・202		
	5	16:30～	日本経済演習(留学生) 講・101・102・105					※化学実験・生物実験は1クラス単位で交互に行う					保存修復学実習		
水	1	9:00～	細胞生物学					生化学					(堀口) 実・101・312		
	2	10:40～	基礎化学3(クラス編成)					生化学実習					部分授業普通科学		
	3	13:10～	入門理科医学実習(8班編成)					解剖学実習					(堀口) 講・202		
	4	14:50～	(管内) GI:101、病院地					生化学実習					部分授業普通科学		
	5	16:30～	日本経済演習(留学生) 講・101・102・105					※化学実験・生物実験は1クラス単位で交互に行う					部分授業普通科学		
木	1	9:00～	解剖学入門					分子生物学					普通科学		
	2	10:40～	言語表現(英語)Ⅰ(3クラス編成)					解剖学Ⅱ					(吉成) 講・202		
	3	13:10～	体育(ABクラス)					微生物学					クワンブリッジ構想学		
	4	14:50～	(米重・安藤) 体育館・陸上競技場					微生物学実習					(堀口) 講・202		
	5	16:30～	日本経済演習(留学生) 講・101・102・105					※編入留学生は日本語演習を履修 講・101・102・105					普通科学実習		
金	1	9:00～	歯科薬理学					歯科薬理学					歯科薬理学		
	2	10:40～	基礎化学3(クラス編成)					歯科薬理学Ⅱ					(堀口) 講・202		
	3	13:10～	オーブンセミナーⅠ(選択)					微生物学					口腔外科学		
	4	14:50～	体育(CDクラス)					微生物学実習					(堀口) 講・202		
	5	16:30～	日本経済演習(留学生) 講・101・102・105					※編入留学生は日本語演習を履修 講・101・102・105					歯科薬理学実習Ⅰ		
土	1	9:00～	Weekly Test					歯科薬理学					歯科薬理学		
	2	10:30～	Weekly Test					歯科薬理学					歯科薬理学		

2023年度 後期 時間割表

学年		第 1 学 年				第 2 学 年				第 3 学 年				第 4 学 年	第 5 学 年	第 6 学 年
曜日 時間		A	B	C	D	A	B	C	D	A・B	Weekly Test	C・D		Weekly Test		
月	1 9:00~	Weekly Test				図書金館・学生ホール CI:101				講:201				総合講義0年 本:601		
	2 10:40~	言語表現(英語Ⅱ)(クラス編成)				歯科理工学 (黒岩) 実:312				(樋口) 講:201				歯科総論学 (黒谷) 講:202		
	3 13:10~	入門歯科医学実習(8班編成)				生理学・口腔生理学実習 (北川) 実:113				歯周病学 (吉成) 講:201				総合講義4年 本:602		
	4 14:50~	(谷内) CI:101・病院地				解剖学実習 (金館) 本:解剖実習室				歯科医学研究Ⅱ(選択) (中村)				総合講義4年 講:202		
	5 16:30~	日本語演習(留学生) 講:101・102・105												総合講義4年 本:602		
火	1 9:00~	日本語演習(留学生) 講:101・102・105				薬理学 (実) 実:312				小児歯科学 (大須賀) 講:201				総合講義6年 本:602		
	2 10:40~	解剖学Ⅰ (金館) 実:216				口腔生理学Ⅰ (宇田川) 実:312				歯内治療学 (増田) 講:201				総合講義6年 本:602		
	3 13:10~	情報リテラシー (中村) 実:CI:101				生理学・口腔生理学実習 (北川) 実:113				公衆衛生学実習 (山賀) 実:212・216				総合講義6年 本:602		
	4 14:50~					解剖学実習 (金館) 本:解剖実習室				小児歯科学・歯科矯正学実習 小児欠損(須賀・南正)(山原良) 実:101				総合講義6年 本:602		
	5 16:30~	日本語演習(留学生) 講:101・102・105												総合講義6年 本:602		
水	1 9:00~	口腔科学入門 (吉田) 実:216				口腔生理学 (北川) 実:312				口腔外科学 (実原) 講:202				総合講義6年 本:602		
	2 10:40~	天然物科機化学 (山下) 実:216				口腔組織化学 (中村) 実:312				口腔生理学 (村上) 講:201				総合講義6年 本:602		
	3 13:10~	解剖学入門実習 (田所) CI:101				公衆衛生学Ⅱ (山賀) 実:312				臨床予備演習 (森) 多目的室他				総合講義6年 本:602		
	4 14:50~					歯科医学研究Ⅱ(選択) (中村)				病理診断学実習 (村上) 実:201				総合講義6年 本:602		
	5 16:30~	日本語演習(留学生) 講:101・102・105				※編入専学生は日本語演習を履修 講:101・102・105				補 習				総合講義6年 本:602		
木	1 9:00~	人体生物学 (安藤) 実:216				歯科理工学実習 (黒岩) 実:101・113				補 習				総合講義6年 本:602		
	2 10:40~	言語表現(英語Ⅱ)(クラス編成)				歯科理工学実習 (黒岩) 実:101・113				歯科矯正学 (川原良) 講:201				総合講義6年 本:602		
	3 13:10~	体育(ABクラス)				生理学・口腔組織化学実習 (中村) 3時間(7月) 実:216 4・5時間 実:207				隣接医学(耳鼻咽喉科学・皮膚科学・精神医学) (相馬5コマ・前本5コマ・石川4コマ) 講:201				総合講義6年 本:602		
	4 14:50~	(米笠・安藤) 体育館・地上競技場				小児歯科学・口腔組織化学実習 (小林) 実:312・317				歯内治療学実習 (増田) 実:101				総合講義6年 本:602		
	5 16:30~					※編入専学生は日本語演習を履修 実:101・102・105								総合講義6年 本:602		
金	1 9:00~	バイオマテリアル入門 (黒岩) 実:216				口腔微生物学 (吉田) 実:312				保存修復学 (亀山) 講:201				総合講義6年 本:602		
	2 10:40~	スポーツ生理学 (安藤) 実:216				歯の解剖学 (平賀) 実:312				口腔外科学 (黒原) 講:201				総合講義6年 本:602		
	3 13:10~	体育(OBクラス)				組織学・口腔組織化学実習 (中村) 3時間(7月) 実:216 4・5時間 実:207				公衆衛生学Ⅳ (牧) 講:201				総合講義6年 本:602		
	4 14:50~	(米笠・安藤) 体育館・地上競技場				組織学・口腔組織化学実習 (中村) 3時間(7月) 実:216 4・5時間 実:207				生化学・口腔生化学実習・生化学科講 (小林) 実:312・317				総合講義6年 本:602		
	5 16:30~					※編入専学生は日本語演習を履修 講:101・102・105				歯科補綴学実習Ⅱ (樋口) 実:101				総合講義6年 本:602		
土		日本語演習(留学生) 講:101・102・105												Weekly Test 本:601		
														Weekly Test 本:601		

2023年度 第4学年 年間授業予定表

《 前 期 》

月曜日				火曜日				水曜日				木曜日				金曜日			
月 日 備考				月 日 備考				月 日 備考				月 日 備考				月 日 備考			
①	3	27		①	3	28		①	3	29		①	3	30		①	3	31	
②	4	3		②	4	4		②	4	5		②	4	13		②	4	7	
③		10		③		11		③		12		③		20		③		14	
④		17		④		18		④		19		④		27		④		21	
⑤		24		⑤		25		⑤		26		⑤	5	11		⑤		28	
⑥	5	1		⑥	5	2		⑥	5	10		⑥		18		⑥	5	12	
⑦		8		⑦		9		⑦		17		⑦		25		⑦		19	
⑧		15		⑧		16		⑧		24		⑧	6	1		⑧		26	
⑨		22		⑨		23		⑨		31		⑨		8		⑨	6	2	
⑩		29		⑩		30		⑩	6	7		⑩		15		⑩		9	
⑪	6	5		⑪	6	6		⑪		14		⑪		22		⑪		16	
⑫		12		⑫		13		⑫		21		⑫		29		⑫		23	
⑬		19		⑬		20		⑬		28		⑬	7	3	月曜から	⑬		30	
⑭		26		⑭		27		⑭	7	5		⑭		6		⑭	7	7	
⑮	7	10		⑮	7	4		⑮		12		⑮		13		⑮		11	火曜から

《 後 期 》

月曜日				火曜日				水曜日				木曜日				金曜日			
月 日 備考				月 日 備考				月 日 備考				月 日 備考				月 日 備考			
①	8	21		①	8	22		①	8	23		①	8	17		①	8	18	
②		28		②		29		②		30		②		24		②		25	
③	9	4		③	9	5		③	9	6		③		31		③	9	1	
④		11		④		12		④		13		④	9	7		④		8	
⑤		21	木曜から	⑤		19		⑤		20		⑤		14		⑤		15	
⑥		25		⑥		26		⑥		27		⑥		28		⑥		22	
⑦	10	2		⑦	10	3		⑦	10	4		⑦	10	5		⑦		29	
⑧		13	金曜から	⑧		10		⑧		11		⑧		12		⑧	10	6	
⑨		16		⑨		17		⑨		18		⑨		19		⑨		20	
⑩		23		⑩		24		⑩		25		⑩		26		⑩		27	
⑪		30		⑪		31		⑪	11	1		⑪	11	2		⑪	11	10	
⑫	11	6		⑫	11	7		⑫		8		⑫		9		⑫		17	
⑬		13		⑬		14		⑬		15		⑬		16		⑬		24	
⑭		20		⑭		21		⑭		22		⑭		30		⑭	12	1	
⑮		27		⑮		28		⑮		29		⑮	12	4	月曜から	⑮		5	

第 4 学 年

第 4 学年目次

歯科補綴学実習Ⅰ	3
部分床義歯補綴学	9
歯科補綴学実習Ⅱ	14
クラウンブリッジ補綴学	20
保存修復学実習	25
小児歯科学	38
歯科矯正学	42
小児・矯正基礎実習(小児)	45
小児・矯正基礎実習(矯正)	50
口腔外科学	55
歯科麻酔学	59
歯科放射線学	63
歯内治療学	66
歯内治療学実習	70
歯周病学	81
歯周病学実習	84
口腔インプラント学	91
障がい者歯科学	94
高齢者歯科学	97
摂食嚥下療法学	100
臨床予備演習	102
総合講義	121
2022年度 4 学年 日程表	139
2022年度 第 4 学年 年間予定	148

歯科補綴学実習Ⅰ (C4010)

第4学年（前期）
実習 必修

【担当者】

教 授：樋口大輔

講 師：吉田裕哉、谷内秀寿

助 教：霜野良介、吉野旭宏、平井博一郎

補助者：王 宜文、柴田幸成、加納幸成、薛 博元、林 津合、植野裕司、堀江貴裕、穆 煥升、船岡俊介、呉 家瑜

非常勤講師：伊比 篤、北澤富美、小澤謙太、羽毛田匡、秋山友里

【一般目標（GIO）】

歯科補綴学における部分床義歯および全部床義歯の臨床に必要な基本的手法と技術を習得する。

【行動目標（SBOs）】

仮想患者による医療面接を実施し、必要な診査、検査法を選択し、診断を行うができる。（知、態、技）

部分床義歯および全部床義歯の臨床概略を説明できる。（知）

部分床義歯および全部床義歯が製作できる。（技）

【教科書・参考書】

【教科書】松本歯科大学歯科補綴学講座編：「歯科補綴学 実習書」

細井紀雄ほか編：「コンプリートデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）

大久保力廣ほか編：「パーシャルデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）

【参考書】市川哲雄ほか編「無歯顎補綴治療学（第4版）」（医歯薬出版）*

藍 稔ほか編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第3版）」（学建書院）*

赤川安正ほか編：「歯学生のパーシャルデンチャー（第6版）」（医歯薬出版）

*3年次に購入済み

【教育（学習）方略（LS）】

ビデオ・教材を用いて製作手順を理解し、実際に可撤性義歯の製作を行う。製作物および定期試験等により理解を評価する。

【フィードバック方法】

講義、実習内容の質問は担当教員に申し出ること。必要に応じて学生イントラ、補講等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

下記の配分で評価を行う。

- ・実習製作物：30%
- ・定期試験：30%
- ・受講態度：10%
- ・Weekly Test：30%

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。指定した準備品を持参のうえ、白衣を着用し、実習を行うこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：実習書および参考書を事前に読み、実習内容を理解したうえで実習に臨むこと。（15分）

復 習：実習で実際に行った作業とその目的について、教科書、講義ノート、参考書を見直し復習すること。（45分）

【オフィスアワー】

原則として木曜日 16:30~18:00

本館4階東棟 歯科補綴学講座医局

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

歯科補綴学実習Ⅰ 第4学年（前期）					
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	3月31日(金) 3時限	全部床義歯補綴学実習1 全部床義歯補綴学実習の概要説明 個人トレーの製作 咬合床の製作	全部床義歯補綴治療の意義を説明できる。 全部床義歯補綴治療の流れを診療室と技工操作に分けて列挙できる。 実習に必要な器具、機材の名称と役割を説明できる。 個人トレーの使用意義を説明できる。 個人トレーの外形線を記入できる 常温重合レジンと練和し、個人トレー体部と柄の圧接ができる。 咬合床の役割と具備条件を説明できる。 リリーフとブロックアウトの違いを説明できる。 基礎床の製作方法を説明できる。 パラフィンワックスを用いて咬合堤の製作・調整ができる。 人工歯の標準的の排列位置を説明できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 匡 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛林 博元 植野 津合 堀江 裕司 江 貴裕 穆 煥升 船岡 俊介 呉 家瑜
2	3月31日(金) 4時限				
3	3月31日(金) 5時限				
4	4月7日(金) 3時限	全部床義歯補綴学実習2 顎間関係記録 咬合器装着	咬合床を用いた顎間関係記録を説明できる。 咬合採得材料の種類や特徴を説明できる。 咬合床に標示線を記入できる。 スプリットキャスト法による咬合器装着の意義と手法を説明できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 匡 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛林 博元 植野 津合 堀江 裕司 江 貴裕 穆 煥升 船岡 俊介 呉 家瑜
5	4月7日(金) 4時限				
6	4月7日(金) 5時限				
7	4月14日(金) 3時限	全部床義歯補綴学実習3 上顎前歯部人工歯排列	前歯部人工歯を適切な位置に排列できる。 適切な被蓋関係を付与できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 匡 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛林 博元 植野 津合 堀江 裕司 江 貴裕 穆 煥升 船岡 俊介 呉 家瑜
8	4月14日(金) 4時限				
9	4月14日(金) 5時限				
10	4月20日(木) 3時限	全部床義歯補綴学実習4 下顎前歯部人工歯排列	前歯部人工歯を適切な位置に排列できる。 適切な被蓋関係を付与できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 匡 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛林 博元 植野 津合 堀江 裕司 江 貴裕 穆 煥升 船岡 俊介 呉 家瑜
11	4月20日(木) 4時限				
12	4月20日(木) 5時限				

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
13	4月21日(金) 3時限	全部床義歯補綴学実習 5 下顎臼歯部人工歯排列	全部床義歯の咬合様式が説明できる。 顎堤に対する人工歯の頬舌的および近遠心的な位置関係を付与できる。 人工歯の対合関係を適切に付与できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井 博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛 田 巨 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛 林 博元 植野 津司 堀江 裕司 江 貴裕 穆 煥升 岡 俊介 呉 家瑜
14	4月21日(金) 4時限				
15	4月21日(金) 5時限				
16	4月28日(金) 3時限	全部床義歯補綴学実習 6 上顎臼歯部人工歯排列	全部床義歯の咬合様式が説明できる。 顎堤に対する人工歯の頬舌的および近遠心的な位置関係を付与できる。 人工歯の対合関係を適切に付与できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井 博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛 田 巨 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛 林 博元 植野 津司 堀江 貴裕 江 煥升 穆 俊介 岡 家瑜 呉
17	4月28日(金) 4時限				
18	4月28日(金) 5時限				
19	5月12日(金) 3時限	全部床義歯補綴学実習 7 歯肉形成	適切な研磨面形態を付与できる。 ポストダムを付与し、後縁封鎖ができる。 上顎基礎床口蓋部をワックスに置換できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井 博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛 田 巨 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛 林 博元 植野 津司 堀江 貴裕 江 煥升 穆 俊介 岡 家瑜 呉
20	5月12日(金) 4時限				
21	5月12日(金) 5時限				
22	5月26日(金) 3時限	全部床義歯補綴学実習 8 咬合器再装着 咬合調整	咬合器再装着について説明できる。 咬合器上での咬合調整ができる。 義歯調整について説明できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井 博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛 田 巨 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛 林 博元 植野 津司 堀江 貴裕 江 煥升 穆 俊介 岡 家瑜 呉
23	5月26日(金) 4時限				
24	5月26日(金) 5時限				
25	6月2日(金) 3時限	全部床義歯補綴学実習 9 研磨 補足実習	研磨方法について説明できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井 博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛 田 巨 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛 林 博元 植野 津司 堀江 貴裕 江 煥升 穆 俊介 岡 家瑜 呉
26	6月2日(金) 4時限				
27	6月2日(金) 5時限				

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
28	6月9日(金) 3時限	部分床義歯補綴学実習1 部分床義歯補綴学実習の概要説明 概形印象採得 予備サベイング 仮設計	部分床義歯補綴治療の意義を説明できる。 部分床義歯補綴治療の流れを診療室と技工操作に分けて列挙できる。 実習に必要な器具、機材の名称と役割を説明できる。 概形印象について説明できる。 適切な概形印象採得が実施できる。 研究用模型の使用目的について説明できる。 欠損歯列の分類法について説明できる。 サベイングの目的と意義を説明できる。 サバイヤーと付属品の名称と使用法を説明できる。 適切にサベイング操作を行うことができる。 適切な連結装置を選択し設計できる。 適切な支台装置を選択し設計できる。 適切な設計線を研究用模型に記入できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 匡 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛林 博元 植野 津合 堀江 裕司 穆 貴裕 船岡 煥升 呉 俊介 宜文 家瑜
29	6月9日(金) 4時限				
30	6月9日(金) 5時限				
31	6月16日(金) 3時限	部分床義歯補綴学実習2 個人トレーの製作	個人トレーの使用意義を説明できる。 個人トレーの外形線を記入できる 常温重合レジンと練和し、個人トレー体部と柄の圧接ができる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 匡 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛林 博元 植野 津合 堀江 裕司 穆 貴裕 船岡 煥升 呉 俊介 宜文 家瑜
32	6月16日(金) 4時限				
33	6月16日(金) 5時限				
34	6月23日(金) 3時限	部分床義歯補綴学実習3 前処置 筋形成	歯冠形態の修正、ガイドブレン、レストシートの形成ができる。 個人トレーとコンパウンドを用いた筋形成ができる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 匡 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛林 博元 植野 津合 堀江 裕司 穆 貴裕 船岡 煥升 呉 俊介 宜文 家瑜
35	6月23日(金) 4時限				
36	6月23日(金) 5時限				
37	6月30日(金) 3時限	部分床義歯補綴学実習4 精密印象採得	精密印象材の種類と適応を説明できる。 精密印象の操作方法を説明できる。 精密印象の目的と方法を説明できる。 精密印象採得を行うことができる。 ボクシングの目的を説明できる。 作業用模型について説明できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 匡 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛林 博元 植野 津合 堀江 裕司 穆 貴裕 船岡 煥升 呉 俊介 宜文 家瑜
38	6月30日(金) 4時限				
39	6月30日(金) 5時限				

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
40	7月7日(金) 3時限	部分床義歯補綴学実習5 本サベイング 本設計	サベイングの目的と意義を説明できる。 サベイヤーと付属品の名称と使用法を説明できる。 適切にサベイング操作を行うことができる。 適切な設計線を作業用模型に記入できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井 博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛 田 巨 秋山 友里	王 宜文 柴田 幸成 加納 幸成 納 博元 薛 津合 林 博司 植野 裕司 堀江 貴裕 江 煥升 穆 俊介 船岡 家瑜 呉
41	7月7日(金) 4時限				
42	7月7日(金) 5時限				
43	7月11日(金) 3時限	部分床義歯補綴学実習6 作業用模型の修正	フレームワークの製作法を説明できる。 作業用模型修正ができる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井 博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛 田 巨 秋山 友里	王 宜文 柴田 幸成 加納 幸成 納 博元 薛 津合 林 博司 植野 裕司 堀江 貴裕 江 煥升 穆 俊介 船岡 家瑜 呉
44	7月11日(金) 4時限				
45	7月11日(金) 5時限				

部分床義歯補綴学 (C4020)

第4学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：樋口大輔、黒岩昭弘
講師：笠原隼男、吉田裕哉
助教：霜野良介、平井博一郎、吉野旭宏
非常勤講師：古屋純一

【一般目標（GIO）】

有床義歯が、多数歯欠損に対し口腔内の形態、機能、審美性を回復してその状態を長く維持する補綴装置であることを認識するために、部分床義歯補綴の臨床術式と製作に必要な理論を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 部分歯列欠損患者の診査・診断・治療計画の立案の基礎について理解する。
2. 部分床義歯の設計について理解する。
3. 部分床義歯の臨床手技について理解する。
4. 部分床義歯の技工操作について理解する。
5. 部分床義歯装着患者の義歯装着後の経過について理解する。

【教科書・参考書】

【教科書】 藍 稔ほか：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第3版）」（学建書院）*
赤川安正ほか：「歯学生のパーシャルデンチャー（第6版）」（医歯薬出版）
大久保力廣ほか：「パーシャルデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）
【参考書】 藍 稔：補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識（学研書院）*
市川哲雄ほか編「無歯顎補綴治療学（第4版）」（医歯薬出版）*
細井紀雄ほか編：「コンプリートデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）*
山下秀一郎ほか：「有床義歯補綴学」（永末書店）
森戸光彦ほか編：「老年歯科医学（第2版）」（医歯薬出版）
佐藤裕二ほか編：「よくわかる高齢者歯科学」（永末書店）
（* 3年次に購入済み）

【教育（学習）方略（LS）】

授業は教科書の内容とスライドを中心に適宜板書等を用いて行う。また、適宜受講者へ質問し、参加型授業を展開する。

Weekly Test では1回の授業につき、3問～4問出題する。

【フィードバック方法】

講義、実習内容の質問は担当教員に申し出ること。必要に応じて学生イントラ、補講等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

下記の配分で評価を行う。

- ・中間試験・定期試験成績：65%
- ・受講態度：5%
- ・Weekly Test：30%

試験は中間試験と定期試験を実施する。

中間試験の日程は別途掲示する。定期試験は前期定期試験期間中に実施する。

再試験の試験範囲は、講義で取り扱った内容と該当する教科書の内容すべてとする。

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。

3年次に学習した歯科補綴学総論・全部床義歯補綴学の内容を理解していることを前提に講義が進行するので、歯科補綴学総論と全部床義歯補綴学で学習した内容を随時復習すること。

1日につき2コマ講義があるため注意すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。(15分)

復 習：講義中に指定した教科書の項目や図を中心に講義内容を復習すること。(45分)

【オフィスアワー】

講義終了時から当日18：30まで

樋口大輔、笠原隼男、吉田裕哉、霜野良介、平井博一郎、吉野旭宏、古屋純一：本館4階東棟 歯科補綴学講座医局
黒岩昭弘：本館4階西棟 歯科理工学講座教授室

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

部分床義歯補綴学 第4学年（前期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	3月29日(水) 1時限	全部床義歯補綴学の復習1	全部床義歯の製作過程の概略を診療室と技工室に分けて説明できる。	吉田 裕哉
2	3月29日(水) 2時限	全部床義歯補綴学の復習2	全部床義歯の製作過程の概略を診療室と技工室に分けて説明できる。	吉田 裕哉
3	4月5日(水) 1時限	部分床義歯補綴学1 部分床義歯補綴学概論	部分的な歯の欠損とその治療の目的について説明できる。 歯の欠損に対する補綴治療の分類について説明できる。 部分床義歯の評価項目を説明できる。	樋口 大輔
4	4月5日(水) 2時限	部分床義歯補綴学2 歯の欠損に由来する顎口腔系の変化	歯の欠損に伴う顎口腔の変化について説明できる。 歯の欠損を生じる因子について説明できる。	吉田 裕哉
5	4月12日(水) 1時限	部分床義歯補綴学3 部分歯列欠損の様式	欠損歯列の分類法の必要性和臨床的意義を説明できる。	笠原 隼男
6	4月12日(水) 2時限	部分床義歯補綴学4 部分床義歯の構成要素	部分床義歯の構成要素を列挙し、説明できる。 支持・把持・維持に関与する構成要素を説明できる。	笠原 隼男
7	4月19日(水) 1時限	部分床義歯補綴学5 部分床義歯に生じる力への対応	義歯に加わる力を説明できる。 支台歯と顎堤の負担能力について説明できる。 支持・把持・維持に関与する構成要素を説明できる。	笠原 隼男
8	4月19日(水) 2時限	部分床義歯補綴学6 支台装置1 クラスプ	支台装置の一般的所要条件を説明できる。 支台装置の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。	笠原 隼男
9	4月26日(水) 1時限	部分床義歯補綴学7 支台装置2 アタッチメント	支台装置の一般的所要条件を説明できる。 支台装置の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。	笠原 隼男
10	4月26日(水) 2時限	部分床義歯補綴学8 連結子 床	連結装置の役割と所要条件を説明できる。 大連結子の種類、特徴を説明できる。 義歯床の役割と要件を説明できる。	笠原 隼男
11	5月10日(水) 1時限	問題演習1	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	樋口 大輔 吉田 裕哉 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏
12	5月10日(水) 2時限	部分床義歯補綴学総論 講義総括	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。	笠原 隼男
13	5月17日(水) 1時限	部分床義歯補綴学9 部分床義歯補綴治療の概略 部分床義歯の分類 診察・診断	部分床義歯の製作過程の概略を診療室と技工室に分けて説明できる。 医療面接、インフォームドコンセントを説明できる。 診察項目を説明できる。 治療計画の基本的順序と左右する因子、提示方法を説明できる	笠原 隼男
14	5月17日(水) 2時限	部分床義歯補綴学10 サベイング 義歯の設計原則 仮設計と本設計	サベイングの目的と技法を説明できる。 部分床義歯設計の基本原則と順序を説明できる。 仮設計と本設計を説明できる。	笠原 隼男

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
15	5月24日(水) 1時限	部分床義歯補綴学11 前処置 印象採得	広義の前処置と狭義の前処置を説明できる。 印象法の種類と特徴を説明できる。 印象材料について説明できる 印象用トレーについて説明できる。	笠原 隼男
16	5月24日(水) 2時限	部分床義歯補綴学12 部分床義歯の咬合 顎間関係記録	部分床義歯の咬合について説明できる。 咬合採得の術式、材料を歯列対向関係の違いに分けて説明できる。	笠原 隼男
17	5月31日(水) 1時限	部分床義歯補綴学13 咬合器と下顎運動 1	顎関節と咬合の関係を説明できる。 補綴歯科治療に必要な下顎位について説明できる。 下顎運動の特徴を説明できる。	笠原 隼男
18	5月31日(水) 2時限	部分床義歯補綴学14 咬合器と下顎運動 2	咬合器の使用目的について説明できる。 下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 咬合器への模型の装着および咬合器の調節方法について説明できる。	笠原 隼男
19	6月7日(水) 1時限	部分床義歯補綴学15 フレームワーク	フレームワークの製作法を説明できる。 作業用模型の修正法を説明できる。 耐火模型の製作法を説明できる。 フレームワークの試適方法を説明できる。	笠原 隼男
20	6月7日(水) 2時限	部分床義歯補綴学16 人工歯排列 ろう義歯試適 埋没・重合	人工歯の種類と材質を説明できる。 基本的な人工歯排列方法を説明できる。 歯肉形成について説明できる。 ろう義歯試適の診査項目について説明できる。 レジンの填入法ならびに重合法について説明できる。 各種フラスク埋没法について説明できる。	笠原 隼男
21	6月14日(水) 1時限	部分床義歯補綴学17 部分床義歯の装着と調整	義歯装着時の診察・検査項目を列挙し、その手順を説明できる。 患者指導について説明できる。 義歯装着後の不快事項の原因とその対応を説明できる。	笠原 隼男
22	6月14日(水) 2時限	部分床義歯補綴学18 部分床義歯の術後管理 リライン・リベース	装着後の顎堤粘膜、骨、咬合の変化とその管理について説明できる。 リライン、リベースについて説明できる。	笠原 隼男
23	6月21日(水) 1時限	部分床義歯補綴学19 義歯修理	義歯の破損の原因について説明できる。 義歯修理の直接法について説明できる。 義歯修理の間接法について説明できる。 咬合面再形成について説明できる。 粘膜調整について説明できる。	笠原 隼男
24	6月21日(水) 2時限	部分床義歯補綴学20 オーバーデンチャー さまざまな義歯	即時義歯、治療用義歯、暫間義歯について説明できる。 オーバーデンチャーの利点、欠点を説明できる。 顎義歯について説明できる。	笠原 隼男
25	6月28日(水) 1時限	補綴臨床の実際 1 有床義歯による補綴歯科治療	補綴歯科治療の実際を理解し、症例を分析・検討できる。	笠原 隼男
26	6月28日(水) 2時限	補綴臨床の実際 2 高齢者における補綴歯科治療	補綴歯科治療の実際を理解し、症例を分析・検討できる。 高齢者における補綴歯科診療時の注意点と補綴装置設計について説明できる。 訪問歯科診療を説明できる。	古屋 純一
27	7月5日(水) 1時限	臨床歯科理工学 1 部分床義歯に関連する材料	補綴治療に用いる印象材料、石膏、ワックスの種類と性質、材料の適応を説明できる。 鋳造の概要と具体的な方法を説明できる。	黒岩 昭弘

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
28	7月5日(水) 2時限	臨床歯理工学2 部分床義歯に関連する材料	人工歯・義歯用レジンの種類と性質、材料の適応を説明できる。 義歯に用いる金属材料の性質、材料の適応を説明できる。	黒岩 昭弘
29	7月12日(水) 1時限	問題演習2	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	樋口 大輔 吉田 裕哉 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏
30	7月12日(水) 2時限	部分床義歯補綴学各論 講義総括	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。	笠原 隼男

歯科補綴学実習Ⅱ (C4030)

第4学年（後期）
実習 必修

【担当者】

教授：樋口大輔

講師：吉田裕哉、谷内秀寿、笠原隼男、山口葉子

助教：霜野良介、吉野旭宏、平井博一郎

補助者：王 宜文、柴田幸成、加納幸成、薛 博元、林 津合、植野裕司、堀江貴裕、穆 煥升、船岡俊介、呉 家瑜

非常勤講師：伊比 篤、北澤富美、小澤謙太、篠原聖武、羽毛田 匡、秋山 友里

【一般目標（GIO）】

歯科補綴学における部分床義歯およびクラウンブリッジの臨床に必要な基本的手法と技術を習得する。

歯科補綴学におけるインプラントの臨床に必要な基本的手法と技術を習得する。

【行動目標（SBOs）】

仮想患者による医療面接を実施し、必要な診査、検査法を選択し、診断を行うができる。（知、態、技）

部分床義歯およびクラウンブリッジの臨床概略を説明できる。（知）

部分床義歯およびクラウンブリッジが製作できる。（技）

インプラントの臨床概略を説明できる。（知）

【教科書・参考書】

【教科書】松本歯科大学歯科補綴学講座編：「歯科補綴学 実習書」

大久保力廣ほか編：「パーシャルデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）

三浦宏之ほか編：「クラウンブリッジテクニック（第2版）」（医歯薬出版）

【参考書】藍 稔ほか編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第3版）」（学建書院）*

赤川安正ほか編：「歯学生のパーシャルデンチャー（第6版）」（医歯薬出版）

矢谷博文ほか編：「クラウンブリッジ補綴学（第6版）」（医歯薬出版）*

石上 元ほか編：「冠橋義歯補綴学テキスト（第4版）」（永末書店）

赤川安正ほか編：「よく分かる口腔インプラント学（第4版）」（医歯薬出版）

公益社団法人日本口腔インプラント学会編：「口腔インプラント学実習書」（永末書店）

* 3年次に購入済み

【教育（学習）方略（LS）】

ビデオ・教材を用いて製作手順を理解し、実際に部分床義歯とクラウンブリッジの製作を行う。製作物および定期試験により内容の理解を確認する。

【フィードバック方法】

講義、実習内容、試験の解答、評価への質問は担当教員に申し出ること。その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

下記の配分で評価を行う。

- ・実習製作物：30%
- ・定期試験：30%
- ・受講態度：10%
- ・Weekly Test：30%

【注意事項】

歯科補綴学実習Ⅰで履修した項目を理解していることが前提となる。

欠席は特別な理由がない限り認めない。指定した準備品を持参のうえ、白衣を着用し、実習を行うこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：実習書および参考書を事前に読み、実習内容を理解したうえで実習に臨むこと。(15分)

復 習：実習で実際に行った作業とその目的について、教科書、講義ノート、参考書を見直し復習すること。(45分)

【オフィスアワー】

原則として木曜日 16：30～18：00

本館4階東棟 歯科補綴学講座医局

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

歯科補綴学実習Ⅱ 第4学年（後期）					
回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	8月18日(金) 3時限	部分床義歯補綴学実習7 作業用模型の修正	フレームワークの製作法を説明できる。 作業用模型修正ができる。 複印象と耐火模型の製作法を説明できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 巨 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛 博元 林 津合 植野 裕司 堀江 貴裕 穆 煥升 船岡 俊介 呉 家瑜
2	8月18日(金) 4時限				
3	8月18日(金) 5時限				
4	8月25日(金) 3時限	部分床義歯補綴学実習8 フレームワークのワックスアップ	フレームワークのワックスアップができる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 巨 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛 博元 林 津合 植野 裕司 堀江 貴裕 穆 煥升 船岡 俊介 呉 家瑜
5	8月25日(金) 4時限				
6	8月25日(金) 5時限				
7	9月1日(金) 3時限	部分床義歯補綴学実習9 ワイヤークラスプの製作 補足実習	ワイヤークラスプの製作ができる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 巨 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛 博元 林 津合 植野 裕司 堀江 貴裕 穆 煥升 船岡 俊介 呉 家瑜
8	9月1日(金) 4時限				
9	9月1日(金) 5時限				
10	9月8日(金) 3時限	クラウンブリッジ補綴学実習1 クラウンブリッジ補綴学実習の概要説明 全部金属冠の支台歯形成	クラウンブリッジ補綴治療の意義を説明できる。 クラウンブリッジ補綴治療の流れを診療室と技工操作に分けて列挙できる。 実習に必要な器具、機材の名称と役割を説明できる。 下顎第一大臼歯全部金属冠の支台歯形成が実施できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 巨 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛 博元 林 津合 植野 裕司 堀江 貴裕 穆 煥升 船岡 俊介 呉 家瑜
11	9月8日(金) 4時限				
12	9月8日(金) 5時限				

回数	授業日時 間	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
13	9月11日(月) 3 時限	クラウンブリッジ補綴学実習 2 個人トレーの製作	個人トレーの使用意義を説明できる。 個人トレーの外形線を記入できる 常温重合レジンで練和し、個人トレー体部と柄の圧接ができる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 匡 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛林 博元 植野 津合 堀江 裕司 江 貴裕 穆 煥升 船 俊介 岡 家 呉 瑜
14	9月11日(月) 4 時限				
15	9月11日(月) 5 時限				
16	9月22日(金) 3 時限	クラウンブリッジ補綴学実習 3 精密印象採得 対合歯列印象 顎間関係記録	各種印象法の特徴を説明できる。 下顎第一大臼歯の適正な印象が行える。 印象の正確さを判断できる。 対合歯列印象の目的を説明できる。 対合歯列印象を実施できる。 顎間関係の記録を実施できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 匡 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛林 博元 植野 津合 堀江 裕司 江 貴裕 穆 煥升 船 俊介 岡 家 呉 瑜
17	9月22日(金) 4 時限				
18	9月22日(金) 5 時限				
19	9月29日(金) 3 時限	クラウンブリッジ補綴学実習 4 作業用模型製作	作業用模型の製法を説明できる。 ダウエルピンを用いた歯型可撤式模型の製作方法を説明できる。 歯型可撤式模型の製作を実施できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 匡 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛林 博元 植野 津合 堀江 裕司 江 貴裕 穆 煥升 船 俊介 岡 家 呉 瑜
20	9月29日(金) 4 時限				
21	9月29日(金) 5 時限				
22	10月 6 日(金) 3 時限	クラウンブリッジ補綴学実習 5 咬合器装着	咬合器の基本的な操作方法を説明できる。 平均値咬合器による咬合器装着を実施できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 匡 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛林 博元 植野 津合 堀江 裕司 江 貴裕 穆 煥升 船 俊介 岡 家 呉 瑜
23	10月 6 日(金) 4 時限				
24	10月 6 日(金) 5 時限				
25	10月20日(金) 3 時限	クラウンブリッジ補綴学実習 6 作業用模型の分割・模型のトリミング ワックスパターン形成	適正な可撤歯型を製作できる。 歯型側辺縁のトリミングを実施できる。 形態的要件を満たしたワックスパターンを形成できる。 適切な咬合関係を設定できる。 適切な隣接接触関係を設定できる。 適切な歯頸側辺縁形態を設定できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 匡 秋山 友里	王 柴田 加納 幸成 薛林 博元 植野 津合 堀江 裕司 江 貴裕 穆 煥升 船 俊介 岡 家 呉 瑜
26	10月20日(金) 4 時限				
27	10月20日(金) 5 時限				

回数	授業日時	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
28	10月27日(金) 3 時限	クラウンブリッジ補綴学実習 7 ワックスパターン形成	形態的要件を満たしたワックスパターンを形成できる。 適切な咬合関係を設定できる。 適切な隣接接触関係を設定できる。 適切な歯頸側辺縁形態を設定できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井 博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛 田 巨 秋山 友里	王 柴田 宜文 加納 幸成 納 幸成 薛 博元 林 津合 植野 裕司 堀江 貴裕 江 煥升 穆 俊介 岡 家 呉 瑜
29	10月27日(金) 4 時限				
30	10月27日(金) 5 時限				
31	11月10日(金) 3 時限	クラウンブリッジ補綴学実習 8 支台築造 前装冠の支台歯形成	直接法と間接法による支台築造を説明できる。 直接法に必要な材料の特性を説明できる。 直接法による支台築造を実施できる。 支台築造後の支台歯形成を説明できる。 上顎中切歯レジン前装冠の支台歯形成が実施できる。	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井 博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛 田 巨 秋山 友里	王 柴田 宜文 加納 幸成 納 幸成 薛 博元 林 津合 植野 裕司 堀江 貴裕 江 煥升 穆 俊介 岡 家 呉 瑜
32	11月10日(金) 4 時限				
33	11月10日(金) 5 時限				
34	11月17日(金) 3 時限	クラウンブリッジ補綴学実習 9 光学印象採得	口腔内スキャナーの使用方法が説明できる。 模型の歯列に対して、口腔内スキャナーを用いた光学印象採得ができる	樋口 大輔 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井 博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛 田 巨 秋山 友里	王 柴田 宜文 加納 幸成 納 幸成 薛 博元 林 津合 植野 裕司 堀江 貴裕 江 煥升 穆 俊介 岡 家 呉 瑜
35	11月17日(金) 4 時限				
36	11月17日(金) 5 時限				
37	11月24日(金) 3 時限	口腔インプラント学実習 インプラント体埋入手術	インプラント体の埋入器具の準備ができる。 インプラント埋入手術の手順を説明できる。 手術器具を適切に扱うことができる。 インプラントの埋入手術に必要な手技を実施できる。	樋口 大輔 笠原 隼男 山口 葉子 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井 博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛 田 巨 秋山 友里	王 柴田 宜文 加納 幸成 納 幸成 薛 博元 林 津合 植野 裕司 堀江 貴裕 江 煥升 穆 俊介 岡 家 呉 瑜
38	11月24日(金) 4 時限				
39	11月24日(金) 5 時限				
40	12月 1 日(金) 3 時限	演習 1 欠損歯列の病態 概形印象採得 プロビジョナルレストレーション	部分歯列欠損患者に対しての補綴歯科治療の必要性を説明できる。 補綴装置の構造の概略を説明できる。 各種治療法の長所、短所を説明できる。 概形印象について説明できる。 適切な概形印象採得が実施できる。 間接法、直接法によるプロビジョナルレストレーションの製作方法について説明できる。 プロビジョナルレストレーションの製作を実施できる。	樋口 大輔 笠原 隼男 山口 葉子 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井 博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛 田 巨 秋山 友里	王 柴田 宜文 加納 幸成 納 幸成 薛 博元 林 津合 植野 裕司 堀江 貴裕 江 煥升 穆 俊介 岡 家 呉 瑜
41	12月 1 日(金) 4 時限				
42	12月 1 日(金) 5 時限				

回数	授業日時 間	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
43	12月5日(火) 3時限	演習2 レストシート形成 支台歯形成	レストシートの形成が実施できる。 支台歯形成が行える。	樋口 大輔 笠原 隼男 山口 葉子 吉田 裕哉 谷内 秀寿 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏 伊比 篤 北澤 富美 小澤 謙太 羽毛田 匡 秋山 友里	王 宜文 柴田 幸成 加納 幸成 薛 博元 林 津合 植野 裕司 堀江 貴裕 穆 煥升 船岡 俊介 呉 家瑜
44	12月5日(火) 4時限				
45	12月5日(火) 5時限				

クラウンブリッジ補綴学 (C4040)

第4学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

教授：樋口大輔、黒岩昭弘
講師：吉田裕哉
助教：吉野旭宏
特任教授：川和忠治
客員教授：馬場一美
非常勤講師：羽毛田 匡

【一般目標（GIO）】

クラウンブリッジが、歯質および少数歯欠損に対し、口腔内の形態、機能、審美性を回復してその状態を長く維持する補綴装置であることを認識するために、これらの臨床術式と製作に必要な理論を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。（知）
2. 歯冠補綴装置の種類、特徴およびその適応について説明できる。（知）
3. 歯および少数歯欠損に伴う口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査および診断を説明できる。（知）
4. クラウンブリッジの治療に際し必要な前処置を列挙し説明できる。（知）
5. 支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。（知）
6. 支台歯形成の意義と方法を説明できる。（知）
7. クラウンブリッジ製作のための印象材の種類、特徴および印象方法を説明できる。（知）
8. プロビジョナルレストレーションの臨床的意義と製作法を説明できる。（知）
9. 作業用模型の種類と製作法を説明できる。（知）
10. 補綴治療に必要な下顎の基本運動と下顎位について説明できる。（知）
11. 顎間関係記録（咬合採得）の材料、特徴および方法を説明できる。（知）
12. クラウンブリッジ製作に用いる咬合器の種類と特徴を説明できる。（知）
13. フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明できる。（知）
14. クラウンブリッジのワックスパターン形成法を説明できる。（知）
15. 埋没、鋳造および研磨について説明できる。（知）
16. 陶材焼付冠の治療法と製作法を説明できる。（知）
17. レジン前装冠の治療法と製作法を説明できる。（知）
18. オールセラミッククラウンの治療法と製作法を説明できる。（知）
19. 歯冠補綴装置の試適、調整および装着について説明できる。（知）
20. ブリッジの臨床的意義と構成を説明できる。（知）
21. ブリッジの種類と特徴を説明できる。（知）
22. 支台装置の種類と適応部位を説明できる。（知）
23. ボンティックの要件、基底面形態および適応部位を説明できる。（知）
24. ブリッジの治療と製作に必要な材料の特性と各基本操作を説明できる。（知）
25. クラウンブリッジ装着後における定期健診の重要性を説明できる。（知）
26. インプラントによる補綴治療の概要を説明できる。

【教科書・参考書】

- 【教科書】 矢谷博文ほか編：「クラウンブリッジ補綴学（第6版）」（医歯薬出版）＊
三浦宏之ほか編：「クラウンブリッジテクニック（第2版）」（医歯薬出版）
- 【参考書】 藍 稔：「補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識」（学建書院）＊
石上 元ほか編：「冠橋義歯補綴学テキスト（第5版）」（永末書店）
菅沼岳史：「クラウンブリッジ補綴学サイドリーダー」（学建書院）
古谷野潔ほか編：「新編 顎関節症（改訂版）」（永末書店）

森戸光彦ほか編:「老年歯科医学(第2版)」(医歯薬出版)
佐藤裕二ほか編:「よくわかる高齢者歯科学」(永末書店)
(*3年次に購入済み)

【教育(学習)方略(LS)】

授業は教科書の内容とスライドを中心に板書等を併用する。また、適宜受講者へ質問し、参加型授業を展開する。
Weekly Test では1回の授業につき、3問～4問出題する。

【フィードバック方法】

講義、実習内容の質問は担当教員に申し出ること。必要に応じて学生イントラ、補講等で解説する。

【評価方法(Evaluation)】

下記の配分で評価を行う。

- ・定期試験:65%
- ・受講態度:5%
- ・Weekly Test:30%

前期と後期はそれぞれ評価し、最終成績は両者を勘案して決定する。

【注意事項】

3年次の講義内容(特に前期履修の歯科補綴学総論)の内容を理解していることが前提となる。
欠席は特別な理由がない限り認めない。

【準備学習時間(予習・復習)】

60分

予 習:事前にシラバスに該当する内容を教科書で確認し、授業の目的を理解しておくこと。(15分)

復 習:講義終了後は講義内容についてノート、教科書、講義資料を復習し、理解できていないところがないか再確認すること。(45分)

【オフィスアワー】

講義終了時から当日18:30まで

樋口大輔、山口葉子、羽毛田 匡:本館4階東棟 歯科補綴学講座医局

黒岩昭弘:本館4階西棟 歯科理工学教授室

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

クラウンブリッジ補綴学 第4学年（前期・後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	3月30日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学1 クラウンブリッジ補綴学概論	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。	樋口 大輔
2	4月13日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学2 歯冠補綴装置の種類 クラウン・ブリッジの要件	歯冠補綴装置の種類、特徴およびその適応について説明できる。 支台装置の種類と適応部位を説明できる。 クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。	樋口 大輔
3	4月20日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学3 クラウンブリッジ補綴診療の診察・診断・治療計画立案	歯および少数歯欠損に伴う口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査および診断を説明できる。 補綴診療に関係する医療面接、プロブレムリスト作成、治療計画立案について説明できる。 各種検査、評価と診断、治療計画を左右する諸因子について説明できる。 歯冠補綴処置を行う前のインフォームドコンセントおよび他科的処置について説明できる。 クラウン、ブリッジ、支台築造の除去方法を説明できる。	樋口 大輔
4	4月27日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学4 クラウンと咬合 クラウンの適合 クラウンの隣接接触関係・頬舌的形態	クラウンの適切な咬合面形態を説明できる。 咬合面形態の形態的・機能的基準を説明できる。 下顎運動時の咬合接触様式を説明できる。 辺縁歯周組織に対するクラウンの影響を説明できる。 生体に許容されるクラウン辺縁の適合性を説明できる。 クラウンの適切な隣接接触関係と頬舌面形態を説明できる。 隣接接触関係が不良な場合の有害作用を説明できる。 隣接接触に関わる機能的要素と形態的要素を説明できる。 適切な隣接接触と頬舌面形態を説明できる。	川和 忠治
5	5月11日(金) 2時限	クラウンブリッジ補綴学5 クラウンブリッジの製作過程概要	クラウンブリッジの製作過程の概略を診療室と技工室に分けて説明できる。	樋口 大輔
6	5月18日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学6 支台歯の要件と生活歯の支台歯形成	支台歯形成の意義と方法を説明できる。 支台歯形成の要点を説明できる。 支台歯の咬合面、軸面、歯頸側辺縁の形態を説明できる。 生活歯の支台歯形成時の注意点と手技を説明できる。	樋口 大輔
7	5月25日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学7 支台築造・失活歯の支台歯形成	支台歯形成の意義と方法を説明できる。 失活歯の支台歯形成の要点を説明できる。 支台築造の意義、目的、種類を説明できる。 直接法および間接法による支台築造の特徴とそれに必要な器材を説明できる。 支台築造後の支台歯形成を説明できる。	樋口 大輔
8	6月1日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学8 前処置	クラウンブリッジの治療に際し必要な前処置を列挙し説明できる。 支台歯周囲組織や顎堤粘膜の最適な環境について説明できる。	樋口 大輔

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
9	6月8日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学9 印象採得 プロビジョナルレストレーション	クラウンブリッジ製作のための印象材の種類、特徴および印象方法を説明できる。 精密印象採得法の種類と特徴を説明できる。 目的(概形印象、精密印象など)に応じた印象材の種類と性質を説明できる。	樋口 大輔
10	6月15日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学10 顎間関係記録 色調選択	クラウンブリッジ製作のための印象材の種類、特徴および印象方法を説明できる。 顎間関係記録(咬合採得)の材料、特徴および方法を説明できる。 前方基準点と後方基準点を説明できる。 各種基準平面を説明できる。 上下顎の顎間関係の記録を説明できる。 作業用模型の種類を列挙しそれぞれの特徴および方法を説明できる。 プロビジョナルレストレーションの臨床的意義と製作法を説明できる。 間接法、直接法によるプロビジョナルレストレーションの製作方法について説明できる。	樋口 大輔
11	6月22日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学11 作業用模型 咬合器・咬合器装着	クラウンブリッジ製作に用いる咬合器の種類と選択について説明できる。 咬合器装着について説明できる。 咬合器の調節について説明できる。 フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明できる。	樋口 大輔
12	6月29日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学12 ワックスパターン形成法 埋没・鋳造	クラウンブリッジのワックスパターン形成法と特徴を説明できる。 ワックスパターン形成時における適切な歯冠形態について説明できる。 埋没、鋳造および研磨について説明できる。 鋳造に用いる材料の種類(ワックス、埋没材)を挙げられる。 鋳造原型用ワックスの種類と取り扱い上の注意点を説明できる。 鋳造用金属を列挙し説明できる。	樋口 大輔
13	7月3日(月) 2時限	クラウンブリッジ補綴学13 クラウンの試適と装着	クラウンの適合性と生体反応の関連を説明できる。 クラウンの試適、調整、仮着、合着の意義について説明できる。 仮着材、合着材の種類を説明できる。	樋口 大輔
14	7月6日(木) 2時限	問題演習1	これまで学習した項目についての知識を確かなものとし、問題解決能力を身につける。	樋口 大輔 吉田 裕哉 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏
15	7月13日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学総論 講義総括	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。	樋口 大輔
16	8月17日(木) 1時限	クラウンブリッジ補綴学14 前装冠1 レジン前装冠	クラウンブリッジの治療と製作に必要な材料特性を説明できる。 レジン前装冠の治療法と製作法を説明できる。	樋口 大輔
17	8月24日(木) 1時限	クラウンブリッジ補綴学15 前装冠2 陶材焼付冠	クラウンブリッジの治療と製作に必要な材料特性を説明できる。 陶材焼付冠の治療法と製作法を説明できる。	樋口 大輔
18	8月31日(木) 1時限	クラウンブリッジ補綴学16 CAD/CAMによる修復1 補綴における審美 オールセラミッククラウン	クラウンブリッジの治療と製作に必要な材料特性を説明できる。 オールセラミッククラウンの治療法と製作法を説明できる。	樋口 大輔

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
19	9月7日(木) 1時限	クラウンブリッジ補綴学17 CAD/CAMによる修復2 コンポジットレジンクラウン ポーセレンラミネートベニア	クラウンブリッジの治療と製作に必要な材料特性を説明できる。 オールセラミッククラウンの治療法と製作法を説明できる。 CAD/CAMによるコンポジットレジンクラウンの治療法と製作法を説明できる。 ポーセレンラミネートベニアの治療法と製作法を説明できる。	樋口 大輔
20	9月14日(木) 1時限	クラウンブリッジ補綴学18 ブリッジ1 欠損歯列の病態 ブリッジの設計	歯の欠損により生じる歯列の変化を説明できる。 欠損補綴の意義を説明できる。 欠損補綴処置の多様性を説明できる。 クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。	樋口 大輔
21	9月28日(木) 1時限	クラウンブリッジ補綴学19 ブリッジ2 ブリッジの支台装置 ポンティックの要件 ポンティックの基底面形態	ブリッジの臨床的意義と構成を説明できる。 ブリッジの種類と特徴を説明できる。 支台装置の種類と適応部位を説明できる。 ポンティックの要件、基底面形態および適応部位を説明できる。	樋口 大輔
22	10月5日(木) 1時限	クラウンブリッジ補綴学20 ブリッジ3 ブリッジの連結方法	ブリッジの連結法を説明できる。 ブリッジのろう付けを説明できる。	樋口 大輔
23	10月12日(木) 1時限	クラウンブリッジ補綴学21 ブリッジ4 接着ブリッジ	接着ブリッジの特徴を説明できる。 接着ブリッジの支台歯形成を説明できる。 接着ブリッジの製作方法を説明できる。	樋口 大輔
24	10月19日(木) 1時限	クラウンブリッジ補綴学22 術後管理	クラウンブリッジ装着後における定期健診の重要性を説明できる。 ホームケア、プロフェッショナルケアとブラークコントロールについて説明できる。 リコール時の検査項目を列挙できる。 クラウンブリッジの修理・トラブル対応について説明できる	樋口 大輔
25	10月26日(木) 1時限	臨床歯科理工学 クラウンブリッジに関連する材料	クラウンブリッジに用いる材料（金属系材料・セラミック系材料）の性質、材料の適応を説明できる。	黒岩 昭弘
26	11月2日(木) 1時限	補綴臨床の実際1 デジタルデンティストリー	補綴歯科治療の実際を理解し、症例を分析・検討できる。	馬場 一美
27	11月9日(木) 1時限	補綴臨床の実際2 顎関節症	顎関節症の症状、病態および疫学的特徴を列挙し、発症メカニズムについて説明できる。 顎関節症の治療法を概説できる。	羽毛田 匡
28	11月16日(木) 1時限	補綴臨床の実際3 睡眠歯科医学 睡眠時ブラキシズム 閉塞性睡眠時無呼吸症候群 オーラルアプライアンス	睡眠疾患と補綴歯科診療の関連性を説明できる。 睡眠時ブラキシズムの病因・病態・対応法を説明できる。 閉塞性睡眠時無呼吸症候群の病因・病態・対応法を説明できる。	吉田 裕哉
29	11月30日(木) 1時限	問題演習2	これまで学習した項目についての知識を確実にものとし、問題解決能力を身につける。	樋口 大輔 吉田 裕哉 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏
30	12月4日(月) 1時限	クラウンブリッジ補綴学各論 講義総括	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。	樋口 大輔

保存修復学実習 (C4060)

第4学年（前期）
実習 必修

【担当者】

教授：亀山敦史

准教授：森 啓、横井由紀子

講師：小町谷美帆

助教：岩崎由紀子、小松佐保、甲田訓子、中村圭吾

補助者：宮下 彩、呉 佳瑩、上原龍一、原 美音

非常勤講師：石井敏裕、斎藤俊樹、春山亜貴子、英保裕和、小峯明子、辻内千恵、内川竜太郎、奥瀬稔之、小池隆文

【一般目標（GIO）】

菌の硬組織疾患の病因や病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理を理解し、その手法を身につけるために、必要な基本的知識、技能および態度を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 必要な診察・検査項目を説明し、診察・検査を実施できる。
2. 診察・検査結果をもとに診断できる。
3. 診断結果をもとに治療計画を立案できる。
4. 菌の硬組織疾患の治療について説明し、実施できる。
5. 修復に用いる器材を列挙し、準備できる。
6. 簡単な保存修復処置をマネキン上で実施できる。
7. 安全性や患者の不快感、清潔に配慮できる。
8. 修復処置の予後を推測できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 保存修復学実習マニュアル（歯科保存学講座）

田上順次・奈良陽一郎・山本一世・斎藤隆史監修：「第六版 保存修復学21」（永末書店）

千田彰・宮崎真至・林美加子・向井義晴・斎藤隆史編：「保存修復学 第7版」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

- ・受動的方法：講義
- ・能動的方法：シミュレーショントレーニング、ロールプレイ、グループ学修
- ・媒体：スライド、プリント、コンピューター画像、マネキン、顎模型など

【フィードバック方法】

Weekly Test については原則として翌週の講義で解説を行う。

【評価方法（Evaluation）】

- 1) プレテスト・ポストテスト（形成的評価）
講義内容、実習内容の理解度について穴埋め式試験で毎回評価する。
- 2) Weekly Test（形成的評価・総括的评价）：30%
前回の実習内容の理解度について多肢選択式試験で毎回評価する。
- 3) 実技による製作物（総括的评价）：10%
実習製作物（形成窩洞、修復物および技工物）から実習内容の修得度を評価する。
- 4) 実技試験（総括的评价）：30%
実習内容の修得度について態度・技能を評価する。
- 5) 客観試験（総括的评价）：30%
実習内容の理解度を多肢選択式試験で評価する。

【注意事項】

1. ネームプレートを付けた白衣を着用し、必要な器材をそろえて決められた時間に所定の場所に集合すること。
2. 学生証は必ず持参し、出席確認時には速やかに提示すること。
3. 白衣は清潔なものを着用すること。サンダル、ハイヒール等は不可とする。
4. 時間は厳守すること。欠席や遅刻は認めない。集合時間に指定の場所に着席していない場合は欠席とみなす。
5. 実習時間中は必要な器材の他に、保存修復学の教科書および本マニュアルを必ず持参すること。
6. 実習はマニュアルに記載された手順やチェックリストを確認しながら行い、ステップごとに検印を受けること。
7. 紛失の原因となるため、学生間での器材の貸し借りは原則として行わないこと。
8. 理解できない内容についてはインストラクターに随時相談し、疑問点を残さないようにすること。
9. 実習室から出て、売店等へ行く場合にはインストラクターステーションに申し出ること。
10. 実習中はマスクを装着すること。
11. マネキン実習の際はゴーグルおよびグローブを装着すること。
12. 実習で使用するマネキンは、実際の歯科臨床における患者を想定し、取り扱いこと。
13. 各種ゴミは分別の上で所定の場所に捨てること。
14. 実習終了後は実習机や使用器材等の片付け、清掃を行い、インストラクターの確認後は検印を受けること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：各回の実習項目について事前に実習マニュアルと教科書の関連事項を一読する。(30分)

復 習：実習で行った内容、手順、使用した材料や器具について、実習マニュアルや教科書を用いて再確認する。(30分)

【オフィスアワー】

原則として火曜日（実習日）実習終了後

実習館101実習室

【授業日程】

保存修復学実習					
第4学年（前期）					
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	3月28日(火) 3時限	【講義】 ・診療環境・設備 ・スタンダードプリコーション ・診療補助 ・診療姿勢 ・ハンドピースの把持・フィンガーレスト 【実習】 ・オリエンテーション ・実習器材の確認 ・齶蝕好発部位の設定と確認 ・修復前のトレーニング①：プレパレーションプレート実習	1. 医療人として適切な身だしなみに配慮できる。(態度) 2. 各歯種の解剖学的特徴と各部の名称を説明できる。(想起) 3. FDI式のTwo-digitシステムの呼称を用いて各歯種を分別できる。(想起) 4. 齶蝕の好発部位を列挙し説明できる。(想起) 5. 齶蝕の好発部位を図示できる。(解釈) 6. 歯科用ユニット各部の名称と機能を説明できる。(想起)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 内川竜太朗 奥瀬 稔之 斎藤 俊樹	宮下 彩 呉 佳瑩 小池 隆文
2	3月28日(火) 4時限		7. 実習で使用する器材の目的と使用法を説明できる。(想起) 8. 器具の把持法を列挙できる。(想起) 9. 器具使用時の手指固定について説明できる。(想起) 10. 診療設備を適切に使用できる。(技能：模倣) 11. 適切な診療姿勢を実践できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 内川竜太朗 奥瀬 稔之 斎藤 俊樹	宮下 彩 呉 佳瑩 小池 隆文
3	3月28日(火) 5時限		12. 器具を適切に把持できる。(技能：模倣) 13. フィンガーレストを確保できる。(技能：模倣) 14. 指示された形にエナメル質を開拡できる。(技能：模倣) 15. 適切な深さでエナメル質を開拡できる。(技能：コントロール)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 内川竜太朗 奥瀬 稔之 斎藤 俊樹	宮下 彩 呉 佳瑩 小池 隆文

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
4	4月4日(火) 3時限	修復前のトレーニング②：ミラーテクニックによるエアターピンを用いた切削の練習 ・#16 十字模型 齶蝕象牙質の除去 ・齶蝕検知液可染人工歯	1. 4-hand technique の意義を説明できる。(知識：想起) 2. 歯科診療補助におけるバキューム（サクション）の役割を説明できる。(知識：想起) 3. バキュームの各部位の名称を説明できる。(知識：想起) 4. バキュームの挿入位置を説明できる。(知識：想起) 5. バキュームの挿入禁忌部位を列挙できる。(知識：想起) 6. 口腔内の各部位におけるバキュームの挿入法を説明できる。(知識：想起) 7. インストルメントの口腔内への挿入順序を説明できる。(知識：想起) 8. バキュームを適切に挿入できる。(技能：模倣) 9. ミラーテクニックを実践できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 石井 敏裕 小峯 明子 辻内 千恵	宮下 彩 呉 佳瑩
5	4月4日(火) 4時限		10. 高速切削時の注意事項を列挙できる。(知識：想起) 11. 患者や周囲への安全性に配慮できる。(態度) 12. 患者の不快感や痛み に配慮できる。(態度) 13. 指示された形と深さに切削できる。(技能) 14. 診療に適した姿勢を説明できる。(想起) 15. 診療姿勢に配慮できる。(態度) 16. 適切な診療姿勢をマネキン上で実践できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 石井 敏裕 小峯 明子 辻内 千恵	宮下 彩 呉 佳瑩
6	4月4日(火) 5時限			亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 石井 敏裕 小峯 明子 辻内 千恵	宮下 彩 呉 佳瑩
7	4月11日(火) 3時限	前歯へのコンポジットレジン修復 ・ラバーダムによる術野隔離法（単独歯露出） ・#11 5級窩洞に対する修復 ・サービカルマトリックスの使用法（デモ）	1. 模型に設定された歯の硬組織疾患の臨床症状を推測できる。(知識：解釈) 2. 模型に設定された歯の硬組織疾患の診察・検査法を列挙できる。(知識：想起) 3. 模型に設定された歯の硬組織疾患を診断できる。(知識：解釈) 4. 模型に設定された歯の硬組織疾患に対する治療法を列挙し、それらの特徴を説明できる。(知識：問題解決) 5. ミニマルインターベンションデンティストリーの概念に配慮できる。(態度) 6. 5級コンポジットレジン修復で具備すべき窩洞形態を説明できる。(知識：問題解決) 7. 5級コンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、組成と使用法を説明できる。(知識：想起)	亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
8	4月11日火 4時限		8. 5級コンポジットレジン修復に必要な器材を準備し、使用できる。(技能：コントロール) 9. 5級コンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 10. これから行うことを患者(マネキン)に伝達できる。(態度) 11. 模型上で修復前処置(隔壁・ラバーダム)を実施できる。(技能：模倣) 12. 模型上で齲蝕を除去し、窩洞を形成できる。(技能：コントロール) 13. 窩洞を接着処理できる。(知識：想起、技能：模倣) 14. 5級コンポジットレジン修復を实践できる。(技能：模倣、コントロール)	亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩
9	4月11日火 5時限		15. 術者の診療に合わせて補助できる。(態度) 16. 術者・介補者を通して他の学生の修復手順の不備を指摘できる。(知識：解釈) 17. 形成後の窩洞および修復後の模型の不備を指摘できる。(知識：解釈) 18. 充填・重合状態を確認できる。(態度) 19. 患者の不快感や痛みに配慮できる。(態度) 20. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 21. 診療姿勢とポジショニングに配慮できる。(態度) 22. 修復の予後を推測できる。(知識：解釈)	亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩
10	4月18日火 3時限	前歯へのコンポジットレジン修復 ・ラバーダムによる術野隔離法 (#14～ #24までの8歯連続露出) ・#21 3級窩洞に対する修復	1. 3級コンポジットレジン修復で具備すべき窩洞形態を説明できる。(知識：問題解決) 2. 3級コンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 3. 3級コンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 4. 3級コンポジットレジン修復に用いる器材を準備できる。(知識：問題解決) 5. 3級コンポジットレジン修復に用いる器材を適切に使用できる。(模倣) 6. 模型上で3級コンポジットレジン修復にあわせて前準備できる。(技能：模倣・コントロール) 7. 隣在歯や周囲組織の保護に配慮できる。(態度) 8. 3級コンポジットレジン修復窩洞を形成できる。(技能：コントロール) 9. 3級コンポジットレジン修復を实践できる。(技能：コントロール)	亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 内川竜太郎 英保 裕和 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩 上原 龍一 原 美音

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
11	4月18日(火) 4時限			亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 内川竜太朗 英保 裕和 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩 上原 龍一 原 美音
12	4月18日(火) 5時限			亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 内川竜太朗 英保 裕和 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩 上原 龍一 原 美音
13	4月25日(火) 3時限	白歯へのコンポジットレジン修復 ・ラバーダムによる術野隔離法 (#34～ #37の4歯連続露出) ・#35 1級窩洞に対する修復 ・#36 2級窩洞に対する修復	1. 白歯部1級コンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 2. 白歯部2級コンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 3. 白歯部コンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 4. 白歯部コンポジットレジン修復に用いる器材を適切に使用できる。(模倣) 5. 模型に設定された歯の硬組織疾患の修復に具備すべき窩洞形態を説明できる。(想起) 6. これから行うことを患者(マネキン)に伝達できる。(技能: 模倣) 7. 模型上で修復前準備を行うことができる。(技能: 模倣) 8. 模型上で齲蝕を除去できる。(技能: 模倣) 9. 模型上でコンポジットレジン修復窩洞を形成できる。(技能: 模倣) 10. 模型上に形成した窩洞に接着処理できる。(技能: 模倣) 11. 白歯部コンポジットレジン修復を実践できる。(技能: 模倣・コントロール) 12. 充填・重合状態を確認できる。(態度) 13. 術者の診療に合わせて補助できる。(態度) 14. 術者・介補者を通して他の学生の修復手順の不備を指摘できる。(知識: 解釈)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 春山亜貴子 奥瀬 稔之 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩
14	4月25日(火) 4時限			亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 春山亜貴子 奥瀬 稔之 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
15	4月25日火 5時限		15. 形成後の窩洞および修復後の模型の不備を指摘できる。(知識：解釈) 16. 患者の不快感や痛みに配慮できる。(態度) 17. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 18. 診療姿勢とポジショニングに配慮できる。(態度) 19. 修復の予後を推測できる。(解釈)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 春山亜貴子 奥瀬 稔之 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩
16	5月2日火 3時限	1級、2級、3級、5級コンポジットレジン修復の最終研磨 #13 くさび状欠損窩洞に対するコンポジットレジン修復 (デモ) ・ ストレートベベルの付与 ・ 歯肉排除 ・ サービカルフェンスの装着 口腔内状態の検査と記録 齶蝕好発部位の設定と確認 (臼歯) 基本的窩洞形態の形成 (エポキシ模型) ・ #46 2級メタルインレー修復窩洞 (MO ボックス) ・ #46 2級メタルインレー修復窩洞 (MO スライスカット) ・ #16 2級メタルインレー修復窩洞 (MO ボックス)	1. 填塞後のコンポジットレジンを研磨できる。(技能：模倣・コントロール) 2. くさび状欠損窩洞に対するコンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 3. くさび状欠損へのコンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 4. コンポジットレジン修復に用いる器材を適切に使用できる。(技能：模倣) 5. 模型に設定されたくさび状欠損の修復に具備すべき窩洞形態を説明できる。(想起) 6. これから行うことを患者 (マネキン) に伝達できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹	宮下 彩 呉 佳瑩
17	5月2日火 4時限		7. 修復に必要な前準備を模型上で行うことができる。(技能：模倣) 8. 模型上で窩洞を形成できる。(技能：模倣) 9. 模型上に形成した窩洞に接着処理できる。(技能：模倣) 10. コンポジットレジンを填塞できる。(技能：模倣) 11. 充填・重合状態を確認できる。(解釈) 12. 修復の予後を推測できる。(解釈)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹	宮下 彩 呉 佳瑩
18	5月2日火 5時限		13. 口腔内の状態を確認できる。(解釈) 14. 口腔内の状態を診療録に記録できる。(技能) 15. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 16. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 17. 齶蝕好発部位を図示できる。(解釈) 18. 接着性修復窩洞と非接着性修復窩洞の特徴を比較できる。(想起) 19. 修復材料の理工学的性質や齶蝕好発部位を考慮した窩洞形態を設計できる。(問題解決)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹	宮下 彩 呉 佳瑩

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
19	5月9日(火) 3時限	メタルインレー修復 ・#46 隣接面を含む齶蝕に対する窩洞形成 (MO ボックス窩洞) (A26A-46N) ・裏層 (グラスアイオノマーセメント)	1. 各種インレー修復窩洞の特徴を説明できる。(想起) 2. 模型上で齶蝕を除去できる。(技能: 模倣) 3. 齶蝕除去後の状態に応じて象牙質・歯髄複合体を保護できる。(技能: コントロール) 4. 模型上でメタルインレー修復窩洞を形成できる。(技能: 模倣) 5. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 6. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 7. 形成後の窩洞の不備を指摘し、説明できる。(解釈)	亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹 奥瀬 稔之	宮下 彩 呉 佳瑩
20	5月9日(火) 4時限			亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹 奥瀬 稔之	宮下 彩 呉 佳瑩
21	5月9日(火) 5時限			亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹 奥瀬 稔之	宮下 彩 呉 佳瑩
22	5月16日(火) 3時限	メタルインレー修復 ・印象採得 ・咬合採得 ・形成窩洞の仮封 ・作業模型の製作 ・技工指示書の作成 ・咬合器付着	1. メタルインレー修復における印象採得の術式と使用できる材料を列挙し、説明できる。(想起) 2. メタルインレー修復における印象採得を顎模型上で実践できる。(技能: 模倣) 3. 咬合採得を顎模型上で実践できる。(技能: 模倣) 4. 形成窩洞に仮封できる。(技能: 模倣) 5. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 6. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 7. 技工指示書を作成できる。(技能: 模倣) 8. メタルインレー修復における技工操作の手順とその目的を説明できる。(想起) 9. メタルインレー修復における技工操作を実践できる。(技能: 模倣)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 春山亜貴子 小峯 明子 辻内 千恵 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
23	5月16日(火) 4時限			亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 春山亜貴子 小峯 明子 辻内 千恵 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩
24	5月16日(火) 5時限			亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 春山亜貴子 小峯 明子 辻内 千恵 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩
25	5月23日(火) 3時限	メタルインレー修復 ・ワックスパターンの調製 ・埋没 ・鑄造 (デモ・動画)	1. ワックスパターン上で歯の解剖学的・機能的形態を付与できる。(技能：模倣) 2. 埋没材の種類と所要性質を説明できる。(想起) 3. 埋没操作を実践できる。(技能：模倣) 4. 鑄造法を説明できる。(想起) 5. 鑄造収縮とその補償法を説明できる。(想起) 6. 鑄造欠陥の成因とその対策を列挙し説明できる。(想起)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 英保 裕和 内川竜太朗 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩
26	5月23日(火) 4時限			亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 英保 裕和 内川竜太朗 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩
27	5月23日(火) 5時限			亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 英保 裕和 内川竜太朗 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
28	5月30日(火) 3時限	メタルインレー修復 ・インレーの試適・調整 ・インレーの装着	1. メタルインレー修復における合着・接着のメカニズムを説明できる。(想起) 2. 被着面処理法を説明できる。(想起) 3. メタルインレー修復に用いる合着材・接着材の所要性質を説明できる。(想起) 4. インレー合着時の流れを説明できる。(想起) 5. インレー窩洞の仮封を除去できる。(技能：模倣) 6. メタルインレーを試適し、調整できる。(技能：模倣) 7. メタルインレーを研磨できる。(技能：模倣) 8. インレー合着時における誤飲・誤嚥の防止に配慮できる。(態度) 9. インレー体を窩洞に合着できる。(技能：模倣)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 奥瀬 稔之 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩
29	5月30日(火) 4時限			亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 奥瀬 稔之 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩
30	5月30日(火) 5時限			亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 奥瀬 稔之 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩
31	6月6日(火) 3時限	コンポジットレジンインレー修復 ・基本的窩洞形態の形成 (＃46 2級MO窩洞・エポキシ模型) ・＃46 隣接面を含む齲蝕に対する窩洞形成(2級MO窩洞) ・裏層(コンポジットレジン) ・レジンコーティング ・レジンコーティング後の仮封	1. コンポジットレジンインレー修復窩洞の特徴を説明できる。(想起) 2. 修復材料の理工学的性質や齲蝕好発部位、齲蝕罹患部位を考慮した窩洞形態を設計できる。(問題解決) 3. 模型上でコンポジットレジンインレー修復窩洞を形成できる。(技能：模倣) 4. 模型上で齲蝕を除去できる。(技能：模倣) 5. 齲蝕除去後の状態に応じて象牙質・歯髄複合体を保護できる。(技能：コントロール) 6. 模型上で窩洞を形成できる。(技能：模倣) 7. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 8. 清潔と安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 石井 敏裕	宮下 彩 呉 佳瑩

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
32	6月6日火 4時限			亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 石井 敏裕	宮下 彩 呉 佳瑩
33	6月6日火 5時限			亀山 敦史 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 石井 敏裕	宮下 彩 呉 佳瑩
34	6月13日火 3時限	コンボジットレジニンインレー修復 ・ ラバーダムによる術野隔離・防湿法 (#44～#47連続露出) ・ インレーの装着 ガラスアイオノマーセメント修復 (レジン添加型) ・ #23 くさび状欠損への修復 (歯肉排除、簡易防湿)	1. コンボジットインレー修復における接着メカニズムを説明できる。(知識：想起) 2. コンボジットレジニンインレー装着に必要な被着面処理法を説明できる。(知識：想起) 3. コンボジットレジニンインレー修復に用いる接着材の所要性質を説明できる。(知識：想起) 4. コンボジットレジニンインレー装着時の流れを説明できる。(知識：想起) 5. コンボジットレジニンインレー窩洞の仮封を除去できる。(技能：模倣) 6. コンボジットレジニンインレーを試適し、調整できる。(技能：模倣) 7. コンボジットレジニンインレーを研磨できる。(技能：模倣) 8. コンボジットレジニンインレー装着時における誤飲・誤嚥の防止に配慮できる。(態度) 9. 被着面処理を実践できる。(技能：模倣) 10. インレー体を窩洞に装着できる。(技能：模倣) 11. グラスアイオノマーセメントと歯質への接着機構を説明できる。(想起) 12. グラスアイオノマーセメント修復窩洞の特徴を説明できる。(想起) 13. 模型に設定された歯の硬組織疾患の病態を説明できる。(解釈) 14. 模型に設定された歯の硬組織疾患の臨床症状を推測できる。(解釈) 15. 模型に設定された歯の硬組織疾患に対する治療法を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。(想起)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩 上原 龍一 原 美音

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
35	6月13日(火) 4時限	・カプセル型ガラスアイオノマーセメントの練和 (デモ) ・従来型ガラスアイオノマーセメント修復 (デモ・動画)	16. 模型に設定された歯の硬組織疾患の修復に具備すべき窩洞形態を説明できる。(想起) 17. 模型上で窩洞を形成できる (技能: 模倣) 18. 修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 19. 模型上で修復前準備 (歯肉排除法、隔壁法) を実践できる。(技能: 模倣) 20. 窩洞に対して接着処理を実践できる。(技能: 模倣)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩 上原 龍一 原 美音
36	6月13日(火) 5時限		21. グラスアイオノマーセメントを練和できる。(技能: 模倣) 22. グラスアイオノマーセメント修復を顎模型上で実践できる。(技能: 模倣) 23. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 24. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 25. コンポジットレジンインレーの装着時の術式と使用する器材を説明できる。(想起)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩 上原 龍一 原 美音
37	6月20日(火) 3時限	前歯へのコンポジットレジン修復 コンポジットレジンによる補修修復 ・ラバーダムによる術野隔離法 (#14～#24) ・#11 4級コンポジットレジン修復 ・#21 コンポジットレジン修復周囲に発生した辺縁性二次齲蝕への補修修復 ガラスアイオノマーセメント修復 ・#13 くさび状欠損修復 研磨	1. 4級コンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 2. 補修修復の手順を説明できる。(想起) 3. 4級コンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 4. 模型に設定された歯の硬組織疾患の修復に具備すべき窩洞形態を説明できる。(想起) 5. これから行うことを患者 (マネキン) に伝達できる。(技能: 模倣) 6. 模型上で修復前準備を行うことができる。(技能: 模倣) 7. 4級コンポジットレジン修復を正しい手順で実践できる。(技能: 模倣) 8. 補修修復を正しい手順で実践できる。(技能: 模倣) 9. 患者の痛み・不快感に配慮できる。(態度) 10. 清潔と安全性に配慮できる。(態度) 11. 修復物の研磨を実践できる。(技能: 模倣)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾	宮下 彩 呉 佳瑩
38	6月20日(火) 4時限			亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾	宮下 彩 呉 佳瑩
39	6月20日(火) 5時限			亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾	宮下 彩 呉 佳瑩

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
40	6月27日(火) 3時限	【講義】 ・共用試験歯学系 OSCE について 【実習】 ロールプレイ 臨床実地問題演習 (グループ学修)	1. 共用試験歯学系 OSCE の目的を説明できる。(想起) 2. 共用試験歯学系 OSCE の保存修復系課題における学修目標を説明できる。(想起) 3. マネキンでの模擬体験を通じて臨床の流れや各ステップの留意点などを確認できる。(想起) 4. 他の学生が行った模擬実演の良かった点、不備な点をそれぞれ列挙し、指摘できる(解釈) 5. 他の学生が行った模擬実演の不備に対し、改善案を提示できる。(問題解決) 6. 改善案をもとに、正しい術式で模擬実演できる。(技能: コントロール)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹 春山亜貴子 内川竜太郎 奥瀬 稔之 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩 上原 龍一 原 美音
41	6月27日(火) 4時限			亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹 春山亜貴子 内川竜太郎 奥瀬 稔之 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩 上原 龍一 原 美音
42	6月27日(火) 5時限			亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 岩崎由紀子 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾 斎藤 俊樹 春山亜貴子 内川竜太郎 奥瀬 稔之 小池 隆文	宮下 彩 呉 佳瑩 上原 龍一 原 美音
43	7月4日(火) 3時限	ガラスアイオノマーセメント修復 ・最終研磨 コンボジットレジン修復 ・#11 4級修復の最終研磨 ・#21 補修修復の最終研磨	1. 修復物の研磨の目的を説明できる。(想起) 2. 修復物の研磨手順を説明できる。(想起) 3. 修復物の研磨を実践できる。(技能: 模倣)	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾	宮下 彩 呉 佳瑩
44	7月4日(火) 4時限	※残った時間で OSCE の修復系4課題について、自由練習 ・ロールプレイの概要説明 ・ペーパー試験、実習試験の概要説明		亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾	宮下 彩 呉 佳瑩
45	7月4日(火) 5時限			亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 甲田 訓子 中村 圭吾	宮下 彩 呉 佳瑩

小児歯科学 (C4065)

第4学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：大須賀直人
准教授：正村正仁、中村浩志
非常勤講師：西川康博

【一般目標（GIO）】

小児期から成人に至る口腔機能を理解する。
健康を維持・増進することを目的に全身ならびに口腔領域の正常な成長・発育を理解する。
口腔領域に発生する疾患や異常について成長発育を考慮した予防法、治療法を理解する。
口腔領域に発生する疾患や異常について成長発育を考慮した健康管理を理解、修得する。

【行動目標（SBOs）】

小児患者の歯科的対応を説明できる。
小児の歯冠修復について説明できる。
小児の歯内療法について説明できる。
咬合誘導の意義と目的について説明できる。
咬合誘導装置の種類と適応について説明できる。
小児の外科処置について説明できる。
小児外傷について説明できる。
スポーツによる歯・口腔の外傷の予防について説明できる。
小児疾患と歯科治療の留意点について説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】大須賀直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学建書院）
大須賀直人他：「小児歯科学基礎・臨床実習（第3版）」（医歯薬出版）
【参考書】大須賀直人他：「歯科医のための小児科学入門」（MDU出版会）
大須賀直人他：「小児歯科学（第6版）」（医歯薬出版）
大須賀直人他：「乳歯列における外傷歯の診断と治療（第2版）」（クイッテセンス出版）
大須賀直人他：「乳幼児の口と歯の健診ガイド（第3版）」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

各授業にて教科書を用いて基本的知識の修得をはかるとともに必要に応じて黒板に板書する。また、スライドや映像を併用し、視覚的、触覚的知識の獲得を行う。なお、講義時間中に必要に応じてテストを行い講義修得度を確認することもある。

【フィードバック方法】

配布資料、教科書、ノートを確認してフィードバックする。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験と Weekly Test の結果に、出欠席を加味し、評価する。
Weekly Test（30%）、定期試験（70%）とする。

【注意事項】

教科書は必ず持参すること。
講義の遅刻、欠席は評価に加味するので注意すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について予習を行うこと。(15分)

復 習：配付された資料や教科書を復習し知識をまとめること。(45分)

【オフィスアワー】

月曜日 17:00～18:00 本館2階東棟 小児歯科学講座医局 E-mail: info_ped@mdu.ac.jp で予約をすれば、他の時間でも可能

【授業日程】

小児歯科学			第4学年（前期）	
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	3月27日(月) 3時限	小児患者の診療方針 1. 小児患者への歯科的対応	小児の歯科的対応に必要な心理について説明できる。	中村 浩志
2	4月3日(月) 3時限	小児の歯冠修復 1. 乳歯の歯冠修復 2. 幼若永久歯の歯冠修復	乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的について説明できる。 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の診察と診断について説明できる。 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復法について説明できる。 乳歯の形成時における留意点を説明できる。	大須賀直人
3	4月10日(月) 3時限	小児の歯内療法(1) 1. 乳歯の歯内療法	乳歯の歯内療法について説明できる。 乳歯の歯髄炎の処置法を説明できる。 乳歯の根尖性歯周炎の処置法を説明できる。 乳歯の歯髄炎の感染根管治療について説明できる。	正村 正仁
4	4月17日(月) 3時限	小児の歯内療法(2) 1. 幼若永久歯の歯内療法	幼若永久歯の歯内療法について説明できる。 幼若永久歯の歯髄炎の処置法を説明できる。 幼若永久歯の根尖性歯周炎の処置法を説明できる。 幼若永久歯の歯髄炎の感染根管治療について説明できる。	正村 正仁
5	4月24日(月) 3時限	咬合誘導(1) 1. 咬合誘導概論 2. 歯列・咬合の診察と分析法 3. 歯列・咬合を乱す異常	咬合誘導の意義と目的について説明できる。 歯列・咬合の診察と分析法について説明できる。 歯列・咬合を乱す異常について説明できる。	大須賀直人
6	5月1日(月) 3時限	咬合誘導(2) 1. 保隙装置の種類と適応症 2. 動的な咬合誘導 3. 乳歯列期の咬合誘導	保隙装置の種類と適応症について説明できる。 動的な咬合誘導について説明できる。 乳歯列期の咬合誘導について説明できる。	大須賀直人
7	5月8日(月) 3時限	咬合誘導(3) 1. 混合歯列期の咬合誘導 2. 外科的誘導法 3. 口腔習癖	混合歯列期の咬合誘導について説明できる。 外科的誘導法について説明できる。 口腔習癖について説明できる。	大須賀直人
8	5月15日(月) 3時限	小児の外科処置(1) 1. 乳歯抜去の適応症、禁忌症 2. 局所麻酔法 3. 拔牙の術式 4. 後処置と留意点	乳歯抜去の適応症、禁忌症について説明できる。 局所麻酔法について説明できる。 乳歯の拔牙の術式について説明できる。 拔牙の後処置と留意点について説明できる。 過剰歯の拔牙について説明できる。 小帯異常の処置について説明できる。	大須賀直人
9	5月22日(月) 3時限	小児の外科処置(2) 1. 全身疾患と拔牙 2. 過剰歯の拔牙 3. 小帯異常の処置	拔牙時の留意点について説明できる。	大須賀直人
10	5月29日(月) 3時限	小児の歯の外傷(1) 1. 外傷の疫学 2. 外傷の分類 3. 外傷の処置法 4. 乳歯外傷が永久歯におよぼす影響 5. 外傷の予後 6. 外傷の予防	歯の外傷の疫学について説明できる。 小児の歯の外傷の分類について説明できる。 小児の歯の外傷の処置法について説明できる。 乳歯外傷が永久歯におよぼす影響について説明できる。 歯の外傷の予後について説明できる。 歯の外傷の予防について説明できる。	大須賀直人

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
11	6月5日(月) 3時限	小児の歯の外傷(2) 1. 外傷の疫学 2. 外傷の分類 3. 外傷の処置法 4. 乳歯外傷が永久歯におよぼす影響 5. 外傷の予後 6. 外傷の予防	歯の外傷の疫学について説明できる。 小児の歯の外傷の分類について説明できる。 小児の歯の外傷の処置法について説明できる。 乳歯外傷が永久歯におよぼす影響について説明できる。 歯の外傷の予後について説明できる。 歯の外傷の予防について説明できる。	西川 康博
12	6月12日(月) 3時限	スポーツによる歯・口腔の外傷の予防	マウスガードの種類について説明できる。 マウスガードに用いられる材料の種類、性質や特徴を説明できる。	正村 正仁
13	6月19日(月) 3時限	小児疾患と歯科治療 1. 遺伝性疾患 2. 染色体異常 3. 感染症 4. ビタミン欠乏症 5. 内分泌異常 6. 血液、造血器疾患 7. 代謝異常 8. 腎疾患 9. 循環器疾患 10. 呼吸器疾患 11. 免疫性疾患	歯科治療上問題となる遺伝性疾患について説明できる。 歯科治療上問題となる染色体異常について説明できる。 歯科治療上問題となる感染症について説明できる。 歯科治療上問題となるビタミン欠乏症について説明できる。 歯科治療上問題となる内分泌異常について説明できる。 歯科治療上問題となる血液、造血器疾患について説明できる。 歯科治療上問題となる代謝異常について説明できる。 歯科治療上問題となる腎疾患について説明できる。 歯科治療上問題となる循環器疾患について説明できる。 歯科治療上問題となる呼吸器疾患について説明できる。 歯科治療上問題となる免疫性疾患について説明できる。	正村 正仁
14	6月26日(月) 3時限	小児口腔の健康の維持・増進 1. 包括医療 2. 地域医療 3. 医療連携	小児歯科における包括医療について説明できる。 小児歯科における地域医療について説明できる。 小児歯科における医療連携について説明できる。	中村 浩志
15	7月10日(月) 3時限	まとめ		大須賀直人

歯 科 矯 正 学

(C4080)

第 4 学年 (前期)
講義 必修

【担当者】

教 授：岡藤範正
非常勤講師：廣 俊明

【一般目標 (GIO)】

1. 乳歯列・混合歯列・永久歯列期における矯正歯科治療の意義と目的を理解する。
2. 不正咬合に対する矯正歯科治療の必要性和その意義を理解する。
3. 矯正歯科治療に用いる矯正装置・矯正材料の適応症、特性を正しく理解する。

【行動目標 (SBOs)】

1. 矯正歯科治療に対する意義と目的を説明できる。
2. 不正咬合の原因と分類を理解し個々に応じた治療法について説明できる。
3. 不正咬合の治療における歯科矯正治療に用いる矯正装置について説明できる。
4. 矯正歯科治療に伴う偶発症を理解し口腔衛生管理の必要性について説明できる。
5. 再発防止について理解し保定の意義、目的、装置について説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕飯田順一郎・葛西一貴・後藤滋巳・末石研二・横宏太郎・山城隆編：「歯科矯正学 第6版」(医歯薬出版)
(3年次購入済)

〔参考書〕清水典佳・鈴木里奈編：「歯科国試パーフェクトマスター歯科矯正学」(医歯薬出版)

【教育 (学習) 方略 (LS)】

各授業にて教科書、授業プリントを用いて基本的知識の習得をはかる。講義内容はイントラに事前に掲載する。次週に予定されている Weekly Test において、1回の授業について5問程度の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

定期試験、Weekly Test 実施後に正解率が低い問題に対し解答例または記入例を次週講義冒頭に提示するので確認すること

【評価方法 (Evaluation)】

授業内容の理解度を Weekly Test で確認する。評価は、Weekly Test (30%)、定期試験 (70%) の採点結果より評価する。出席状況、提出物、授業態度を加味する場合がある。

【注意事項】

筆記用具と共に講義内容によっては分度器、定規等が必要となります。

【準備学習時間 (予習・復習)】

60分

復 習：配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること

【オフィスアワー】

火曜 (17:30~20:00) 本館2階東棟 歯科矯正学講座教授室 オフィスアワー以外でも随時対応可能です。

連絡先 E-mail: norimasa.okafuji@mdu.ac.jp

【授業日程】

歯 科 矯 正 学 第4学年（前期）				
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	3月28日(火) 2時限	歯科矯正治療における抜歯	1. 矯正歯科治療における抜歯の意義と目的を理解する。 2. 抜歯の判定基準を理解する。 3. 連続抜去法の意義と目的を理解する。	岡藤 範正
2	4月4日(火) 2時限	矯正歯科治療方針の立案 矯正歯科治療学概論	1. 矯正歯科診察および分析結果の総合評価について理解する。 2. 矯正歯科治療目標の設定の重要性を理解する。 3. 矯正歯科治療の種類について理解する。	岡藤 範正
3	4月11日(火) 2時限	矯正力	1. 矯正力の種類と大きさの分類について理解する。 2. 矯正力の作用様式について理解する。 3. 歯の移動様式について理解する。	岡藤 範正
4	4月18日(火) 2時限	矯正歯科治療における固定	1. 固定の定義と意義について理解する。 2. 部位による固定の分類について理解する。 3. 抵抗の性質による固定の分類について理解する。 4. 抜歯空隙利用のための固定の分類について理解する。	岡藤 範正
5	4月25日(火) 2時限	歯科矯正用材料の特性	1. 矯正用線材料の機械的特性を理解する。 2. 矯正用線材料の臨床的な要件を理解する。 3. 矯正用接着剤の材料特性について理解する。	岡藤 範正
6	5月2日(火) 2時限	歯科矯正装置①	1. 器械的矯正装置の特徴を理解する。 2. 顎外固定装置の特徴と使用目的を理解する。	岡藤 範正
7	5月9日(火) 2時限	歯科矯正装置②	1. マルチブラケット装置の特徴と使用目的を理解する。 2. 床矯正装置の構成と使用目的を理解する。 3. 機能的矯正装置の特徴を理解する。	岡藤 範正
8	5月16日(火) 2時限	乳歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療	1. 乳歯列期の矯正歯科治療の実際を理解する。 2. 混合歯列期の矯正歯科治療の目的を理解する。 3. 混合歯列期の矯正歯科治療の実際を理解する。	岡藤 範正
9	5月23日(火) 2時限	永久歯列期の矯正歯科治療①	1. 永久歯列期の不正咬合の特徴を理解する。 2. 混合歯列期の矯正歯科治療の実際を理解する。	岡藤 範正
10	5月30日(火) 2時限	永久歯列期の矯正歯科治療②	1. 顎変形症に起因する咬合異常を理解する。 2. 顎変形症に対する外科的矯正治療を理解する。	岡藤 範正
11	6月6日(火) 2時限	保定	1. 保定の概念と種類を理解する。 2. 保定装置の種類と機能を理解する。 3. 不正咬合の再発およびその防止策を理解する。	岡藤 範正
12	6月13日(火) 2時限	矯正歯科治療に伴う偶発症	1. 矯正歯科治療に伴う偶発症の原因について理解する。 2. 矯正歯科治療に伴う偶発症の予防について理解する。 3. 矯正歯科治療に伴う偶発症の対処法について理解する。	岡藤 範正
13	6月20日(火) 2時限	他科との協同による治療	1. 他科との共同を必要とする矯正歯科治療を理解する。 2. 口唇・口蓋裂の矯正歯科治療を理解する。 3. 顎関節症の矯正歯科治療を理解する。	廣 俊明
14	6月27日(火) 2時限	総 括	1. 矯正歯科治療の実際について理解する。 2. 矯正歯科治療に用いる材料について理解する。	岡藤 範正

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
15	7月4日(火) 2時限	他科との協同による治療	1. 他科との共同を必要とする矯正歯科治療を理解する。 2. 口唇・口蓋裂の矯正歯科治療を理解する。 3. 顎関節症の矯正歯科治療を理解する。	岡藤 範正

小児・矯正基礎実習（小児） （C4095）

第4学年（後期）
実習 必修

【担当者】

教授：大須賀直人

准教授：正村正仁、中村浩志

講師：中山 聡、森山敬太

非常勤講師：原 昌伸、中野潤三郎、山川洋子、松田厚子、西川康博、林 牧、水島秀元、谷田幸代、紀田晃生、
山川祐喜子、青木紗衣佳

【一般目標（GIO）】

1. 乳歯の形態的特徴を理解する。
2. 乳歯の窩洞形成法、歯冠修復法を理解する。
3. 乳歯の歯内療法を理解する。
4. 小児のブラッシング方法について理解する。
5. フッ化物の局所応用について理解する。
6. 保険装置について構造を理解し、作製法を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 乳歯の形態的特徴を説明できる。
2. 乳歯の窩洞形成法、歯冠修復法を説明できる。
3. 乳歯歯内療法を説明できる。
4. 小児のブラッシング方法について説明できる。
5. フッ化物の局所応用について説明できる。
6. クラウンループについて説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕

松本歯科大学小児歯科学講座編：「小児歯科学基礎実習マニュアル」

大須賀直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学建書院）

大須賀直人他：「小児歯科学基礎・臨床実習（第3版）」（医歯薬出版）

〔参考書〕

大須賀直人他：「歯科医のための小児科学入門」（MDU 出版会）

大須賀直人他：「小児歯科学（第6版）」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

実習を通して小児の口腔疾患に対し臨床で行われている各種処置法の手技を修得する。

【フィードバック方法】

Weekly Test、レポート実施後、正解率が低い問題に対し解答例および解説を学生イントラへ掲載する。

【評価方法（Evaluation）】

実習の進捗状況、実習態度、臨床的対応力（30%）、製作物（20%）筆記試験（50%）により総合的に評価する。

- ・定期試験、追、再試験は、構成科目（小児歯科学、歯科矯正学）毎に実施する。
- ・追、再試験受験手続きは、1教科として手続きを行う。
- ・最終評価は、小児歯科学：歯科矯正学を1：1の点数配分で評価する（小数点第1位四捨五入）

【注意事項】

実習器具機材は初回の講義前にすべて揃えること。

実習はマネキンを使用して行うが、患者に対する臨床実習を見据えて「生体に対して処置を行う」といった自覚を持って実習に望むこと。

身だしなみに気をつけること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について予習を行うこと。(15分)

復 習：配布された資料や教科書を復習し知識をまとめること。(45分)

【オフィスアワー】

火曜日 実習終了より1時間 実習室あるいは本館2階東棟 小児歯科学講座医局

【授業日程】

小児・矯正基礎実習					第4学年（後期）
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者	
1	8月22日(火) 3時限	1. オリエンテーション・器材検査 2. 歯牙の彫刻 （下顎右側第一乳臼歯） （上顎右側第一乳臼歯）	乳歯の形態的特徴について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子 青木紗衣佳	
2	8月22日(火) 4時限	1. オリエンテーション・器材検査 2. 歯牙の彫刻 （下顎右側第一乳臼歯） （上顎右側第一乳臼歯）	乳歯の形態的特徴について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子 山川祐喜子 青木紗衣佳	
3	8月29日(火) 3時限	1. Ⅲ級 CRF（充填・研磨まで） （上顎左側乳中切歯） 2. CRCr（修復・研磨まで） （上顎右側乳中切歯）	乳歯の形態・齲蝕・歯冠修復の特徴を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子 山川祐喜子	
4	8月29日(火) 4時限	1. Ⅲ級 CRF（充填・研磨まで） （上顎左側乳中切歯） 2. CRCr（修復・研磨まで） （上顎右側乳中切歯）	乳歯の形態・齲蝕・歯冠修復の特徴を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子	
5	9月5日(火) 3時限	1. 生活歯髄切断法（水酸化カルシウム法） （下顎左側第二乳臼歯） 2. 乳歯既製金属冠の試適、合着	乳歯の形態・構造・歯髄炎・処置法の特徴と歯冠修復の重要性について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 林 牧 西川 康博 谷田 幸代	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
6	9月5日(火) 4時限	1. 生活歯髄切断法（水酸化カルシウム法） （下顎左側第二乳臼歯） 2. 乳歯既製金属冠の試適、合着	乳歯の形態・構造・歯髄炎・処置法の特徴と歯冠修復の重要性について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 林 牧 西川 康博 谷田 幸代
7	9月12日(火) 3時限	1. ラバーダム防湿 2. F.S. （下顎左側第一大臼歯） 3. フッ化物による局所応用	小児歯科におけるラバーダム防湿の重要性について理解する。 第一大臼歯が齲蝕に罹患しやすい理由と予防充填法について理解する。 フッ化物の作用機序、フッ化物歯面塗布の方法、塗布溶液の種類、塗布後の説明事項について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 紀田 晃生 水島 秀元 青木紗衣佳
8	9月12日(火) 4時限	1. ラバーダム防湿 2. F.S. （下顎左側第一大臼歯） 3. フッ化物による局所応用	小児歯科におけるラバーダム防湿の重要性について理解する。 第一大臼歯が齲蝕に罹患しやすい理由と予防充填法について理解する。 フッ化物の作用機序、フッ化物歯面塗布の方法、塗布溶液の種類、塗布後の説明事項について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 紀田 晃生 水島 秀元 青木紗衣佳
9	9月19日(火) 3時限	保護者に対するブラッシング指導（仕上げ磨きの指導）	小児の年齢、歯列状態に応じた仕上げ磨きの方法について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子 西川 康博 谷田 幸代
10	9月19日(火) 4時限	保護者に対するブラッシング指導（仕上げ磨きの指導）	小児の年齢、歯列状態に応じた仕上げ磨きの方法について理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太 原 昌伸 中野潤三郎 山川 洋子 松田 厚子 西川 康博 谷田 幸代
11	9月26日(火) 3時限	クラウンループの作製	クラウンループの作成方法と適応を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太
12	9月26日(火) 4時限	クラウンループの作製	クラウンループの作成方法と適応を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
13	10月3日(火) 3時限	クラウンループの作製	クラウンループの作成方法と適応を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太
14	10月3日(火) 4時限	クラウンループの作製	クラウンループの作成方法と適応を理解する。	大須賀直人 正村 正仁 中村 浩志 中山 聡 森山 敬太

小児・矯正基礎実習（矯正） (C4095)

第4学年（後期）
実習 必修

【担当者】

准教授：川原良美

講師：村岡理奈

助教：深沢香菜子、橋本達也、丸山歩美、中根 隆、倉科勇太

補助者：平岡敬太、酒井聡美

非常勤講師：津村智信

【一般目標（GIO）】

1. 成長期の患者の口腔・顎顔面の状態を把握し、不正咬合に対する治療の必要性和その意義を理解するため、不正咬合の治療に用いられる代表的な矯正装置の構造と作用機序を理解し、それらの作製法および調整方法を理解する。
2. 矯正治療に際し、使用する矯正装置について患者や保護者にわかりやすく説明するために必要な基本的知識・技能及び態度を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 不正咬合の原因、種類、診査、診断、治療および予防法を説明できる。
2. 矯正装置に用いられる器材の名称と使い方を説明できる。
3. 矯正装置の種類と用途を説明できる。
4. 指定された矯正装置を作製できる。
5. 矯正治療に必要な力学を説明できる。
6. 矯正治療によって生じうる医原性障害を挙げ、その処置と予防法を説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕

飯田順一郎・葛西一貴・後藤滋巳・末石研二・横宏太郎・山城隆編：「歯科矯正学 第6版」（医歯薬出版）

〔参考書〕

松本歯科大学歯科矯正学講座編：「歯科矯正学基礎実習マニュアル」

【教育（学習）方略（LS）】

実習デモ、教材を用いて製作手順を理解し、実際に製作を行う。製作物および定期試験により内容の理解を確認する。
次週に予定されている Weekly Test において、1回の授業について5問程度の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

Weekly Test、レポート実施後、正解率が低い問題に対し解答例および解説を学生イントラへ掲載する。

【評価方法（Evaluation）】

実習の進行状況、実習態度、臨床的対応力（20%）、製作物（20%）、筆記試験（60%）に Weekly Test を加味し総合的に評価する。

- ・定期試験、追、再試験は、構成科目（小児歯科学、歯科矯正学）毎に実施する。
- ・追、再試験受験手続きは、1教科として手続きを行う。
- ・最終評価は、小児歯科学：歯科矯正学を1：1の点数配分で評価する（小数点第1位四捨五入）

【注意事項】

遅刻、欠席は基本的に認めない。将来、医療従事者となる自覚を持って実習に望むこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について予習を行うこと。(15分)

復 習：配布された資料や教科書を復習し知識をまとめること。(45分)

【オフィスアワー】

実習日（18：00～19：00）本館2階東棟 歯科矯正学講座医局 予約をすれば他の時間でも可能

【授業日程】

小児・矯正基礎実習						第4学年（後期）	
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者		
15	10月10日(火) 3時限	S.T. ロック鑲着 脚部の屈曲 主線の屈曲 鑲着練習 主線と脚部の鑲着 研磨	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香菜子 栖本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信		
16	10月10日(火) 4時限	S.T. ロック鑲着 脚部の屈曲 主線の屈曲 鑲着練習 主線と脚部の鑲着 研磨	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香菜子 栖本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信		
17	10月17日(火) 3時限	補助弾線の鑲着・屈曲・ダンキング	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香菜子 栖本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信		
18	10月17日(火) 4時限	補助弾線の鑲着・屈曲・ダンキング	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香菜子 栖本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信		
19	10月24日(火) 3時限	補助弾線の鑲着・屈曲・ダンキング	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香菜子 栖本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信		
20	10月24日(火) 4時限	補助弾線の鑲着・屈曲・ダンキング	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香菜子 栖本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信		
21	10月31日(火) 3時限	ダンキング 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。 4. 矯正治療に必要な力学を説明できる。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香菜子 栖本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信		

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
22	10月31日(火) 4 時限	ダンキング 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。 4. 矯正治療に必要な力学を説明できる。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香 菜子 橋本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信
23	11月 7 日(火) 3 時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香 菜子 橋本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信
24	11月 7 日(火) 4 時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香 菜子 橋本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信
25	11月14日(火) 3 時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香 菜子 橋本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信
26	11月14日(火) 4 時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香 菜子 橋本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信
27	11月21日(火) 3 時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香 菜子 橋本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信
28	11月21日(火) 4 時限	ワイヤーベンディング トルク調整 オメガグループ付与 前歯部排列 完成	1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。 3. 指定された矯正装置を作製できる。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香 菜子 橋本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信
29	11月28日(火) 3 時限	臨床の対応	矯正歯科における診療の実際について理解する。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香 菜子 橋本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
30	11月28日(火) 4時限	臨床的対応	矯正歯科における診療の実際について理解する。	川原 良美 村岡 理奈 深沢香葉子 栖本 達也 丸山 歩美 中根 隆 倉科 勇太	平岡 敬太 酒井 聡美 津村 智信

口腔外科学 (C4100)

第4学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

教授：栗原祐史、芳澤享子

客員教授：各務秀明

助教：佐藤 工、富士安奈、近藤皓彦

【一般目標（GIO）】

口腔外科疾患の原因、症状と診断法を理解し、診断および治療方針を立てるための基本的な知識を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 外傷、口腔粘膜疾患、腫瘍、顎変性症、嚢胞、顎関節疾患、唾液腺疾患、血液疾患、神経疾患の原因、症状、診断、治療法を理解する。
2. 口腔領域に関わる全身疾患の病態と罹患患者に対する口腔外科的治療法を理解する。

【教科書・参考書】

【教科書】白砂 兼光・古郷 幹彦：「口腔外科学 第4版」（医歯薬出版）

榎本 昭二・道 健一・天笠 光雄他：「最新口腔外科学（第5版）」（医歯薬出版）

山根 源之他編：「口腔内科学」（永末書店）

【参考書】道 健一監修：「改訂版 口腔顎顔面疾患カラーアトラス」（永末書店）

栗田 賢一・覚道 健治：「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療（第5版）」（永末書店）

【教育（学習）方略（LS）】

教科書を主体に Power Point を用いて講義を行い、Weekly Test で知識を評価する。

【フィードバック方法】

本試験実施後、解答を掲示するので、疑問点等あればオフィスアワーに質問に来ること。

講義内容、Weekly Test、定期試験にて質問の多い内容については講義あるいは学生イントラにて解説する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test を30%、定期試験を70%の比率として100点満点に換算し、65点以上を合格とする。

【注意事項】

1. 医療従事者となる自覚をもって授業に臨むこと。
2. 事前に教科書を読んで、授業の内容を理解しておくこと。
3. 講義後は講義資料だけでなく、教科書、参考書を用いて内容を復習、整理し、理解すること。
4. Weekly Test は、授業の理解度を確認する資料となる。
5. 評価は、Weekly Test（30%）と定期試験の成績で行うので Weekly Test を欠席しないこと。欠席分は0点として評価する。

【準備学習時間（予習・復習）】

75分

予 習：事前に当日の講義範囲について教科書、参考書で予習を行うこと。（30分）

復 習：当日の講義内容を講義資料を中心に復習し、教科書・参考書を利用して各自知識を整理すること。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日・水曜日 17:30～18:30

本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座教授室、医局

オフィスアワー以外で質問等ある場合は事前に日程を確認すること

【授業日程】

口腔外科学 第4学年（前期・後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	3月31日(金) 2時限	外傷(1) 総論、顎顔面の外傷 「第4版 口腔外科学」p88-102	軟組織と骨・関節の損傷を説明できる。顎顔面外傷の原因、診断、救急・応急処置、軟組織処置、顎骨骨折の治療を説明することができる。	栗原 祐史
2	4月7日(金) 2時限	外傷(2) 歯の外傷および歯槽骨骨折、下顎骨骨折、中顔面骨折 「第4版 口腔外科学」p102-121	歯の外傷、歯槽骨骨折の診断と治療を説明することができる。顎骨骨折の診断と治療（下顎骨骨折、上顎骨骨折、頬骨骨折、頬骨弓骨折、吹き抜け骨折、鼻骨骨折等）を説明することができる。	佐藤 工
3	4月14日(金) 2時限	口腔粘膜疾患(1) 口腔粘膜の構造と機能、口腔粘膜疾患（口内炎、アフタおよびアフタ病変、水疱疾患、ウイルス性疾患） 「第4版 口腔外科学」p173-189 「口腔内科学」p337-386	口腔粘膜の構造と機能および疾患の分類について説明できる。口内炎、アフタおよびアフタ病変、水疱疾患、ウイルス性疾患の診療症状、診断と治療を説明することができる。	芳澤 享子
4	4月21日(金) 2時限	口腔粘膜疾患(2) 口腔扁平苔癬と口腔苔癬様病変、角化性疾患、色素沈着、膠原病、薬物による病変、舌・口唇炎 「第4版 口腔外科学」p190-212 「口腔内科学」p337-386	口腔扁平苔癬と口腔苔癬様病変、角化性疾患、色素沈着、膠原病、免疫関連病変、薬物による病変、舌・口唇炎の臨床症状、診断と治療を説明することができる。	芳澤 享子
5	4月28日(金) 2時限	口腔腫瘍：総論 「第4版 口腔外科学」p213-233 「最新口腔外科学」第3章p292-312	口腔・顎・顔面に発症する良性及び悪性腫瘍の特徴および口腔がんの特性、発生メカニズム、口腔潜在的悪性疾患、口腔粘膜上皮の腫瘍について説明することができる。	芳澤 享子
6	5月12日(金) 2時限	歯源性腫瘍(1) 「第4版 口腔外科学」p233-251 「最新口腔外科学」p313-325	歯源性腫瘍の特徴、分類の変遷、良性上皮性歯源性腫瘍、良性上皮間葉混合性歯源性腫瘍の症状、診断、治療について説明することができる。	芳澤 享子
7	5月19日(金) 2時限	歯源性腫瘍(2) 「第4版 口腔外科学」p251-270 「最新口腔外科学」第3章p325-326、341-342	良性間葉性歯源性腫瘍、悪性歯源性腫瘍、骨の良性腫瘍と腫瘍状病変、血液リンパ性腫瘍の症状、診断、治療について説明することができる。	芳澤 享子
8	5月26日(金) 2時限	良性腫瘍 軟組織の良性非上皮性腫瘍 「第4版 口腔外科学」p275-289 「最新口腔外科学」p329-335	良性非上皮性腫瘍について各々の腫瘍の症状、診断、治療について説明することができる。	芳澤 享子
9	6月2日(金) 2時限	悪性腫瘍(1) 口腔扁平上皮癌 「第4版 口腔外科学」p213-233 「最新口腔外科学」p292-312	悪性腫瘍の分類、転移様式、全身への影響、口腔扁平上皮癌のTNM分類、病期分類および診断について説明することができる。	芳澤 享子
10	6月9日(金) 2時限	悪性腫瘍(2) 1. 非上皮性悪性腫瘍（肉腫） 2. 悪性リンパ腫 3. 悪性黒色腫 「第4版 口腔外科学」p270-275、p289-304 「最新口腔外科学」p349-357	非上皮性悪性腫瘍（肉腫）、悪性リンパ腫、悪性黒色腫の診断、治療法について説明することができる。	芳澤 享子
11	6月16日(金) 2時限	悪性腫瘍(3) 腫瘍の治療法：総論 治療選択に関係する因子、治療法の概要、緩和医療（緩和ケア） 「第4版 口腔外科学」p634-647	治療選択に関係する因子、治療法の概要、医療安全対策と多職種連携、緩和医療（緩和ケア）について、臨床上に必要な知識を身につける。	芳澤 享子

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
12	6月23日(金) 2時限	悪性腫瘍(4) 腫瘍の治療法：外科療法： 切除範囲の決定、口腔癌の手術法、顎 部郭清術 「第4版 口腔外科学」p647-668 「最新口腔外科学」p776-803	腫瘍の切除範囲の決定法を含め、口腔癌の手術法、 顎部郭清術を説明することができる。	芳澤 享子
13	6月30日(金) 2時限	悪性腫瘍(5) 腫瘍の治療法：移植と再建外科 移植術による軟組織および骨の再建、 骨延長法による再建、生体材料による 顎骨再建 「第4版 口腔外科学」p528-573	組織移植法の種類と特徴、移植骨、仮骨延長法、生 体材料を用いた硬組織の再建方法を説明することが できる。	芳澤 享子
14	7月7日(金) 2時限	悪性腫瘍(6) 腫瘍の治療法：放射線治療、化学療法 およびその他の治療法（免疫療法、温 熱療法、分子標的両方、ホルモン療法 など） 「第4版 口腔外科学」p668-691	口腔癌に用いられる外科的治療以外の治療法（放射 線治療法、化学療法、免疫療法等）の特徴と合併症 について説明することができる。	芳澤 享子
15	7月11日(火) 2時限	顎変形症 誘因、分類、診断、治療法（上顎骨骨 切り術、下顎骨骨切り術、骨延長術） 「第4版 口腔外科学」p81-87、p596-633	顎変形症の誘因、顎変形症の分類について理解し、 診断ができる。 顎変形症に対する手術法とその適応を説明すること ができる。	佐藤 工
16	8月23日(水) 1時限	顎口腔の嚢胞(1) 定義と頻度、分類、診断法、治療法、 顎骨嚢胞（炎症性、発育性、非菌原 性、術後性上顎嚢胞、偽嚢胞） 「第4版 口腔外科学」p305-324	嚢胞について、その成因、症状、診断、治療方法を 説明することができる。 顎骨に生じる嚢胞について、その成因、症状、診 断、治療方法を説明することができる。	近藤 皓彦
17	8月30日(水) 1時限	顎口腔の嚢胞(2) 軟組織の嚢胞（粘液嚢胞、鼻歯槽嚢 胞、頬皮嚢胞と頬表皮嚢胞、鰓嚢胞、 甲状舌管嚢胞） 「第4版 口腔外科学」p325-334	顎口腔に発生する軟組織嚢胞について、その成因、 症状、診断、治療方法を説明することができる。	近藤 皓彦
18	9月6日(水) 1時限	顎関節疾患(1) 顎関節部の構造と機能、顎関節疾患の 分類、顎関節の先天異常・発育異常、 顎関節脱臼、顎関節軟組織損傷 「第4版 口腔外科学」p335-349	顎関節部の構造と機能を理解し、顎関節疾患の分類 から診断ができる。 顎関節の先天異常、発育異常、脱臼や外傷の病態と 治療法を説明することができる。	芳澤 享子
19	9月13日(水) 1時限	顎関節疾患(2) 顎関節の炎症、顎関節の腫瘍、腫瘍類 似疾患、顎関節強直症、咀嚼筋疾患、 全身疾患に起因する顎関節障害 「第4版 口腔外科学」p349-355、372- 375	顎関節の炎症、顎関節の腫瘍、腫瘍類似疾患、顎関 節強直症、進行性下顎頭吸収、咀嚼筋疾患、全身疾 患に起因する顎関節障害の診断と治療法を説明す ることができる。	芳澤 享子
20	9月20日(水) 1時限	顎関節疾患(3)顎関節症： 総論、顎関節症の分類、顎関節症の診 断、顎関節症の治療 「第4版 口腔外科学」p356-372	顎関節症の症型分類を理解し、診断することができ る。 治療法について説明することができる。	富士 安奈
21	9月27日(水) 1時限	唾液腺疾患(1) 総論：唾液腺の機能、構造、発生、疾 患の診断法 各論：発育異常、唾石症、唾液腺炎 「第4版 口腔外科学」p376-391	唾液腺の機能、構造、発生について説明できる。 唾石線疾患の診断法について説明できる。 唾液腺の発育異常、唾石症、唾液腺の炎症性疾患に ついて診断、治療法を説明することができる。	芳澤 享子

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
22	10月4日(水) 1時限	唾液腺疾患(2) ウイルス性唾液腺炎、Sjögren 症候群、 IgG 4 関連涙腺・唾液腺炎、腫瘍状病変 「第4版 口腔外科学」p391-402	Sjögren 症候群、IgG 4 関連涙腺・唾液腺炎、唾液腺の腫瘍状病変について診断ができる。 治療法を説明することができる。	芳澤 享子
23	10月11日(水) 1時限	唾液腺疾患(3) 腫瘍発生、病理分類、TNM 分類、良性腫瘍、悪性腫瘍、唾石腺腫瘍の治療法 「第4版 口腔外科学」p402-430	唾液腺腫瘍に関する基礎的事項を理解する。 唾液腺良性、悪性腫瘍の診断、治療法について説明することができる。	芳澤 享子
24	10月18日(水) 1時限	血液疾患(1)総論： 血液疾患の基礎、貧血、白血病、白血球減少症 「第4版 口腔外科学」p431-449 最新口腔外科学 p254-262、口腔内科学 p198-211	血液疾患の分類と、その特徴を理解し、貧血、白血病、白血球減少症患者の診断法、罹患患者への口腔外科的対応について説明できる。	芳澤 享子
25	10月25日(水) 1時限	血液疾患(2)出血性素因1： 止血・凝固機序、検査、血管壁の異常、血小板の異常 「第4版 口腔外科学」p449-456 最新口腔外科学 p262-268、口腔内科学 p212-215	止血・凝固機構とその検査について説明できる。 出血性素因の分類とその特徴を理解し、血管壁の異常、血小板の異常による疾患と口腔外科的対応について説明できる。	芳澤 享子
26	11月1日(水) 1時限	血液疾患(3)出血性素因2： 凝固因子の異常、線溶系の異常 「第4版 口腔外科学」p456-463 最新口腔外科学 p268-271、口腔内科学 p215-216	臨床症状、検査結果から凝固因子および線溶系の異常による出血性素因の診断ができる。出血性素因を持つ患者の外科治療法について説明することができる。	芳澤 享子
27	11月8日(水) 1時限	神経疾患と心因性病態(1) 総論：神経分布と機能、疼痛、麻痺、けいれん 三叉神経痛、帯状疱疹痛、舌咽神経痛、茎状突起過長症 「第4版 口腔外科学」p464-477 「口腔内科学」第5章	顎顔面領域の神経分布と機能が説明できる。 疼痛、麻痺、けいれんの病態を説明できる。 末梢神経損傷の診断方法を説明できる 三叉神経痛および顎顔面領域における神経痛類似疾患の原因、症状を理解し、診断ができる。 治療方法を説明することができる。	芳澤 享子
28	11月15日(水) 1時限	神経疾患と心因性病態(2) 顔面神経麻痺、三叉神経麻痺、舌咽神経麻痺、けいれん、めまい、心因性病態、脳障害と認知障害 「第4版 口腔外科学」p477-486 「口腔内科学」第5章	顎顔面領域の神経麻痺の原因と神経障害部位による症状を理解し、診断ができる。 治療方法を説明することができる。 けいれんを呈する疾患について説明することができる。 心因性病態について説明することができる。 脳障害と認知障害について説明することができる。	芳澤 享子
29	11月22日(水) 1時限	口腔外科と関連する全身疾患 歯科医師に必要とされる医学的知識 「口腔内科学」第4章 「第4版 口腔外科学」第18章	口腔外科と関連する全身疾患の病態について理解することで、歯科口腔外科治療を行う上での注意点について説明することができる。	各務 秀明
30	11月29日(水) 1時限	有病者の歯科治療 有病者への対応、治療上の注意点、実際の治療手順、口腔ケア・周術期口腔管理 「第4版 口腔外科学」第18章 「最新口腔外科学」p644-648	有病者の特徴を理解し、それぞれの疾患に応じた対応を学ぶことで、歯科・口腔外科的治療するために必要な知識を身につける。 口腔ケア・周術期口腔管理を理解する。	近藤 皓彦

歯科麻酔学 (C4110)

第4学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

教授：澁谷 徹
准教授：谷山貴一
非常勤講師：林 直樹

【一般目標（GIO）】

1. 歯科治療における全身管理、局所麻酔、精神鎮静法および全身麻酔の基本を理解する。
2. 救急処置の基本を修得する。
3. 口腔顎顔面領域の慢性痛と神経麻痺を理解する。
4. 医療事故防止のための安全管理を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. バイタルサインの意義とそのモニタリング方法を説明できる。
2. 血圧、脈拍、呼吸の測定方法と異常所見を説明できる。
3. 歯科治療中の全身状態に影響を及ぼす疾患を説明できる。
4. 患者の全身状態の評価についてを説明できる。
5. 局所麻酔の目的を説明できる。
6. 局所麻酔薬の分類と、その作用機序を説明できる。
7. 局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。
8. 血管収縮薬の使用法、種類および臨床使用上の注意を説明できる。
9. 局所麻酔の実施法と合併症を説明できる。
10. 精神鎮静法の目的と種類を説明できる。
11. 吸入鎮静法と静脈内鎮静法に使用する薬剤、適応、禁忌および合併症を説明できる。
12. 全身麻酔の目的と概念を説明できる。
13. 全身麻酔に使用する薬物、機器、器具を説明できる。
14. 全身麻酔の合併症と周術期管理を説明できる。
15. 歯科治療時の全身合併症を説明できる。
16. 心肺蘇生法の手順を説明できる。
17. 救急処置に用いられる薬物を説明できる。
18. 三叉神経痛と神経麻痺を説明できる。
19. 医療事故防止のための安全管理体制を説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 丹羽均・入船正浩・小長谷光・澁谷徹編：「第6版 臨床歯科麻酔学」（永末書店）
〔参考書〕 福島和昭監修・戸達也他編：「歯科麻酔学（第8版）」（医歯薬出版）
今井裕、岩淵博史監修・石垣佳希他編：「有病者歯科学（第2版）」（永末書店）

【教育（学習）方略（LS）】

教科書とスライドを使用して講義を行い、教科書に記載された内容のうち重要な事項につき解説を行う。

【フィードバック方法】

Weekly Test の正答率が低い問題につき解説を行う。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験を70点満点、Weekly Test の平均を30点満点に換算し、合計100点満点で前期と後期の評価を行う。前期・後期評価点を平均し、65点以上を合格とする。65点未満の者には後期に1回のみ再試験を行う。また、出席状況や受講態度を評価に加味することがある。

【注意事項】

教科書を必ず持参し、説明事項をノートに筆記すること。

講義内容の不明な点や理解できない箇所は、受講後に質問して解決する。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

教科書、スライド資料、講義ノートおよび Post Test の内容につき復習する。

【オフィスアワー】

月曜日、火曜日 16：30～17：30

本館 5 階西棟 歯科麻酔学講座教授室または医局

他の曜日・時間も予約をすれば対応可能

【授業日程】

歯 科 麻 酔 学 第 4 学 年（前期・後期）				
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	3月27日(月) 2時限	麻酔の概念 歯科麻酔の役割	局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔の目的を説明できる。 全身管理の必要性を説明できる。	澁谷 徹
2	4月3日(月) 2時限	呼吸生理	呼吸器系の構造と機能を説明できる。	澁谷 徹
3	4月10日(月) 2時限	血液による酸素と二酸化炭素の運搬	血液中の酸素と二酸化炭素運搬を説明できる。	澁谷 徹
4	4月17日(月) 2時限	循環生理	心臓の構造と機能を説明できる。 循環器系の構造と機能を説明できる。	澁谷 徹
5	4月24日(月) 2時限	神経生理 生体のストレス反応 酸塩基平衡	自律神経系の構造と機能を説明できる。 ストレスに対する自律神経系、内分泌系の反応を説明できる。 酸塩基平衡を説明できる。	澁谷 徹
6	5月1日(月) 2時限	全身状態評価法 1. 診察法 2. バイタルサイン 3. 臨床検査 4. 手術危険度	診察に必要な事項を説明できる。 バイタルサインを把握できる。 各種臨床検査の基準値を知り、異常値の意味を説明できる。	澁谷 徹
7	5月8日(月) 2時限	管理上問題となる疾患 1. 循環器系疾患－①	麻酔管理上問題となる疾患について説明できる。	澁谷 徹
8	5月15日(月) 2時限	1. 循環器系疾患－② 2. 呼吸器系疾患	麻酔管理上問題となる疾患について説明できる。	澁谷 徹
9	5月22日(月) 2時限	3. 内分泌系疾患 4. 腎疾患 5. その他の疾患	麻酔管理上問題となる疾患について説明できる。	澁谷 徹
10	5月29日(月) 2時限	局所麻酔薬 1. 局所麻酔薬の分類 2. 作用機序 3. 局所麻酔作用に影響する因子	局所麻酔の目的を説明できる。 局所麻酔薬を分類し、その作用機序を説明できる。 局所麻酔作用に影響する因子を説明できる。	澁谷 徹
11	6月5日(月) 2時限	4. 局所麻酔薬の吸収、代謝、排泄 5. 各種局所麻酔薬の特徴	局所麻酔薬の代謝を説明できる。 各種局所麻酔薬の特徴を説明できる。	澁谷 徹
12	6月12日(月) 2時限	血管収縮薬 1. 血管収縮薬添加の目的 2. 血管収縮薬の種類	血管収縮薬を添加する目的を説明できる。 血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。 臨床使用上の注意を説明できる。	澁谷 徹
13	6月19日(月) 2時限	局所麻酔法 1. 表面麻酔法 2. 浸潤麻酔法 3. 周囲麻酔法	局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。 浸潤麻酔法を説明できる。	澁谷 徹
14	6月26日(月) 2時限	4. 伝達麻酔法	伝達麻酔法と麻酔奏効範囲を説明できる。	澁谷 徹
15	7月10日(月) 2時限	局所麻酔の合併症	局所麻酔の合併症を説明できる。	澁谷 徹
16	8月21日(月) 2時限	医療事故防止のための安全管理体制	医療事故防止のための安全管理について説明できる。	澁谷 徹
17	8月28日(月) 2時限	モニタリング	呼吸器系、循環器系のモニタについて説明できる。	澁谷 徹

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
18	9月4日(月) 2時限	精神鎮静法の適応と禁忌 吸入鎮静法 静脈内鎮静法	精神鎮静法の目的を説明できる。 精神鎮静法の適応と禁忌を説明できる。 精神鎮静法の種類を説明できる。	林 直樹
19	9月11日(月) 2時限	全身麻酔の理論 吸入麻酔法 1. 吸入麻酔薬 2. 麻酔薬の吸収と排泄	全身麻酔の目的を説明できる。 吸入麻酔薬の種類と特徴を説明できる。	澁谷 徹
20	9月21日(木) 2時限	3. 麻酔器、麻酔回路 4. 麻酔用器具 5. 気管挿管	麻酔器と麻酔回路について説明できる。 麻酔導入法を説明できる。	澁谷 徹
21	9月25日(月) 2時限	静脈麻酔法 静脈麻酔薬 筋弛緩薬	静脈麻酔薬の特徴を説明できる。 筋弛緩薬について説明できる。	澁谷 徹
22	10月2日(月) 2時限	術前管理 1. 麻酔前投薬 2. 術前経口摂取制限 術中管理 1. 呼吸、循環、代謝管理	麻酔前投薬の目的と種類を説明できる。 経口摂取の制限について説明できる。 呼吸、循環および代謝管理を説明できる。	澁谷 徹
23	10月13日(金) 2時限	術中管理 2. 輸液、輸血 3. 術中合併症	輸液と輸血の目的と種類を説明できる。 術中合併症を説明できる。	澁谷 徹
24	10月16日(月) 2時限	術後管理 1. 疼痛管理 2. 術後合併症 日帰り全身麻酔	術後の疼痛管理を説明できる。 術後合併症を説明できる。 日帰り全身麻酔の適応を説明できる。	澁谷 徹
25	10月23日(月) 2時限	小児麻酔 高齢者麻酔	小児の生理学的特徴を説明できる。 小児麻酔の特徴を説明できる。 高齢者の生理学的特徴を説明できる。 高齢者麻酔について説明できる。	澁谷 徹
26	10月30日(月) 2時限	歯科治療時の全身偶発症 1. 血管迷走神経反射 2. 過換気症候群 3. 異物の誤飲・誤嚥	歯科治療時の全身偶発症を説明できる。	谷山 貴一
27	11月6日(月) 2時限	4. 内科的基礎疾患の増悪 ①循環器系疾患	歯科治療時の全身偶発症を説明できる。	谷山 貴一
28	11月13日(月) 2時限	②その他の疾患	歯科治療時の全身偶発症を説明できる。	谷山 貴一
29	11月20日(月) 2時限	一次救命処置 (BLS) 二次救命処置 (ACLS)	意識レベル、呼吸および循環の状態を把握できる。 一次救命処置を説明できる。 二次救命処置を説明できる。	澁谷 徹
30	11月27日(月) 2時限	疼痛治療 1. 三叉神経痛 2. 非菌原性歯痛 3. 三叉神経麻痺 4. 顔面神経麻痺 5. 星状神経節ブロック 6. 癌性疼痛治療法	三叉神経痛の症状と治療法を説明できる。 非菌原性歯痛について説明できる。 顔面神経麻痺の症状と治療法を説明できる。 三叉神経麻痺の治療法を説明できる。 癌性疼痛の治療法を説明できる。	澁谷 徹

歯科放射線学 (C4120)

第4学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

教授：田口 明
准教授：杉野紀幸
講師：黒岩博子

【一般目標（GIO）】

歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに画像診断について十分な知識、技能を習得するとともに、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法および放射線治療の基礎について理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 放射線の性質、影響および防護について説明する。
2. 各種画像検査法の画像形成原理を説明する。
3. 各種画像検査に用いられる装置の種類と特徴および撮影技術について説明する。
4. 歯・口腔顎顔面領域疾患の診断に適した画像検査法を選択する。
5. 歯・口腔顎顔面領域疾患の診断に必要な画像所見の特徴を説明する。
6. 口腔領域悪性腫瘍の放射線治療の基礎および治療患者の口腔管理について説明する。

【教科書・参考書】

【教科書】 田口明編：「新・基礎から始める歯科放射線学」（IDP 出版）
【参考書】 勝又明敏・浅海淳一・田口明・森本泰宏編集主幹：「解説と例題でわかる歯科放射線テキスト」（永末書店）

【教育（学習）方略（LS）】

各授業では、学習すべき内容を網羅した教科書及び印刷物を中心としてプロジェクターにより詳細な内容の説明を行う。

Weekly Test において1回の授業につき3問の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

Weekly Test や定期試験において正解率が低い問題に対して詳細な解答例と参考文献を学生イントラへ掲載する。

【評価方法（Evaluation）】

前後定期試験および Weekly Test の成績で評価する。定期試験の成績の占める割合は全体の70%、Weekly Test の成績の占める割合は全体の30%とする。講義の出席状況を加味する。

【注意事項】

授業において説明する内容を必ず教科書に書きとめ、復習を行うこと。
授業では教科書を必ず持参すること。教科書では特に写真や図を参考にすること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書、参考書で予習を行うこと。（30分）
復 習：講義ノート・教科書を復習し、参考書を利用して各自知識をまとめること。（30分）

【オフィスアワー】

木曜日 18:00～19:00
本館5階西棟 歯科放射線学講座研究室
TELにて予約のこと。連絡先：TEL0263-51-2096

【授業日程】

歯科放射線学 第4学年（前期・後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	3月31日(金) 1時限	電離放射線とエックス線 1. 電離放射線 2. エックス線の発生 3. エックス線の作用と性質	放射線の種類と性質を説明できる。	田口 明
2	4月3日(月) 1時限	電離放射線とエックス線 4. 放射線の線量と単位 5. 放射線の線質 6. エックス線の減弱	放射線の線量、単位、線質、エックス線の減弱について説明できる。	田口 明
3	4月14日(金) 1時限	放射線機器・器材と情報処理 1. 歯科用エックス線撮影装置 2. パノラマエックス線撮影装置	エックス線装置の種類、その構造について説明できる。	田口 明
4	4月21日(金) 1時限	放射線機器・器材と情報処理 3. エックス線フィルム 4. 特性曲線・粒状性 5. 増感紙 6. エックス線写真処理 7. 歯科用デジタルエックス線撮影装置 8. 医療画像システム＜PACS＞	画像記録系の種類と特性、その写真処理について説明できる。	田口 明
5	4月28日(金) 1時限	エックス線写真の基礎的事項 1. 画像形成とその原理 2. 画像形成・幾何学的条件	エックス線画像の形成原理と幾何学的条件について説明できる。	杉野 紀幸
6	5月12日(金) 1時限	エックス線写真の基礎的事項 3. コントラスト 4. 鮮鋭度と解像度 5. 画質に影響する因子	コントラストの概念とコントラストの特性について説明できる。 鮮鋭度と解像度について説明できる。	田口 明
7	5月19日(金) 1時限	画像検査法 1. 歯・歯周組織のエックス線検査	口内法エックス線撮影の種類と適応を説明できる。 水平的垂直的投影法の種類と特徴を説明できる。	杉野 紀幸
8	5月26日(金) 1時限	画像検査法 2. 顎・顔面領域のエックス線検査	パノラマエックス線撮影の特徴と適応を説明できる。 頭部単純エックス線撮影の種類、特徴、適応を説明できる。 特殊エックス線撮影の種類、特徴、適応を説明できる。	田口 明
9	6月2日(金) 1時限	画像検査法 3. 顎・顔面領域の画像検査	顎・顔面領域で利用する特殊画像検査法の種類、原理、適応を説明できる。	田口 明
10	6月9日(金) 1時限	画像検査：基礎 1. 画像検査の選択基準と限界	画像検査法の選択基準と画像検査の限界について説明できる。	杉野 紀幸
11	6月16日(金) 1時限	画像検査：基礎 2. 所見の表現と解釈	エックス線所見の解釈について観察項目を列挙し説明できる。	田口 明
12	6月23日(金) 1時限	画像検査：基礎 3. 正常エックス線像	口腔領域で利用されるエックス線撮影で描出される正常構造について説明できる。	杉野 紀幸
13	6月30日(金) 1時限	画像診断：歯・歯周組織 1. 歯の疾患	歯の疾患の種類とエックス線所見を説明できる	杉野 紀幸
14	7月7日(金) 1時限	画像診断：歯・歯周組織 2. 慢性歯周炎 3. 根尖性歯周疾患	歯髄・根尖歯周組織疾患および歯周疾患のエックス線所見を説明できる。	田口 明

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
15	7月11日(火) 1時限	放射線の必須事項 1. 放射線被曝 2. 口内法撮影装置 3. 口内法 4. パノラマエックス線撮影法 5. CT 検査 6. 造影検査	放射線学に必須とされる項目について再度確認し、理解する。	田口 明
16	8月18日(金) 1時限	画像診断：顎骨 1. 顎骨の外傷 2. 顎骨の炎症	顎顔面領域の骨折における分類、画像検査法の種類、エックス線所見を説明できる。 顎骨炎の種類とエックス線所見を説明できる。	田口 明
17	8月25日(金) 1時限	画像診断：顎骨 3. 顎骨の菌原性嚢胞	顎骨に発生する菌原性嚢胞の種類とエックス線所見を説明できる。	田口 明
18	9月1日(金) 1時限	画像診断：顎骨 4. 顎骨の非菌原性嚢胞 5. 顎骨の嚢胞類似疾患 6. 軟組織に発生する嚢胞	顎骨に発生する非菌原性嚢胞の種類とエックス線所見を説明できる。 軟組織に発生する嚢胞の種類と画像所見を説明できる。	杉野 紀幸
19	9月8日(金) 1時限	画像診断：顎骨 7. 顎骨の菌原性腫瘍	顎骨に発生する菌原性腫瘍の種類とエックス線所見を説明できる。 腫瘍の診断に必要な画像検査法を説明できる。	田口 明
20	9月15日(金) 1時限	画像診断：顎骨 8. 顎骨の非菌原性腫瘍	顎骨に発生する非菌原性良性腫瘍、悪性腫瘍の種類とエックス線所見を説明できる。	杉野 紀幸
21	9月22日(金) 1時限	画像診断：顎骨 9. 顎骨の腫瘍類似疾患 歯科放射線学における新たな情報	顎骨の腫瘍類似疾患の種類とエックス線所見を説明できる。新しい撮像法を学ぶ。	田口 明
22	9月29日(金) 1時限	画像診断：口腔隣接領域 1. 上顎洞疾患	上顎洞疾患の種類とエックス線所見を説明できる。	杉野 紀幸
23	10月6日(金) 1時限	画像診断：口腔隣接領域 2. 唾液腺疾患	唾液腺疾患の種類とエックス線所見を説明できる。	田口 明
24	10月20日(金) 1時限	画像診断：口腔隣接領域 3. 顎関節疾患	顎関節疾患の種類と画像所見を説明できる。	田口 明
25	10月27日(金) 1時限	画像診断：口腔隣接領域 4. 症候性疾患	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類とエックス線所見を説明できる。	杉野 紀幸
26	11月10日(金) 1時限	放射線治療 1. 悪性腫瘍に対する放射線の作用	悪性腫瘍に対する放射線感受性とそれを修飾する生物学的因子を説明できる。	田口 明
27	11月17日(金) 1時限	放射線治療 2. 口腔領域の放射線治療 3. 照射の副作用と障害 4. 放射線治療と口腔管理	放射線治療の種類、特徴、適応を説明できる。 放射線治療に伴う副作用とその口腔管理を説明できる。	田口 明
28	11月24日(金) 1時限	放射線の影響と健康 1. 放射線の影響	放射線の人体への影響について身体的影響と遺伝的影響、早期影響と晩期影響、確率の影響と確定的影響に関し説明できる。	黒岩 博子
29	12月1日(金) 1時限	放射線の影響と健康 2. 放射線と健康 3. 放射線に関する法的規制	放射線被曝の種類と特徴を説明できる。 ICRP の勧告の基本について説明できる。 歯科エックス線検査における患者と術者の放射線防護方法を説明できる。 放射線に関する法的規制について説明できる。	田口 明
30	12月5日(火) 1時限	正当化と最適化に基づいた画像診断の実際 1. 正当化に基づく画像診断法の選択 2. 最適化に基づく画像診断法の調整 3. 単純エックス線画像および特殊画像検査の診断法	正当化と最適化に基づき各疾患に対する画像診断法の的確な選択ができるとともに、選択した画像から適切な診断が行える。	田口 明

歯内治療学 (C4130)

第4学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：増田宜子

【一般目標（GIO）】

歯の健康を回復し、歯の機能を維持させるために、歯・歯周組織の構造と機能を理解し、歯の硬組織疾患、歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患の概要、原因、症状、検査、診断および処置法について修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 3年後期に修得した内容を説明できる。
2. 根管処置について説明できる。
3. 根管充填について説明できる。
4. 外科的歯内療法について説明できる。
5. 顕微鏡を応用した歯内療法について説明できる。
6. 歯内療法における安全対策について説明できる。
7. 根末完成歯や歯根の病的吸収とその治療法について説明できる。
8. 外傷歯に対する診断と処置について説明できる。
9. 変色歯に対する原因と治療法について説明できる。
10. 歯内-歯周病変を分類し治療方針を説明できる。
11. 高齢者の歯内療法について説明できる。
12. 根管処置後の歯冠修復について説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕勝海一郎他編：「歯内治療学 第5版」（医歯薬出版）

〔参考書〕興地隆史他編：「第6版エンドドンティックス」（永末書店）

S. Cohen 他：「Pathways of the Pulp 12th ED」（Mosby）

河野 哲著：「新歯内療法学サイドリーダー第2版」（学建書院）

【教育（学習）方略（SL）】

教科書に沿って講義をおこなう。

主要項目および臨床事例はスライド・動画で提示して説明する。

【フィードバック方法】

講義のはじめに前回の講義内容についてのテストを行い解答と解説を行う。講義中は質問により理解度を確認する。講義終了後に講義内容についてテストを行い理解度を確認する。理解しにくかった点について学生に質問し、次の講義で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験、Weekly Test（30％）出席回数、授業態度から総合的に評価する。

※評価方法は合計で100％になるよう記載すること

【注意事項】

3年後期に学習した内容を理解できていると考えて講義を進めるため、いつでも3年時の内容が見直せるよう、教科書を持参すること。途中でわからないことは遠慮なく質問すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：シラバスを確認して、教科書を読んで予習すること。（15分）

復 習：講義ノート、講義資料、教科書を復習し、理解すること。(45分)

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 18：00～19：00

本館4階西棟 歯科保存学講座教授室

【授業日程】

歯内治療学 第4学年（前期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	3月28日(火) 1時限	3年後期のまとめ	1. 歯内治療学の目的と意義、歴史を説明できる。 2. 歯・歯周組織の構造と機能を説明できる。 3. 歯の硬組織疾患を説明できる。 4. 歯内療法における基本術式の概要について説明できる。 5. 歯髄疾患について説明できる。 6. 根尖性歯周炎について説明できる。	増田 宜子
2	4月4日(火) 1時限	根管処置(1) 髄室開拡 根管長測定と作業長の決定 根管形成	1. 髄室開拡の要件・術式について説明できる。 2. 根管長測定法と作業長の決定について説明できる。 3. 根管拡大・形成の意義について説明できる。	増田 宜子
3	4月11日(火) 1時限	根管処置(2) 髄室開拡 根管長測定と作業長の決定 根管形成	1. 髄室開拡の要件・術式について説明できる。 2. 根管長測定法と作業長の決定について説明できる。 3. 根管拡大・形成の意義について説明できる。	増田 宜子
4	4月18日(火) 1時限	根管処置(3) 根管の化学的清掃	1. 根管の化学的清掃について説明できる。	増田 宜子
5	4月25日(火) 1時限	根管の消毒 根管内容物の検査 根管治療の補助療法 再根管治療	1. 根管の消毒の意義について説明できる。 2. 根管消毒薬の所要性質について説明できる。 3. 根管消毒薬の種類と使用法について説明できる。 4. 根管内容物の検査について説明できる。 5. 根管治療の補助療法について説明できる。 6. 再根管治療について説明できる。	増田 宜子
6	5月2日(火) 1時限	根管充填(1)(2) 根管充填の目的と意義 根管充填の時期 根管充填材の所要性質 根管充填材の種類 根管充填の術式	1. 根管充填の術式について説明できる。 2. 即時根管充填法について説明できる。 3. 根管充填後の根尖部創傷の治癒機転について説明できる。 4. 治癒に影響を及ぼす因子について説明できる。 5. 予後の判定基準と時期について説明できる。	増田 宜子
7	5月9日(火) 1時限	根管充填(3) 根管充填の術式 即時根管充填法 根管充填後の治療経過	1. 根管充填の術式について説明できる。 2. 即時根管充填法について説明できる。 3. 根管充填後の根尖部創傷の治癒機転について説明できる。 4. 治癒に影響を及ぼす因子について説明できる。 5. 予後の判定基準と時期について説明できる。	増田 宜子
8	5月16日(火) 1時限	根管処置後の歯冠修復 緊急処置 根未完成歯の治療 歯内治療の将来	1. コロナリーリーケージについて説明できる。 2. 支台築造について説明できる。 3. 疼痛に対する緊急処置について説明できる。 4. 急性歯髄炎の緊急処置について説明できる。 5. 急性根尖性歯周炎の緊急処置について説明できる。 1. アペキシゲネーシスについて説明できる。 2. アペキシフィケーションについて説明できる。 3. アペキシゲネーシスおよびアペキシフィケーションの適応症例について説明できる。 4. MTAを用いた根尖閉鎖療法について説明できる。 5. 歯髄再生療法について説明できる。	増田 宜子

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
9	5月23日(火) 1時限	歯根の病的吸収 外傷歯の診断と処置	1. 歯根の外部吸収について説明できる。 2. 歯髄の内部吸収について説明できる。 1. 外傷歯の分類について説明できる。 2. 外傷歯の診査と検査法について説明できる。 3. 外傷歯の治療法について説明できる。	増田 宜子
10	5月30日(火) 1時限	外科的歯内治療(1)	1. 外科的歯内治療の適応症について説明できる。 2. 外科的歯内療法術式の術式および治療機転と予後について説明できる。	増田 宜子
11	6月6日(火) 1時限	外科的歯内治療(2)	1. 外科的歯内治療の適応症について説明できる。 2. 外科的歯内療法術式の術式および治療機転と予後について説明できる。	増田 宜子
12	6月13日(火) 1時限	歯科用実体顕微鏡を応用した歯内治療 レーザーを用いた歯内治療	1. 歯科用実体顕微鏡による検査について説明できる。 2. 歯科用実体顕微鏡による処置の特徴について説明できる。 3. 診療ポジションについて説明できる。 4. 適応症について説明できる。 5. レーザーの特徴を説明できる。 6. レーザーの種類を説明できる。	増田 宜子
13	6月20日(火) 1時限	変色歯の漂白 歯内・歯周疾患	1. 変色歯の漂白について説明できる。 1. 歯内疾患と歯周疾患の関連について説明できる。 2. 歯内・歯周疾患の分類と臨床症状について説明できる。 3. 歯内・歯周疾患の診断と治療方針について説明できる。	増田 宜子
14	6月27日(火) 1時限	高齢者・有病者の歯内治療 歯内治療における安全対策	1. 高齢者の心身における特徴について説明できる。 2. 全身疾患と歯内治療の留意点・影響について説明できる。 3. 高齢者・有病者と成人健常者との歯内治療の違いについて説明できる。 4. 高齢者の歯・歯髄・歯周組織と歯内治療について説明できる。	増田 宜子
15	7月4日(火) 1時限	まとめ	1. 歯内治療で用いる器具、薬剤について説明できる。	増田 宜子

歯内治療学実習 (C4140)

第4学年（後期）
実習 必修

【担当者】

教 授：増田宜子
助 教：宮國 茜
補助者：岩崎拓也、水谷莉紗、上原龍一、原 美音、森川雅己
非常勤講師：村瀬貴之、三好弥恵

【一般目標（GIO）】

歯内治療学について、講義で学んだ理論と基礎実習で修得した知識、手技を基にして、臨床実習においては診療参加型実習を行い知識と手技を向上する。そして患者とのコミュニケーションを図るとともに態度を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. ラバーダム防湿法の目的を説明できる（解釈）。
2. ラバーダム防湿ができる（技能）。
3. 患者にこれから行うことを伝達できる（態度）。
4. 必要な器材を準備できる（技能）。
5. 処置に応じたポジショニングができる（技能）。
6. 隔壁形成の目的を説明できる（解釈）。
7. 隔壁を形成できる（技能）。
8. 麻酔抜髄の目的を説明できる（解釈）。
9. 麻酔抜髄の各処置の目的を説明できる（解釈）。
10. 髄腔開拓ができる（技能）。
11. 根管長測定ができる（技能）。
12. 根管形成ができる（技能）。
13. 根管洗浄ができる（技能）。
14. 根管乾燥ができる（技能）。
15. 根管貼薬ができる（技能）。
16. 適切に仮封ができる（技能）。
17. 根管充填ができる（技能）。
18. 清潔に配慮できる（態度）。
19. 適切に器材を操作できる（技能）。
20. 適切な薬剤を貼薬できる（技能）。

【教科書・参考書】

- 〔教科書〕 歯科保存学講座編：「歯内治療学実習マニュアル」
勝海一郎他：「歯内治療学（第5版）」（医歯薬出版）
- 〔参考書〕 浅井康弘他訳：「歯内療法マニュアル基礎編」（医歯薬出版）
興地隆史他編：「第6版エンドドンティクス」（永末書店）
S. Cohen 他：「Pathways of the Pulp 10th ED」（Mosby）
河野 哲著：「新歯内療法学サイドリーダー第2版」（学建書院）

【教育（学習）方略（LS）】

マネキン、顎模型、レジン歯によるシミュレーションシステムにより、まず代表的な臨床状況の設定下に、様々な歯種に対して基本的な術式を習得してから、それぞれの歯種について天然抜去歯を用いて同様の処置を行うことで細目が研鑽できる。個々の処置に先がけて、実習マニュアルを基にスライドによる講義により処置の目的や必要性を理解させ、加えて動画デモにより一連の術式の流れを把握させる。

【フィードバック方法】

実習前に実習内容に関するテストを行う。実習後、学生の質問を受け、解説する。
Weekly Test の解説を行う。

【評価方法（Evaluation）】

実習項目の進捗と実習技術の評価（100点満点）、実技試験（100点満点）および Weekly Test の成績（100点満点）を合計して195点以上に達したものを合格とする。（Weekly Test は30%）

【注意事項】

各項目の目的と処置内容との関連・必要性を認識把握すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

105分

予 習：マニュアルを事前に読んで予習し、必要な機材を再確認する。課題を事前に予習する（60分）

復 習：実習した項目について教科書・講義資料で復習する。実習でうまくいかなかった点についてはその原因を考察する。（45分）

【オフィスアワー】

実習日の実習終了後 実習館実習室101

【授業日程】

歯内治療学実習 第4学年（後期）					
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	8月17日(木) 3時限	使用する器具の解説 上顎前歯、上顎小白歯、上顎大白歯、 下顎小白歯、下顎大白歯の根管形態を 確認・スケッチ	歯内治療に使用する器具の使用目的・方法を理解する。 歯根形態、歯冠軸・歯根軸を把握し、正確な歯内治療が行えるようにする。 器具を安全に操作できる。	増田 宜子 宮國 茜 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
2	8月17日(木) 4時限	使用する器具の解説 上顎前歯、上顎小白歯、上顎大白歯、 下顎小白歯、下顎大白歯の根管形態を 確認・スケッチ	歯内治療に使用する器具の使用目的・方法を理解する。 歯根形態、歯冠軸・歯根軸を把握し、正確な歯内治療が行えるようにする。 器具を安全に操作できる。	増田 宜子 宮國 茜 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
3	8月24日(木) 3時限	上顎中切歯（透明根管模型） 根管模型を用いた根管形成（麻酔抜髄を想定）	窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。	増田 宜子 村瀬 貴之 三好 弥恵	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
4	8月24日(木) 4時限	上顎中切歯（透明根管模型） 根管模型を用いた根管形成	根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管乾燥ができる。（ペーパーポイント） 根管形態を確認できる。	増田 宜子 村瀬 貴之 三好 弥恵	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
5	8月31日(木) 3時限	第2回の続き	窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。	増田 宜子 村瀬 貴之 三好 弥恵	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
6	8月31日(木) 4時限	電氣的根管長測定（EMR）の解説 EMR 模型を用いた EMR 測定・拡大形成	電氣的根管長測定の理論を理解する。 電氣的根管長測定器の使用方法を理解する。 模型歯と電氣的根管長測定器を使用して根管長を測定できる。	増田 宜子 村瀬 貴之 三好 弥恵	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
7	9月7日(木) 3時限	上顎中切歯 (透明根管模型) 根管模型を用いた根管充填	マスターポイントの試適ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. tug back を認識できる。 3. 根尖部への適合を獲得できる。 根管充填に必要な器械・材料を準備できる。 根管長の確認ができる。 側方加圧充填ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. シーラーの練和ができる。 3. マスターポイントの充填ができる。 4. スプレッターの操作ができる。 5. アクセサリーポイントの充填ができる。 6. 充填完了を判定できる。 余剰なポイントを根管口部で除去できる。 根管上部のガッタパーチャを圧接できる。	増田 宜子 宮國 茜	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
8	9月7日(木) 4時限	上顎中切歯 (透明根管模型) 根管模型を用いた根管充填	マスターポイントの試適ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. tug back を認識できる。 3. 根尖部への適合を獲得できる。 根管充填に必要な器械・材料を準備できる。 根管長の確認ができる。 側方加圧充填ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. シーラーの練和ができる。 3. マスターポイントの充填ができる。 4. スプレッターの操作ができる。 5. アクセサリーポイントの充填ができる。 6. 充填完了を判定できる。 余剰なポイントを根管口部で除去できる。 根管上部のガッタパーチャを圧接できる。 7. 仮封ができる。 8. 根充をデジタルエックス線撮影で確認できる。	増田 宜子 宮國 茜 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
9	9月14日(木) 3時限	彎曲根管根管模型を用いた根管形成 (感染根管を想定)	ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。 ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。	増田 宜子 宮國 茜 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
10	9月14日(木) 4時限	彎曲根管模型を用いた根管形成（感染根管を想定）	ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。 ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。	増田 宜子 宮國 茜 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
11	9月28日(木) 3時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成（上顎右側中切歯）	ラバーダム防湿ができる。 窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。 根管貼薬ができる。 仮封ができる。	増田 宜子 宮國 茜 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
12	9月28日(木) 4時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成（上顎右側中切歯）	ラバーダム防湿ができる。 ラバーダム防湿ができる。 窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。 根管貼薬ができる。 仮封ができる。	増田 宜子 宮國 茜 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
13	10月5日(木) 3 時限	根管長測定用顎模型を用いた根管充填 (上顎右側中切歯)	ラバーダム防湿ができる。 マスターポイントの試適ができる。 1. ポイントに作業長を印記で る。 2. tug back を認識できる。 3. 根尖部への適合を獲得できる。 根管充填に必要な器械・材料を準備 できる。 根管長の確認ができる。 側方加圧充填ができる。 1. ポイントに作業長を印記で る。 2. シーラーの練和ができる。 3. マスターポイントの充填がで きる。 4. スプレッターの操作ができる。 5. アクセサリーポイントの充填が できる。 6. 充填完了を判定できる。 余剰なポイントを根管口部で除去で きる。 根管上部のガッタパーチャを圧接で きる。 7. 仮封ができる。 8. 根充をデジタルエックス線撮影 で確認できる。	増田 宜子 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
14	10月 5 日(木) 4 時限	根管長測定用顎模型を用いた根管充填 (上顎右側中切歯)	ラバーダム防湿ができる。 マスターポイントの試適ができる。 1. ポイントに作業長を印記で る。 2. tug back を認識できる。 3. 根尖部への適合を獲得できる。 根管充填に必要な器械・材料を準備 できる。 根管長の確認ができる。 側方加圧充填ができる。 1. ポイントに作業長を印記で る。 2. シーラーの練和ができる。 3. マスターポイントの充填がで きる。 4. スプレッターの操作ができる。 5. アクセサリーポイントの充填が できる。 6. 充填完了を判定できる。 余剰なポイントを根管口部で除去で きる。 根管上部のガッタパーチャを圧接で きる。 7. 仮封ができる。 8. 根充をデジタルエックス線撮影 で確認できる。	増田 宜子 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
15	10月12日(木) 3 時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成 (下顎右側第1小臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 菌髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。 根管貼薬ができる。 仮封ができる。	増田 宜子 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
16	10月12日(木) 4 時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成 (下顎右側第1小臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 菌髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。 根管貼薬ができる。 仮封ができる。	増田 宜子 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
17	10月19日(木) 3 時限	根管長測定用顎模型を用いた根管充填 (下顎右側第1小臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 マスターポイントの試適ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. tug back を認識できる。 3. 根尖部への適合を獲得できる。 根管充填に必要な器械・材料を準備できる。 根管長の確認ができる。 側方加圧充填ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. シーラーの練和ができる。 3. マスターポイントの充填ができる。 4. スプレッターの操作ができる。 5. アクセサリーポイントの充填ができる。 6. 充填完了を判定できる。 余剰なポイントを根管口部で除去できる。 根管上部のガックパーチャを圧接できる。 7. 仮封ができる。 8. 根充をデジタルエックス線撮影で確認できる。	増田 宜子	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
18	10月19日(木) 4 時限	根管長測定用顎模型を用いた根管充填 (下顎右側第1小臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 マスターポイントの試適ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. tug back を認識できる。 3. 根尖部への適合を獲得できる。 根管充填に必要な器械・材料を準備できる。 根管長の確認ができる。 側方加圧充填ができる。 1. ポイントに作業長を印記できる。 2. シーラーの練和ができる。 3. マスターポイントの充填ができる。 4. スプレッターの操作ができる。 5. アクセサリーポイントの充填ができる。 6. 充填完了を判定できる。 余剰なポイントを根管口部で除去できる。 根管上部のガッタバーチャを圧接できる。 7. 仮封ができる。 8. 根充をデジタルエックス線撮影で確認できる。	増田 宜子	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
19	10月26日(木) 3 時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成 (上顎左側第1小臼歯・湾曲根管)	ラバーダム防湿ができる。 窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。 根管貼葉ができる。 仮封ができる。	増田 宜子 村瀬 貴之 三好 弥恵	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
20	10月26日(木) 4 時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成、根管充填 (上顎左側第1小臼歯・湾曲根管)	ラバーダム防湿ができる。 窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。 根管貼葉ができる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。 仮封ができる。	増田 宜子 村瀬 貴之 三好 弥恵	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
21	11月2日(木) 3時限	Ni:Ti ファイル (根管模型) を用いた 髓室開拡・EMR・根管拡大形成、 根管充填	Ni:Ti ファイルを用いて根管口明 示・根管拡大形成までを行える。 根管充填を行える。	増田 宜子 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
22	11月2日(木) 4時限	Ni:Ti ファイル (根管模型) を用いた 髓室開拡・EMR・根管拡大形成、 根管充填	Ni:Ti ファイルを用いて根管口明 示・根管拡大形成までを行える。 根管充填を行える。	増田 宜子 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
23	11月9日(木) 3時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成 (上顎左側第1大臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 ステップバック法の目的を理解し、 適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作が できる。 ペーパーポイントによる根管乾燥が できる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。 仮封ができる。	増田 宜子 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
24	11月9日(木) 4時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成 (上顎左側第1大臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 ステップバック法の目的を理解し、 適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作が できる。 ペーパーポイントによる根管乾燥が できる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。 仮封ができる。	増田 宜子 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
25	11月16日(木) 3時限	根管長測定用顎模型を用いた根管充填 (上顎左側第1大臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 ステップバック法の目的を理解し、 適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作が できる。 ペーパーポイントによる根管乾燥が できる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。 仮封ができる。	増田 宜子 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
26	11月16日(木) 4 時限	根管長測定用顎模型を用いた根管充填 (上顎左側第1大臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。 ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。 仮封ができる。	増田 宜子 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
27	11月30日(木) 3 時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成・根管充填 (下顎左側第1大臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。 ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。 仮封ができる。	増田 宜子 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
28	11月30日(木) 4 時限	根管長測定用顎模型を用いた根管形成 (下顎右側第1小臼歯)	ラバーダム防湿ができる。 ファイルの操作法と点検法を理解する。 ファイルを作業長に到達できる。 ファイルを用いて根管拡大ができる。 ステップバック法の目的を理解し、適切に形成できる。 根管洗浄法を理解し、安全な操作ができる。 ペーパーポイントによる根管乾燥ができる。 根管形態に対応した根管充填が出来る。 仮封ができる。	増田 宜子 村瀬 貴之	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音
29	12月4日(月) 3 時限	実習試験 (予定)	ラバーダム防湿ができる。 窩洞外形が設定できる。 窩洞が形成できる。 歯髄腔への穿孔ができる。 天蓋の除去ができる。 根管口を確認できる。 根管口の漏斗状拡大ができる。 根管洗浄ができる。 根管長の測定ができる。 作業長を決定できる。 根管拡大が出来る。 根管洗浄ができる。 根管形態を確認できる。 根管貼薬ができる。 仮封ができる。	増田 宜子 村瀬 貴之 三好 弥恵	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
30	12月4日(月) 4時限	実習試験 (予定)	これまで行った実習の知識・手技について説明できる。	増田 宜子 村瀬 貴之 三好 弥恵	岩崎 拓也 水谷 莉紗 森川 雅己 上原 龍一 原 美音

歯 周 病 学

(C4150)

第4学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：吉成伸夫
講師：尾崎友輝、出分菜々衣
助教：中村 卓

【一般目標（GIO）】

歯周疾患の各種治療法と、予防法について理解、説明できる。

【行動目標（SBOs）】

1. 歯周疾患の検査、診断から治療計画に至る流れを説明できる。
2. 病因除去療法としての歯周基本治療を説明できる。
3. 各種歯周基本治療の術式を理解、説明できる。
4. 歯周外科療法の種類、適応症、禁忌症、術式ならびに治癒を説明できる。
5. 歯周組織再生療法の原理、適応症、術式を説明できる。
6. 咬合調整、固定の原則、時期、術式を説明できる。
7. 根分岐部病変の分類、処置法、歯周－歯内病変を説明できる。
8. 特殊な歯周疾患の診断と治療計画を説明できる。
9. 歯周疾患の予防法、SPT、メンテナンスを説明できる。
10. 歯周疾患と全身疾患との関連、その可能性のある機序について説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】 吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申基結編：「臨床歯周病学（第3版）」（医歯薬出版、2020）
【参考書】 吉江弘正・米山武義・吉成伸夫編：「高齢者への歯周治療と口腔管理」（インターアクション、2018）
沼部幸博・梅田 誠・齋藤 淳・山本松男編：「ザ・ペリオドントロジー（第3版）」（永末書店 2019）

【教育（学習）方略（LS）】

講義（プロジェクター、黒板）

【フィードバック方法】

Weekly Test 実施後、次の講義にて全問解説する。

【評価方法（Evaluation）】

1. 授業出席回数、聴講態度、理解度 20%
 2. Weekly Test 30%
 3. 記述試験 50%
- で評価する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認し、事前に講義概要について教科書・参考書等で予習を行うこと。（15分）

復 習：配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自理解を深める。（45分）

【オフィスアワー】

月曜・火曜・水曜・金曜 18:00～19:00
本館5階西棟 歯科保存学講座医局

【授業日程】

歯 周 病 学 第 4 学年（前期）				
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	3月30日(木) 1時限	歯周基本治療 歯周基本治療の内容とそれらの関連性 再評価検査の意義と目的	歯周基本治療の意義や目的を説明できる。 再評価検査の意義と目的を説明できる。	吉成 伸夫
2	4月13日(木) 1時限	モチベーション モチベーションの重要性、影響する因子 ブラークコントロール ブラークコントロールの目的、意義 機械的、化学的ブラークコントロール 歯ブラシの種類 その他の口腔清掃用具 各種ブラッシング法 薬物療法 局所薬物配送システム（LDDS） Full mouth disinfection（FMD）	モチベーションの重要性について説明できる。 ブラークコントロールの目的を説明できる。 機械的、化学的ブラークコントロールについて説明できる。 縁上、縁下ブラークコントロールの意義について説明できる。 毛先、脇腹を用いるブラッシング方法について説明できる。 薬物療法の特徴を説明できる。 LDDS、FMD について説明できる。 歯周病治療に用いる抗菌薬について説明できる。	出分菜々衣
3	4月20日(木) 1時限	スケーリング・ルートプレーニング スケーリング・ルートプレーニングの目的と意義 スケーラーの種類 手用スケーラー 超音波・音波スケーラー スケーリング・ルートプレーニングの方法 シャープニングの定義、方法	スケーリング・ルートプレーニングの目的・意義を説明できる。 スケーラーの種類、特徴について説明できる。 手用スケーラーの種類、特徴について説明できる。 スケーリング・ルートプレーニングの方法について説明できる。 スケーリング・ルートプレーニングの臨床効果について説明できる。	尾崎 友輝
4	4月27日(木) 1時限	歯周外科療法 1. 総論 各種歯周外科療法	歯周外科療法は、目的に応じて多くの術式が存在するが、これらの種類、意義を説明できる。	吉成 伸夫
5	5月11日(木) 1時限	歯周外科療法 2. 切除療法 3. 組織付着療法 各種切除、組織付着療法の術式、適応、創傷治癒について	各種切除、組織付着療法の理論を説明できる。 各手術法の目的、適応、禁忌、術式相互の違いを説明できる。 歯周外科療法の実習と関連づけて説明できる。	吉成 伸夫
6	5月18日(木) 1時限	歯周外科療法 4. 歯周組織再生療法 歯周組織再生療法の原理、種類、適応、治療成績に対する解説	歯周組織再生療法の原理、目的、適応、術式について説明できる。	吉成 伸夫
7	5月31日(木) 4時限	歯周外科療法 5. 歯周形成外科手術 歯周形成外科手術の種類と目的、応用についての解説	歯肉、歯槽粘膜に問題のある場合の各種手術法について目的、適応、術式を理解し、説明できる。	吉成 伸夫
8	6月1日(木) 1時限	根分岐部病変の処置(1) 根分岐部病変の検査、診断の理解 グリックマン、リンデとニーマン（Glickman）、（Lindhe & Nyman）の分類による処置法の解説	根分岐部病変の検査、診断を説明できる。	尾崎 友輝
9	6月8日(木) 1時限	根分岐部病変の処置(2) 根分岐部病変の治療の適応症、治療、術式の理解 歯周－歯内病変の処置 歯周－歯内病変の成因、治療法についての解説	根分岐部病変の治療の適応症、治療、術式を説明できる。 歯根切除、ヘミセクション、歯根分割、トンネル形成、歯冠形態修正法を説明できる。 歯内、歯周病変と根分岐部病変との関連と両者からの治療法を説明できる。	尾崎 友輝

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
10	6月15日(木) 1時限	咬合性外傷の検査と処置 歯周組織と咬合 咬合性外傷の診断 咬合調整の適応、原則、時期 咬合調整の術式と方法 ブラキシズム、習癖 固定の原則と種類	咬合性外傷の症状、検査、咬合調整、固定の時期、各顎位での咬合調整、削合方法について説明できる。	中村 卓
11	6月19日(月) 1時限	口腔機能回復療法として、歯周疾患の咬合、補綴、矯正治療 1. 歯周補綴 2. 歯周矯正	歯周病治療は、歯周組織の炎症、病変の改善後に口腔機能回復療法として、咬合や咀嚼機能の回復も目的とする。したがって歯冠修復、欠損補綴、最終固定について、目的、適応、方法について説明できる。	吉成 伸夫
12	6月22日(木) 1時限	特殊な歯周疾患 1. ホルモン性歯肉疾患 2. 血液病 3. 薬物関連歯肉疾患 4. 栄養障害関連歯肉炎 5. ヘルペスウイルス、真菌由来歯肉疾患 6. 遺伝性歯肉病変 7. 全身疾患の徴候としての歯周炎	妊娠性、思春期性歯肉炎、フェニトイン歯肉増殖症、ニフェジピン歯肉増殖症、シクロスポリン歯肉増殖症、NUG、NUP、慢性剥離性歯肉炎、遺伝性歯肉線維腫症、白血病性歯肉炎、パピヨナルフェーブル症候群等の特別な歯周疾患について説明できる。	中村 卓
13	6月29日(木) 1時限	歯周病と全身疾患(1) 1. 歯周疾患と全身疾患との関連	歯周疾患と全身疾患との関連、その可能性のある機序について説明できる。	吉成 伸夫
14	7月6日(木) 1時限	歯周病と全身疾患(2) 1. 歯周疾患と全身疾患との関連 2. 高齢者の歯周病治療	歯周疾患と全身疾患との関連、その可能性のある機序について説明できる。 高齢者の歯周病治療を説明できる。	吉成 伸夫
15	7月13日(木) 1時限	歯周疾患の予防、メンテナンス、サポータティブペリオドンタルセラピー(SPT) 1. メンテナンス、SPTの意義 2. メンテナンス、SPTの方法	歯周病治療により改善された歯周組織、咬合を維持するために、メンテナンス、SPTが必要である。その意義、目的、方法、リコールについて説明できる。	出分業々衣

歯周病学実習 (C4160)

第4学年（前期）
実習 必修

【担当者】

教授：吉成伸夫

講師：尾崎友輝、出分菜々衣

助教：石岡康明、宮國 茜

補助者：水谷隆一、上原龍一、原 美音、小山尚人、大谷有希

非常勤講師：石原裕一、大野美知昭、海瀬聖仁、上條博之、河谷和彦、窪川恵太、小松 寿、川尻勝彦、阪中孝一郎、坂本 浩、佐藤徳志、高橋淳哉、日垣孝一、佐故竜介、田井康寛、天竺克彦、梅村昌孝、大口将弘、大野友三、河原 傳、川瀬仁史、黒柳隆穂、小林 卓、真岡淳之、白水紀充、杉石 晋、杉 大介、西山佐枝子、村瀬尚子、吉成雅子、野本冬歌、武居道則、佐藤哲夫、高橋弘太郎、伊藤充人、亀井英彦、篠本 毅、真岡淳之

【一般目標（GIO）】

歯周病学の講義で修得した病因、理論を基に、臨床に必要な歯周病の診断、各種歯周治療法や術式などの基礎的技術を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 各種歯周組織検査、歯周チャートより歯周組織の状態を把握、分析、整理、説明できる。
2. 検査結果から、診断、治療計画の立案、病状説明、ブラークコントロールの術式を修得、説明できる。
3. 各種歯周（基本、外科、暫間固定）治療法についてマネキンで体験し、各術式の基本的手技を実施、説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申基喆編：「臨床歯周病学 第3版」（医歯薬出版、2020）

〔参考書〕野口俊英編：「知っておきたい知識・術式 歯周治療編」（第一歯科出版、2002）

【教育（学習）方略（LS）】

模型実習、相互実習（OSCE 形式）

【フィードバック方法】

Weekly Test 実施後、評価に対する疑問や質問等がある場合は、次回の実習時に担当インストラクターに質問、解説を受けること。

【評価方法（Evaluation）】

1. 実習各ステップ達成度、実習態度、出欠席 30%
 2. Weekly Test 30%
 3. 実習試験 40%
- で評価する。

【注意事項】

実習要綱を必ず読み、事前に十分理解しておくこと。
進行状況によっては補講を行うことがある。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：実習帳および教科書の関連する章を読み、実習内容を十分に理解しておくこと。（40分）

復 習：実習内容の理解を図るため、必ず復習すること。理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。（20分）

【オフィスアワー】

月曜・火曜・水曜・金曜 18：00～19：00

本館5階西棟 歯科保存学講座医局

【授業日程】

歯周病学実習						
第4学年（前期）						
	回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
歯周病学実習―1	1	5月11日(木) 3時限	実習全体説明 天然歯植立	歯周病学実習の意義、および流れを説明できる。 スケーリング・ルートプレーニング実習を行う準備ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 大野 美知昭 海瀬 聖仁 上條 博之 河谷 和彦 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原 美音 水谷 隆一 上原 龍一 小山 尚人 大谷 有希
	2	4時限	マニキュア塗布（人工歯） 歯周病学実習の進め方の説明 歯石沈着天然歯の植立と、模型人工歯へのマニキュア塗布	スケーリング・ルートプレーニング実習を行う準備ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 大野 美知昭 海瀬 聖仁 上條 博之 河谷 和彦 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原 美音 水谷 隆一 上原 龍一 小山 尚人 大谷 有希
	3	5時限	歯周組織検査	歯周組織の正しい検査方法の習得と、測定値に基づき歯周疾患の病態を把握できる。 歯周組織検査時のミラー、およびプロープの正しい持ち方、各種測定法、姿勢を習得できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 小松 寿浩 坂本 勝彦 川尻 孝一 日垣 淳哉 高橋 竜介 佐故 竜介 田井 康寛	原 美音 水谷 隆一 上原 龍一 小山 尚人 大谷 有希
歯周病学実習―2	4	5月18日(木) 3時限	口腔内デンタルエックス線写真読影（軽度、中等度、重度）	口腔内デンタルエックス線写真より症例を読影、描写し、歯周病の病態を把握できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 小松 寿浩 坂本 勝彦 川尻 孝一 日垣 淳哉 高橋 竜介 佐故 竜介 田井 康寛	原 美音 水谷 隆一 上原 龍一 小山 尚人 大谷 有希

	回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
歯周病学実習―2	5	4 時限	プラークコントロール	プラークコントロール歴の医療面接、プラーク付着部位の検査方法、およびブラッシング法を正しく理解し、動機づけと指導ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 佐藤 徳志 阪中 孝一郎 窪川 恵太 佐藤 哲夫 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原 水谷 美音 上原 隆一 小山 龍一 大谷 尚人 大谷 有希
	6	5 時限	病状説明	歯周組織検査チャート、O'Leary の Plaque Control Record (PCR)、口腔内写真、エックス線写真をもとに、歯周病の病状を説明できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 佐藤 徳志 阪中 孝一郎 窪川 恵太 佐藤 哲夫 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原 水谷 美音 上原 隆一 小山 龍一 大谷 尚人 大谷 有希
歯周病学実習―3	7	6 月 1 日(木) 3 時限	ブラッシング指導(1)	相互実習にて、プラークコントロール歴の医療面接、プラーク付着部位の検査方法、およびブラッシング法を正しく理解し、動機づけと指導ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 高橋 弘太郎 野本 冬歌 伊藤 充人 石原 裕一 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原 水谷 美音 上原 隆一 小山 龍一 大谷 尚人 大谷 有希
	8	4 時限	ブラッシング指導(2)	相互実習にて、プラークコントロール歴の医療面接、プラーク付着部位の検査方法、およびブラッシング法を正しく理解し、動機づけと指導ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 高橋 弘太郎 野本 冬歌 伊藤 充人 石原 裕一 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原 水谷 美音 上原 隆一 小山 龍一 大谷 尚人 大谷 有希
	9	5 時限	ブラッシング指導(3)	相互実習にて、プラークコントロール歴の医療面接、プラーク付着部位の検査方法、およびブラッシング法を正しく理解し、動機づけと指導ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 亀井 英彦 武居 道則 篠木 毅 石原 裕一 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原 水谷 美音 上原 隆一 小山 龍一 大谷 尚人 大谷 有希

	回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
菌周病学実習―4	10	6月8日(木) 3時限	スケーリング・ルートプレーニング(1) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、 <u>13～23</u> に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 13～23のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 亀井 英彦 武居 道則 篠本 毅 杉 大介 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原水谷 美音 谷上 隆一 原 龍一 小山 尚人 大谷 有希
	11	4時限	スケーリング・ルートプレーニング(2) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、 <u>33～43</u> に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 33～43のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 杉 大介 杉石 晋 西山 左枝子 眞岡 淳之 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原水谷 美音 谷上 隆一 原 龍一 小山 尚人 大谷 有希
	12	5時限	スケーリング・ルートプレーニング(3) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、 <u>14～17</u> に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 14～17のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 杉石 晋 西山 左枝子 眞岡 淳之 白水 紀充 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原水谷 美音 谷上 隆一 原 龍一 小山 尚人 大谷 有希
菌周病学実習―5	13	6月15日(木) 3時限	スケーリング・ルートプレーニング(4) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、 <u>24～27</u> に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 24～27のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 白水 紀充 小林 卓 黒柳 隆徳 村瀬 尚子 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原水谷 美音 谷上 隆一 原 龍一 小山 尚人 大谷 有希
	14	4時限	スケーリング・ルートプレーニング(5) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、 <u>34～37</u> に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 34～37のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 小林 卓 黒柳 隆徳 村瀬 尚子 大口 将弘 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原水谷 美音 谷上 隆一 原 龍一 小山 尚人 大谷 有希

	回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
歯周病学実習―5	15	5 時限	スケーリング・ルートプレーニング(6) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレーシーキュレットの選択、持ち方、44～47に対するスケーリング・ルートプレーニング	天然歯石のスケーリングの感触を把握できる。 44～47のスケーリング・ルートプレーニングができる。 正しいスケーラーの選択と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者患者の位置関係、および姿勢ができる。 シャープニングができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 大口 将弘 川瀬 仁史 天埜 克彦 梅村 昌孝 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原 水谷 美音 水谷 隆一 上原 龍一 小山 尚人 大谷 有希
歯周病学実習―6	16	6 月22日(木) 3 時限	暫間固定(1) 暫間固定法 (A-ースプリント) を修得し、術式を習得する。	模型上で人工的に作った2次性咬合性外傷の歯に対して、暫間固定 (A-ースプリント) ができる。 暫間固定後の咬合調整ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 大野 美知昭 海瀬 聖仁 上條 博之 河谷 和彦 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原 水谷 美音 水谷 隆一 上原 龍一 小山 尚人 大谷 有希
	17	4 時限	暫間固定(2) 暫間固定法 (A-ースプリント) を修得し、術式を習得する。	模型上で人工的に作った2次性咬合性外傷の歯に対して、暫間固定 (A-ースプリント) ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 野本 冬歌 日垣 孝一 小松 寿 佐藤 哲夫 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原 水谷 美音 水谷 隆一 上原 龍一 小山 尚人 大谷 有希
	18	5 時限	暫間固定(3) 暫間固定法 (A-ースプリント) を修得し、術式を習得する。	模型上で人工的に作った2次性咬合性外傷の歯に対して、暫間固定 (A-ースプリント) ができる。 暫間固定後の咬合調整ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 伊藤 充人 坂本 浩 窪川 恵太 川尻 勝彦 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原 水谷 美音 水谷 隆一 上原 龍一 小山 尚人 大谷 有希
歯周病学実習―7	19	6 月29日(木) 3 時限	歯周外科療法(1) 歯肉切除術 (31～43)	模型上の歯肉増殖部に対して、歯肉ポケット印記、正しいメスの持ち方、切開線を入れ、歯肉切除術ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 川瀬 仁史 天埜 克彦 梅村 昌孝 大野 友三 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原 水谷 美音 水谷 隆一 上原 龍一 小山 尚人 大谷 有希

	回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
歯周病学実習―7	20	4 時限	歯周外科療法(2) 歯肉切除術 (31～43)	模型上の歯肉増殖部に対して、歯肉ポケット印記、正しいメスの持ち方、切開線を入れ、歯肉切除術ができる。 歯周パックができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 小林 卓 黒柳 隆徳 川瀬 仁史 西山 左枝子 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原水谷 美音 上原 隆一 小山 龍一 大谷 尚人 大谷 有希
	21	5 時限	歯周外科療法(3) 歯肉剥離掻爬術 (45～47)	模型上で歯肉剥離掻爬術の手術について、正しいメスの持ち方、切開の入れ方、歯肉弁の剥離、翻転、縫合ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 白水 紀光 大口 将弘 眞岡 淳之 杉 大介 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原水谷 美音 上原 隆一 小山 龍一 大谷 尚人 大谷 有希
歯周病学実習―8	22	7 月 3 日(月) 3 時限	歯周外科療法(4) 歯肉剥離掻爬術 (45～47)	模型上で歯肉剥離掻爬術の手術について、正しいメスの持ち方、切開の入れ方、歯肉弁の剥離、翻転、縫合ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 大野 友三 河原 傳 吉成 雅子 亀井 英彦 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原水谷 美音 上原 隆一 小山 龍一 大谷 尚人 大谷 有希
	23	4 時限	歯周外科療法(5) 歯周組織再生療法 (24)	模型上で歯周組織再生療法の手術について、正しいメスの持ち方、切開の入れ方、歯根の切除、歯肉弁の剥離、翻転、再生材料、薬剤の適応、縫合ができる。 再生療法に用いる薬剤の特性を理解できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 大野 友三 河原 傳 吉成 雅子 石原 裕一 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原水谷 美音 上原 隆一 小山 龍一 大谷 尚人 大谷 有希
	24	5 時限	歯周外科療法(6) 歯周組織再生療法 (24)	模型上で歯周組織再生療法の手術について、正しいメスの持ち方、切開の入れ方、歯根の切除、歯肉弁の剥離、翻転、再生材料、薬剤の適応、縫合ができる。 再生療法に用いる薬剤の特性を理解できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 梅村 昌孝 河原 傳 吉成 雅子 天竺 克彦 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原水谷 美音 上原 隆一 小山 龍一 大谷 尚人 大谷 有希

	回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
歯周病学実習―9	25	7月6日(木) 3時限	歯周外科療法(7) トライセクション (16)	模型上で歯根切除術の手術について、正しいメスの持ち方、切開の入れ方、歯肉弁の剥離、回転、歯根切除、縫合ができる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 小林 卓 杉石 晋 武居 道則 村瀬 尚子 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原 美音 水 隆一 谷 龍一 上 尚人 原 有希 山 希 大 希
	26	4時限	スケーリング・ルートプレーニング (確認テスト1) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレイシーキュレットの選択、持ち方、スケーリング・ルートプレーニング術式の到達具合をチェックする。	スケーラーの種類と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者と患者の位置関係、および姿勢を確認、実施できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原 美音 水 隆一 谷 龍一 上 尚人 原 有希 山 希 大 希
	27	5時限	スケーリング・ルートプレーニング (確認テスト2) スケーリング・ルートプレーニングの術式と、グレイシーキュレットの選択、持ち方、スケーリング・ルートプレーニング術式の到達具合をチェックする。	スケーラーの種類と適用部位、スケーラーの把持方法、圧のかけ方や動かし方、術者と患者の位置関係、および姿勢を確認、実施できる。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 高橋 淳哉 佐故 竜介 田井 康寛	原 美音 水 隆一 谷 龍一 上 尚人 原 有希 山 希 大 希
歯周病学実習―10	28	7月13日(木) 3時限	予備日 修了していない項目を行う。	未修了項目を修了する。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 佐故 竜介	原 美音 水 隆一 谷 龍一 上 尚人 原 有希 山 希 大 希
	29	4時限	予備日 修了していない項目を行う。	未修了項目を修了する。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 佐故 竜介	原 美音 水 隆一 谷 龍一 上 尚人 原 有希 山 希 大 希
	30	5時限	予備日 修了していない項目を行う。	未修了項目を修了する。	吉成 伸夫 尾崎 友輝 出分 菜々衣 石岡 康明 宮國 茜 佐故 竜介	原 美音 水 隆一 谷 龍一 上 尚人 原 有希 山 希 大 希

口腔インプラント学 (C4105)

第4学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：樋口大輔
講師：笠原隼男、山口葉子、吉田裕哉
助教：霜野良介、平井博一郎、吉野旭宏
特任教授：矢島安朝

【一般目標（GIO）】

患者にインプラント治療を適切に説明し実践するために必要な基礎知識を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. インプラント治療の目的と意義を説明できる。
2. インプラント治療の利点と欠点を説明できる。
3. インプラントの種類と特徴を説明できる。
4. インプラントの基本構造と治療手順を説明できる。
5. インプラント治療の適応症と禁忌症を説明できる。
6. インプラント治療のリスクファクターと合併症を説明できる。
7. インプラント治療に必要な解剖について説明できる。
8. トップダウントリートメントの意義とその手順を説明できる。
9. エックス線 CT 撮影とシミュレーションについて説明できる。
10. インプラントの治療計画、治療手順を説明できる。
11. インプラントの埋入手術方法を説明できる。
12. インプラント周囲の骨代謝を説明できる。
13. インプラントの補綴術式を説明できる。
14. インプラント上部構造の種類と特徴を説明できる。
15. インプラント上部構造の印象採得と顎間関係記録を説明できる。
16. インプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。
17. インプラント治療のメンテナンス方法とその重要性を説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕赤川安正ほか編：「よく分かる口腔インプラント学 第4版」（医歯薬出版）

〔参考書〕公益社団法人日本口腔インプラント学会編：「口腔インプラント 治療指針2020」

(http://www.shika-implant.org/publication/dl/2020_guide.pdf) 各自ダウンロードのこと（書籍版も使用可）

【教育（学習）方略（LS）】

授業は教科書の内容とスライドを中心に適宜板書等を用いて行う。また、適宜受講者へ質問し、参加型授業を展開する。Weekly Test では1回の授業につき、3～4問の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

講義、実習内容の質問は担当教員に申し出ること。必要に応じて学生イントラ、補講等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

下記の配分で評価を行う。

- ・定期試験成績：65%
- ・受講態度：5%
- ・Weekly Test：30%

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。講義は出入り自由ではないので、講義中は特別な事情が無い限り出入りしないこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：各回の授業内容に対応する教科書のページを読み、予習すること。(15分)

復 習：講義スライドを中心に講義内容を復習すること。(45分)

【オフィスアワー】

原則として木曜日 17：00～18：00

本館 4 階 歯科補綴学講座研究室

【授業日程】

口腔インプラント学				第4学年（後期）
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	8月17日(木) 2時限	口腔インプラント学概論	インプラントの種類（顎顔面補綴を含む）、特徴、基本構造、利点・欠点、目的および意義を理解する。	樋口 大輔
2	8月24日(木) 2時限	インプラント治療に必要な解剖学	上下顎骨の形態や骨質の違い、注意すべき血管や神経など解剖学的構造を理解する。 歯周組織とインプラント周囲組織の関連を説明できる。	山口 葉子
3	8月31日(木) 2時限	インプラント材料と生体反応	インプラント埋入後に起こる周囲骨の変化について理解する。	山口 葉子
4	9月7日(木) 2時限	インプラント治療に必要な診察と検査	インプラント治療に必要な診察と検査、及び全身的・局所的リスクファクターについて理解する。	山口 葉子
5	9月14日(木) 2時限	治療計画立案	インプラント治療が可能な症例、困難な症例について理解する。 インプラント治療計画の立案と実際の治療の流れを理解する。 トップダウントリートメントに必要な診査項目、診断用ワックスアップ、診断用ステントについて理解する。	山口 葉子
6	9月28日(木) 2時限	放射線学的検査	インプラント治療に必要な術前・術中・術後の画像検査とシミュレーションによるプランニング、インプラント体の選択について理解する。	樋口 大輔
7	10月5日(木) 2時限	外科手術1 手術準備（消毒・滅菌） インプラント埋入基本術式 コンピューター支援外科	埋入計画の立案、インプラント埋入に必要な器材と埋入基本術式、初期固定について理解する。 インプラント埋入の条件改善のための外科術式を理解する。	山口 葉子
8	10月12日(木) 2時限	外科手術2 インプラント手術に伴う外科的偶発症と合併症	インプラント埋入時の外科的偶発症、合併症とその対処法を理解する。	矢島 安朝
9	10月19日(木) 2時限	外科手術3 骨造成法 軟組織増大法	各種骨移植法と移植材料を説明できる。 骨造成手術、軟組織増大手術の種類と方法を説明できる。	山口 葉子
10	10月26日(木) 2時限	補綴術式1 二次手術 プロビジョナルレストレーション 印象採得	治癒期間経過後の補綴開始時期の判定と二次手術について理解する。 補綴治療に必要な印象採得法と暫間補綴方法を理解する。	山口 葉子
11	11月2日(木) 2時限	補綴術式2 固定式上部構造	インプラント上部構造の種類、製作方法と装着方法を理解する。	笠原 隼男
12	11月9日(木) 2時限	補綴術式3 可撤式上部構造	インプラント上部構造の種類、製作方法と装着方法を理解する。	樋口 大輔
13	11月16日(木) 2時限	補綴術式4 補綴の合併症	インプラント周囲組織のメインテナンスの重要性と周囲炎への対応、患者情報の記録・伝達について理解する。	樋口 大輔
14	11月30日(木) 2時限	メインテナンス インプラント周囲炎	インプラント周囲組織のメインテナンスの重要性と周囲炎への対応、患者情報の記録・伝達について理解する。	山口 葉子
15	12月4日(月) 2時限	口腔インプラント学講義総括 デジタルデンティストリー 口腔インプラントの将来展望 問題演習	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。 これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	樋口 大輔 吉田 裕哉 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏

障がい者歯科学 (C4180)

第4学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：靛島弘之
准教授：横井由紀子
講師：富士岳志

【一般目標（GIO）】

スペシャルニーズのある（特別な対応を要する）人へ歯科保健と歯科医療を提供するために基本的知識と態度を習得するとともに医療連携を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. スペシャルニーズを説明する。
2. スペシャルニーズのある人のQOLとノーマライゼーションを説明する。
3. スペシャルニーズのある人およびその家族の心理を説明する。
4. スペシャルニーズのある人およびその家族との信頼関係の構築について説明する。
5. スペシャルニーズのある人のリハビリテーションを説明する。
6. 医療連携とチーム医療、関連職種を説明する。
7. スペシャルニーズのある人の社会環境を説明する。
8. スペシャルニーズのある人の口腔保健管理を説明する。
9. 障がい者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明する。
10. 障がい者の特性に配慮した歯科治療を説明する。
11. 障がい者の行動調整（行動管理）と歯科治療を説明する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 障害者歯科学会編：「スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科（第2版）」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

1. レジュメが配付されるが、補足や要点を講義中に説明するので、レジュメに書き加えるなどして理解が深まるノートを作成するように努める。
2. 視覚素材（動画）などを使用し、障害や疾患をわかりやすく説明するので、理解力の向上を図る。
3. Weekly Testを受けた後に理解が不足している部分を確認し、補うように努める。

【フィードバック方法】

Weekly Testの結果を確認し、次回の講義で補足する。

【評価方法（Evaluation）】

筆記試験：筆記試験の評価は、定期試験を70%、Weekly Testの結果を30%として判定する。

【注意事項】

補足や要点を講義中に説明するので、レジュメに書き加えるなどして理解が深まるノートを作成するように努める。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：シラバスを確認して事前に講義範囲のキーワードを教科書で確認しておくこと。（15分）

復習：配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17:30～19:00
本館1F 地域連携歯科学講座教室
連絡先：0263-51-2255

【授業日程】

障がい者歯科学					第4学年（前期）
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	
1	3月29日(水) 3時限	スペシャルニーズと障がい者歯科の背景	1. スペシャルニーズと障害を説明する。 2. 障害の概念を説明する。 3. QOLとノーマライゼーションを説明する。 4. 障がい者のおかれた社会環境を説明する。 5. 障がい者の社会福祉制度を説明する。 6. 障がい者の心理を説明する。	葩島 弘之	
2	4月19日(水) 3時限	発達障害	発達障害を説明する。 発達障がい者における歯科治療上の配慮すべき点を説明する。	葩島 弘之	
3	4月12日(水) 3時限	自閉スペクトラム症	自閉スペクトラム症を理解し、歯科治療上の配慮すべき点を説明する。	横井由紀子	
4	4月5日(水) 3時限	知的能力障がい者の歯科治療	知的能力障害、Down症候群の歯科治療上の留意点と対応を説明する。	横井由紀子	
5	4月26日(水) 3時限	身体障害と歯科治療(1)	脳性麻痺、重症心身障がい児者、超重症児の概要と歯科治療上の配慮すべき事柄を説明する。	葩島 弘之	
6	5月10日(水) 3時限	精神障害と歯科治療	精神障がい者の歯科治療上の留意点と対応を説明する	葩島 弘之	
7	5月17日(水) 3時限	身体障害と歯科治療(2)	難病患者の歯科治療上の留意点と対応を説明する。	葩島 弘之	
8	5月24日(水) 3時限	症状から見た疾患(1)	1. 過成長の症候群を説明する。 2. 常染色体異常の症候群を説明する。 3. 性染色体異常の症候群を説明する。 4. 神経・皮膚症候群を説明する。 5. 色素沈着の症候群を説明する。	葩島 弘之	
9	5月31日(水) 3時限	症状から見た疾患(2)	1. 反対咬合を呈する症候群を説明する。 2. 小下顎症の症候群を説明する。 3. 第1・2鰓弓症候群を説明する。 4. 骨形成不全症の症候群を説明する。 5. エナメル質形成不全の症候群を説明する。 6. 歯の脱落を起こす症候群を説明する。	葩島 弘之	
10	6月7日(水) 3時限	身体障害と歯科治療(3)	二分脊椎、筋ジストロフィー、脊髄損傷、関節リウマチの概要と歯科治療上の配慮すべき事柄を説明する。	富士 岳志	
11	6月14日(水) 3時限	身体障害と歯科治療(4)	感覚器障がい者の歯科治療上の留意点と対応を説明する。	葩島 弘之	
12	6月21日(水) 3時限	行動調整	基本的行動調整を説明する。 行動療法を説明する。	横井由紀子	
13	6月28日(水) 3時限	行動調整と危機管理	特殊な行動調整を説明する。 リクスマネージメントを説明する。 クライシスマネージメントを説明する。 誤嚥、誤飲を説明する。 誤嚥時の対応を説明する。 口腔内外傷の危険性について説明する。 歯科治療時の身体外傷の予防法を説明する。	葩島 弘之	
14	7月5日(水) 3時限	障がい者への歯科治療	障がい者歯科における医療面接、歯周治療、歯冠修復、有床義歯、外傷、不正咬合への対応を説明する。	葩島 弘之	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
15	7月12日(水) 3時限	障がい者への健康支援	レディネスを説明する。 障害の特性に応じた保健指導を説明する。 介助磨きを説明する。 障がい者歯科における地域医療の役割を説明する。	龍島 弘之

高齢者歯科学 (C4180)

第4学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：畠島弘之

講師：富士岳志

非常勤講師：小川浩樹、大野智久

【一般目標（GIO）】

全身疾患を有する高齢者へ歯科保健と歯科医療を提供するために、基本的知識と態度を習得するとともに医療連携を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 高齢者の社会環境を説明できる。
2. 身体的、精神のおよび心理的加齢変化を説明できる。
3. 口腔・顎の構造と機能の加齢変化を説明できる。
4. 高齢者の歯科治療における一般状態評価と対応を説明できる。
5. 高齢者によくみられる疾患を説明できる。
6. 高齢者によくみられる疾患における歯科治療上の配慮する点を説明できる。
7. 終末期の心理を説明できる。
8. 訪問診療・緩和ケアを説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 佐藤裕二編：「よくわかる高齢者歯科学」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

動画をを用いて講義（Power Point）を行い、Weekly Test で習熟度を評価する。

【フィードバック方法】

Weekly Test の結果を確認し、次の講義で補足する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test を30%、定期試験を70%で評価し、100点満点中65点以上を合格とする。

【注意事項】

補足や要点を講義中に説明するので、レジュメに書き加えるなどして理解が深まるノートを作成するように努める。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義範囲のキーワードを教科書で調べておくこと。（15分）

復 習：補足や要点を講義中に説明するので、レジュメに書き加えるなどして理解が深まるノートを作成するように努める。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～19：00

本館1F 地域連携歯科学講座教授室

連絡先：0263-51-2255

【授業日程】

高 齢 者 歯 科 学				第 4 学 年（後 期）
回 数	授 業 日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担 当 者
1	8月22日(火) 2時限	高齢者歯科の背景と連携	人口構成の変化を説明できる。 受診患者の変化を説明できる。 歯科診療形態の変化を説明できる。	龍 島 弘之
2	8月29日(火) 2時限	高齢者の医療・保健・福祉に関する法制度	医療・保健・福祉に関する法制度を説明できる。 連携する他職種を説明できる。	富 士 岳志
3	9月5日(火) 2時限	高齢者の特徴	高齢者の特徴を説明できる。	龍 島 弘之
4	9月12日(火) 2時限	高齢者の全身的な加齢変化 (心、精神機能、神経系、呼吸機能、 腎機能、心血管系、血液・体液、内分泌・代謝系、筋・骨系の加齢変化)	老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。	龍 島 弘之
5	9月19日(火) 2時限	高齢者の医学的評価と医療安全、法的責任	高齢者の特徴と歯科治療時の全身状態評価とリスクを説明できる。 危険予見義務と法的責任を説明できる。	龍 島 弘之
6	9月26日(火) 2時限	高齢者の栄養評価と歯科疾患、口腔ケア	高齢者の栄養状態を評価できる。 栄養摂取の種類と特徴を説明できる。 低栄養と脱水の症状を説明できる。 高齢者の全身状態を踏まえた歯科疾患の特徴を説明できる。 要介護高齢者の口腔ケア法を説明できる。	大 野 友久
7	10月3日(火) 2時限	高齢者によくみられる疾患と歯科治療 (1) 認知症	認知症の概要を説明できる。 認知症患者の歯科治療する際の配慮すべき事項を説明できる。	龍 島 弘之
8	10月10日(火) 2時限	高齢者によくみられる疾患と歯科治療 (2) 呼吸器疾患	呼吸器疾患の概要と歯科治療上の配慮点を説明できる。 閉塞性無呼吸症候群を説明できる。	富 士 岳志
9	10月17日(火) 2時限	高齢者歯科の現状と将来、そして地域医療	高齢者歯科の現状を説明できる。 高齢者歯科の将来を説明できる。 高齢者歯科における地域医療を説明できる。	小 川 浩樹
10	10月24日(火) 2時限	高齢者によくみられる疾患と歯科治療 (3) 循環器疾患	循環器疾患患者の歯科治療上のリスクと対応を説明できる。	龍 島 弘之
11	10月31日(火) 2時限	周術期の口腔機能管理	口腔ケアの効果が説明できる。 誤嚥性肺炎と創部感染を説明できる。 嚥下障害による窒息を説明できる。 周術期口腔機能管理を概説できる。 口腔機能向上について説明できる。	龍 島 弘之
12	11月7日(火) 2時限	高齢者でよくみられる疾患と歯科治療 (3) 脳・神経疾患	脳神経疾患の概要と歯科治療上の配慮点を説明できる。	龍 島 弘之
13	11月14日(火) 2時限	高齢者によくみられる疾患と歯科治療 (5) 腎臓・泌尿器系、消化器系疾患他	腎臓・泌尿器系の概要と歯科診療上のリスクと留意点を説明できる。 結核患者の状態と歯科治療を説明できる。	龍 島 弘之
14	11月21日(火) 2時限	高齢者によくみられる疾患と歯科治療 (4) 消化器系疾患（肝、胃腸）、代謝・内分泌疾患	消化器系疾患（肝、胃腸）、糖尿病、脂質異常症、骨粗鬆症の概要と歯科診療上のリスクと留意点を説明できる。	龍 島 弘之

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
15	11月28日(火) 2 時限	訪問診療・緩和ケア	訪問診療の目的を説明できる。 訪問診療の対象となる患者を説明できる。 訪問診療の安全性を説明できる。 緩和ケアの患者の口腔の特徴を説明できる。 緩和ケアの歯科の役割を説明できる。	藪島 弘之

摂食嚥下療法学 (C4187)

第4学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：靛島弘之

講師：富士岳志

非常勤講師：小川浩樹、山本敏之、松尾寿美恵

【一般目標（GIO）】

摂食嚥下機能障害を有する障がい児・者ならびに高齢者に対する歯科保健と歯科医療を提供するために、基礎的知識と態度を習得するとともに医療連携を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 正常な摂食機能とその発達を説明できる。
2. 摂食機能障害の原因を説明できる。
3. 摂食機能障害のスクリーニング検査が実施できる。
4. 摂食機能障害の精密検査を説明できる。
5. 摂食機能障害を呈する疾患とその特徴を説明できる。
6. 摂食機能障害の対応を説明できる。
7. 障がい児・者ならびに高齢者の栄養管理を説明できる。
8. 食事介助を説明できる。
9. 摂食機能障害のある患者への食環境指導が説明できる。
10. 摂食機能障害のある患者への食内容指導が説明できる。
11. 摂食機能障害のある患者への機能訓練が説明ができる。
12. 摂食機能療法におけるチームアプローチが説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕向井美恵他編：「歯科学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学（第1版）」

【教育（学習）方略（LS）】

1. 動画を用いて講義（power point）を行い、Weekly test で習熟度を評価する。
2. 機能療法の基本を相互実習する。
3. 動画を用いて診断の演習を行う。

【フィードバック方法】

Weekly test の結果を確認して、次回講義に補足する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly test30%、定期試験70%で評価し、65点以上を合格とする。

【注意事項】

レジュメに講義のポイントを書き込むなど理解を深めるようにすること。理解が不十分な点は講義担当者に質問するなど確認していくこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義範囲のキーワードを教科書で確認すること（15分）

復 習：講義内容ならびに教科書を利用して各自知識をまとめること（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17:30～19:00

本館1F 地域連携歯科学講座教授室

連絡先：0263-51-2255

【授業日程】

摂食嚥下療法学 第4学年（後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	8月22日(火) 1時限	摂食機能療法の概略	摂食機能障害を説明できる。 摂食機能障害患者を取り巻く環境を説明できる。 摂食機能障害への歯科医療の貢献を説明できる。	靱島 弘之
2	8月29日(火) 1時限	摂食嚥下機能の解剖・生理	摂食嚥下機能に必要な解剖を説明できる。 摂食嚥下機能に必要な生理を説明できる。 命令嚥下と咀嚼嚥下を説明できる。	靱島 弘之
3	9月5日(火) 1時限	摂食嚥下障害を引き起こす疾患	摂食嚥下障害を呈することが多い疾患を挙げることができる。 摂食嚥下障害を呈する疾患とその特徴を説明できる。	山本 敏之
4	9月12日(火) 1時限	摂食嚥下機能の診察とスクリーニング検査	摂食嚥下障害を評価できる。	靱島 弘之
5	9月19日(火) 1時限	摂食嚥下機能の精密検査	嚥下内視鏡を説明できる。 嚥下造影検査を説明できる。 摂食機能障害の精密検査の適応を説明できる。	靱島 弘之
6	9月26日(火) 1時限	摂食機能の発達	正常な摂食嚥下の発達を説明できる。	靱島 弘之
7	10月3日(火) 1時限	摂食機能発達障害を呈する疾患	摂食嚥下障害を呈することが多い小児の疾患を挙げることができる。 摂食嚥下障害を呈する小児の疾患とその特徴を説明できる。	靱島 弘之
8	10月10日(火) 1時限	摂食機能発達障害への対応	摂食機能の発達を促すリハビリテーションを説明できる。	靱島 弘之
9	10月17日(火) 1時限	摂食機能障害への対応の基本	摂食機能療法の基本的対応を説明できる。 摂食嚥下療法の適応を説明できる。	靱島 弘之
10	10月24日(火) 1時限	摂食機能障害への食環境指導	摂食機能障害への食環境指導を説明できる。	靱島 弘之
11	10月31日(火) 1時限	摂食機能障害への食内容指導	摂食機能障害への食内容指導を説明できる。 摂食障害患者の栄養指導ができる。 摂食嚥下患者の食形態を選択できる。	富士 岳志
12	11月7日(火) 1時限	摂食嚥下障害への間接訓練	間接訓練の適応とその方法を説明できる。	靱島 弘之
13	11月14日(火) 1時限	摂食嚥下障害への直接訓練	直接訓練の適応とその方法を説明できる。	靱島 弘之
14	11月21日(火) 1時限	摂食機能療法の対応の基本（相互実習）	基本的な姿勢調節を実施できる。 基本的食形態の調節ができる。 基本的食事介助ができる。	靱島 弘之 小川 浩樹 松尾寿美恵
15	11月28日(火) 1時限	VE/VF 画像を用いた診断演習	臨床画像から障害を診断できる。 診断に基づく機能療法を選択できる。	靱島 弘之 小川 浩樹 松尾寿美恵

臨床予備演習 (C4192)

第4学年（後期）
演習 必修

【担当者】

教授：芳澤享子、澁谷 徹、大須賀直人

准教授：森 啓、李 憲起、谷山貴一

講師：森山敬太、大木絵美、高谷達夫、小町谷美帆、長内 秀

助 教：喜多村洋幸、岩崎由紀子、小松佐保、中村圭吾、佐藤 工、富士安奈、山田真一郎、森こず恵、甲田訓子、伊能利之

補助者：堀内竜太郎、上田敬介、友松 薫

特任教授：植田章夫

非常勤講師：脇本仁奈

【一般目標（GIO）】

講義で学んだ学理と知識を臨床応用できるようにするために、基本的な知識、技能、態度を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 臨床実習生として好ましい態度と習慣を身につける。
2. 患者との信頼関係を確立する。
3. 検査に必要な知識を習得する。
4. 歯科疾患に対する予防法を説明する。
5. 歯科疾患に対する治療法の基本的技術を習得する。
6. 口腔に関連した全身管理に対応できる知識を習得する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕＜初診室（総合診断科・総合診療科）＞

伊藤孝訓：「改訂版 歯科医療面接 アートとサイエンス」（シエン社）

＜口腔顎顔面外科学講座＞

白砂 兼光・古郷 幹彦（編）：「第4版 口腔外科学」（医歯薬出版）

＜歯科麻酔学講座＞

丹羽均・入船正浩・小長谷光・澁谷徹・編：「第6版 臨床歯科麻酔学」（永末書店）

＜歯科放射線学講座＞

田口明編：「新・基礎から始める歯科放射線学」（IDP 出版）

【教育（学習）方略（SL）】

10人程度を1グループとして、DVD、教材等を用いた説明あるいはデモンストレーションを行ったうえで、各自で実技演習、模型実習あるいは相互実習を行う。

1グループに一人のインストラクターがついて指導にあたりフィードバックを行う。

医療面接についてはロールプレイを行ったうえでシミュレーションを行う。

診療チェアにおけるシミュレーションを行う。

【フィードバック方法】

ロールプレイでは指導医あるいは評価者からフィードバックを行う。

シミュレーションについてはSP役の先生あるいは指導医よりフィードバックを行う。

実習の終了時、グループごとにフィードバックを行う。

【評価方法（Evaluation）】

初診室（総合診断科・総合診療科）、小児歯科学講座、歯科保存学講座（修復）、口腔顎顔面外科学講座、歯科麻酔学講座および歯科放射線学講座それぞれから、知識、技能、態度について評価する。

評価された点数を100点満点に換算して65点以上を合格とする。

【注意事項】

評価方法にあるように、6 講座それぞれで評価するため、1 回のみのところを欠席すると評価できないので、欠席しないこと。

＜初診室（総合診断科・総合診療科）＞

頭髪を整えた上での清潔な着衣・靴にすること。

＜小児歯科学講座＞

教科書、実習書で必ず予習を行うこと。

＜歯科保存学講座（修復）＞

臨床実習に準じた清潔な着衣・靴で実習に臨むこと。

第4学年前期に用いた保存修復学実習マニュアルを持参すること。

＜口腔顎顔面外科学講座＞

将来、医療従事者になる自覚をもって授業に臨むこと。

グローブ、オベスキンを各自で準備すること。

個人での準備品を忘れずに持参すること。

ラテックス、アルコールアレルギーがある場合は、必ず事前に申し出ること。

＜歯科麻酔学講座＞

マネキンを用いた救急蘇生の実習を行うため、動きやすい服装を着用のこと。

女性はパンツが望ましい。

ラテックスアレルギーがある場合は、必ず事前に申し出ること。

＜歯科放射線学講座＞

教科書で必ず予習を行うこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

復習：医療面接法についてのノート整理をしっかりと行うこと。

当日の実習内容を教科書・ノート等を参考に復習すること。

【オフィスアワー】

＜歯科保存学講座＞

18：00～19：00 本館3階東棟 歯科保存学講座修復系研究室

＜初診室（総合診断科・総合診療科）＞

18：00以降本館2階北棟 病院共同教員室

＜口腔顎顔面外科学講座＞

月曜、火曜、水曜、金曜 18：00～19：00 本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座医局

＜歯科麻酔学講座＞

月、火、水、金曜日 17：00～18：00 本館5階西棟 歯科麻酔学講座医局・教授室

＜歯科放射線学講座＞

18：00～19：00 本館5階西棟 歯科放射線学講座医局

【授業日程】

臨床予備演習					
第4学年（後期）					
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	8月23日(木) 3時限	概要説明 〈初診室（総合診断科・総合診療科）〉 初診時医療面接 口腔内状態の記録 〈口腔顎顔面外科学講座〉 頭頸部の診察、手洗い、拔牙、縫合 〈歯科麻酔学講座〉 バイタルサイン、浸潤麻酔、心肺蘇生 〈歯科放射線学講座〉 エックス線写真の読影、エックス線写真撮影 〈小児歯科学講座〉 診療チェアの使用法、フッ素塗布、部分充填、保護者へのブラッシング指導	〈初診室（総合診断科）〉 初診時医療面接に必要な知識、技能、態度を身につける。 基本的診察および検査能力に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈口腔顎顔面外科学講座〉 基本的技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 説明および指導に関して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈歯科麻酔学講座〉 基本的臨床技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈歯科放射線学講座〉 基本的臨床技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。	大須賀直人 芳澤 享子 森 啓 谷山 貴一 森山 敬太 大木 絵美 高谷 達夫 喜多村洋幸 岩崎由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 富士 安奈 長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵 脇本 仁奈 伊能 利之	堀内竜太郎 上田 敬介
2	8月23日(木) 4時限	概要説明 〈初診室（総合診断科・総合診療科）〉 初診時医療面接 口腔内状態の記録 〈口腔顎顔面外科学講座〉 頭頸部の診察、手洗い、拔牙、縫合 〈歯科麻酔学講座〉 バイタルサイン、浸潤麻酔、心肺蘇生 〈歯科放射線学講座〉 エックス線写真の読影、エックス線写真撮影 〈小児歯科学講座〉 診療チェアの使用法、フッ素塗布、部分充填、保護者へのブラッシング指導	〈初診室（総合診断科）〉 初診時医療面接に必要な知識、技能、態度を身につける。 基本的診察および検査能力に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈口腔顎顔面外科学講座〉 基本的技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 説明および指導に関して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈歯科麻酔学講座〉 基本的臨床技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。 〈歯科放射線学講座〉 基本的臨床技能に対して必要な知識、技能、態度を身につける。	大須賀直人 芳澤 享子 森 啓 谷山 貴一 森山 敬太 大木 絵美 高谷 達夫 喜多村洋幸 岩崎由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 富士 安奈 長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵 脇本 仁奈 伊能 利之	堀内竜太郎 上田 敬介
3	A 8月30日(木) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
	B 8月30日(木) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
	C 8月30日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こず恵	
	D 8月30日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
4	A 8月30日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
	B 8月30日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	C 8月30日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こず恵	
	D 8月30日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
5	A 9月6日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	B 9月6日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
	C 9月6日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	D 9月6日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
6	A 9月6日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	B 9月6日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
	C 9月6日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	D 9月6日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
7	A 9月13日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
	B 9月13日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
	C 9月13日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
	D 9月13日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
8	A 9月13日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こず恵	
	B 9月13日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	C 9月13日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
	D 9月13日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
9	A 9月20日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	B 9月20日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
	C 9月20日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	D 9月20日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
10	A 9月20日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	B 9月20日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
	C 9月20日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	D 9月20日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
11	A 9月27日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	堀内竜太郎
	B 9月27日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	
	C 9月27日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こず恵	
	D 9月27日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	
12	A 9月27日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	堀内竜太郎
	B 9月27日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	
	C 9月27日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こず恵	
	D 9月27日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
13	A 10月4日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	B 10月4日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
	C 10月4日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	D 10月4日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こず恵	
14	A 10月4日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	B 10月4日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
	C 10月4日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	D 10月4日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こず恵	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
15	A 10月11日(水) 3 時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
	B 10月11日(水) 3 時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	C 10月11日(水) 3 時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
	D 10月11日(水) 3 時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
16	A 10月11日(水) 4 時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こそ恵	
	B 10月11日(水) 4 時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	C 10月11日(水) 4 時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
	D 10月11日(水) 4 時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
17	A 10月18日(水) 3時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	B 10月18日(水) 3時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こず恵	
	C 10月18日(水) 3時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	D 10月18日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
18	A 10月18日(水) 4時限	医療面接の基本を知る。 コミュニケーションの基本を知る。	1. 医療面接にふさわしい身だしなみを知り、実践する。 2. 初対面の患者に対する挨拶を身につける。 3. 自己紹介と患者確認ができる。 4. 適切な位置において患者との会話ができる。 5. 患者の話を傾聴できる。 6. 初診時医療面接のプロセスを知る。 7. 急性症状の聴取方法を知る。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	B 10月18日(水) 4時限	1. エックス線写真の構造 2. エックス線写真での正常解剖像 3. エックス線撮影装置 4. エックス線の人体への影響 5. エックス線被曝防護	1. エックス線写真を適切に取り扱うことができる。 2. エックス線写真を読影できる。 3. エックス線撮影を説明できる。 4. 放射線の人体への影響を説明できる。 5. 放射線防護を説明できる。	長内 秀 山田真一郎 森 こず恵	
	C 10月18日(水) 4時限	血圧、脈拍数の測定 浸潤麻酔 心肺蘇生法	血圧と脈拍数を測定できる。 浸潤麻酔を実施できる。 心肺蘇生法を実施できる。	澁谷 徹 谷山 貴一	上田 敬介 友松 薫
	D 10月18日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
19	A 10月25日(水) 3 時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
	B 10月25日(水) 3 時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	C 10月25日(水) 3 時限	口腔内状態の記録	1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾 甲田 訓子	
	D 10月25日(水) 3 時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導	1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防填塞材を填塞できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。	大須賀直人 森山 敬太	
20	A 10月25日(水) 4 時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
	B 10月25日(水) 4 時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	C 10月25日(水) 4 時限	口腔内状態の記録	1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾 甲田 訓子	
	D 10月25日(水) 4 時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導	1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防填塞材を填塞できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。	大須賀直人 森山 敬太	
21	A 11月 1 日(水) 3 時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導	1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防填塞材を填塞できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。	大須賀直人 森山 敬太	
	B 11月 1 日(水) 3 時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
22	C 11月1日(水) 3時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	D 11月1日(水) 3時限	口腔内状態の記録	1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾 甲田 訓子	
	A 11月1日(水) 4時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導	1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防填塞材を填塞できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。	大須賀直人 森山 敬太	
	B 11月1日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
	C 11月1日(水) 4時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	D 11月1日(水) 4時限	口腔内状態の記録	1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾 甲田 訓子	

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
23	A 11月8日(水) 3時限	口腔内状態の記録	1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾 甲田 訓子	
	B 11月8日(水) 3時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導	1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防填塞材を充填できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。	大須賀直人 森山 敬太	
	C 11月8日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
	D 11月8日(水) 3時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
24	A 11月8日(水) 4時限	口腔内状態の記録	1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾 甲田 訓子	

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
25	B 11月8日(水) 4時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導	1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防填塞材を填塞できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。	大須賀直人 森山 敬太	
	C 11月8日(水) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
	D 11月8日(水) 4時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	A 11月15日(水) 3時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	B 11月15日(水) 3時限	口腔内状態の記録	1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾	甲田 訓子

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
	C 11月15日(水) 3時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導	1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防填塞材を填塞できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。	大須賀直人 森山 敬太	
	D 11月15日(水) 3時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 抜歯 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 抜歯の手順、器具の使用、抜歯の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
26	A 11月15日(水) 4時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接をできる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	B 11月15日(水) 4時限	口腔内状態の記録	1. 口腔内状態を記録用紙に記載できる。 2. 清潔に配慮できる。 3. 患者の痛みや、不快に配慮できる。 4. 安全性に配慮できる。	小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾 甲田 訓子	
	C 11月15日(水) 4時限	1. 診療チェアの使用法 2. フッ素塗布 3. 部分充填 4. 保護者へのブラッシング指導	1. 診療チェアの使用法を説明できる。 2. 指定された部位にフッ化物塗布ができる。 3. 光重合型予防填塞材を填塞できる。 4. わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。 5. 仕上げ磨きの方法を指導できる。 6. 歯ブラシの選び方を指導できる。 7. 患児の痛みや不快感に配慮できる。 8. 安全性に配慮できる。 9. 清潔に配慮できる。	大須賀直人 森山 敬太	

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
	D 11月15日(水) 4 時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
	AB 11月22日(水) 3 時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
27	CD 11月22日(水) 3 時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。 OSCE のしくみを知る。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接ができる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。 6. 病気を持った患者に共感的態度がとれる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
	AB 11月22日(水) 4 時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	
28	CD 11月22日(水) 4 時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。 OSCE のしくみを知る。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接ができる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。 6. 病気を持った患者に共感的態度がとれる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
29	11月29日(火) 3時限	医療面接の聴取内容を知る。 コミュニケーションをとるための技能を知る。 主訴に対応した医療面接を実践する。 OSCEのしくみを知る。	1. 主訴に関する現在の症状を聴取できる。 2. 急性症状、慢性症状に対応した医療面接ができる。 3. 主訴に関する現病歴、解釈モデルおよび受療行動を聴取できる。 4. 全身および局所既往歴を聴取できる。 5. 聴取しながら主訴の病名を推測できる。 6. 病気を持った患者に共感的態度がとれる。	森 啓 大木 絵美 高谷 達也 岩崎由紀子 喜多村洋幸 伊能 利之	堀内竜太郎
30	11月29日(火) 4時限	1. 頭頸部の診察 2. 手洗い 3. 拔牙 4. 縫合	1. 頭頸部触診の解剖知識と診察法を習得する。 2. 外科治療時の手洗いの方法と滅菌手袋の装着法を習得する。 3. 拔牙の手順、器具の使用、拔牙の方法を習得する。 4. 縫合に必要な器具の知識と方法を習得する。	芳澤 享子 李 憲起 佐藤 工 富士 安奈 植田 章夫	

総 合 講 義 (C4200)

第4学年（後期）
講義 必修

【担当者】

基礎講座
臨床講座

【一般目標（GIO）】

臨床実習を行うために必要な社会と歯学、生命科学、材料学および臨床歯学などの基本的知識を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 社会と歯学に関する事項を説明できる。
2. 生命科学に関する事項を説明できる。
3. 歯科生体材料と歯科材料に関する事項を説明できる。
4. 臨床歯学に関する事項を説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】各科目の教科書については各科目シラバスを参照すること。

【教育（学習）方略（LS）】

1. CBT コアカリキュラムの内容に従い、各科目の内容を復習する。
2. 各科目間で関連する内容の有機的な結び付けを行うことを学生に促す。

【フィードバック方法】

定期試験実施後、質問等がある場合は問合わせること。その後、学生イントラで解説する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test（30%）、定期試験（70%）

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。（15分）

復 習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

各教科のオフィスアワーを参照のこと。

口腔解剖学	
担当者	教 授：金銅英二
授業概要	身体の部位と方向の用語を説明する。身体を構成する器官系について器官系を構成する器官群および器官系の働きを説明し、さらに構成する個々の器官の位置、形、働きおよび器官相互の関係について説明する。器官系は運動器系、循環器系、感覚器系、神経系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系を説明する。
教科書	伊藤 隆他：「解剖学講義」（南山堂） 相磯貞和訳：「ネッター解剖学図譜」（南江堂） 山田英智監訳：「図解 解剖学事典」（医学書院）
参考書	石井治雄他：「これならわかる要点解剖学」（南山堂） 矢島俊彦他監訳：「リープゴッド歯科学のための解剖学」（西村書店） 山下靖雄監修：「口腔解剖学」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Weekly Test にて理解度をフィードバックする。
注意事項	
準備学習時間 （予習・復習）	90分 講義内容を確認し教科書・解剖学図譜の該当部位を熟読して受講すること。（60分） 講義内容を整理・確認する。（30分）
オフィスアワー	水曜日 16：30～17：30 本館地階 解剖実習室 場所は変更になる場合があるので、掲示をよく見ておくこと。

口腔組織学	
担当者	教 授：中村浩彰
授業概要	組織学の復習を行う。 1. 組織学総論・各論 口腔組織学、口腔組織発生学の復習を行う。 2. エナメル質・象牙質・歯髄・セメント質・歯周組織・口腔粘膜 3. 歯の発生・顔面の発生・顎関節・唾液腺
教科書	2 年次「組織学」「口腔組織学」の教科書を用いる。 牛木辰夫：「入門組織学」（南江堂） 脇田稔ほか編：「口腔組織・発生学（第 2 版）」（医歯薬出版）
参考書	岩永敏彦：「カラーアトラス組織・細胞学」（医歯薬出版） 川崎堅三他：「カラーアトラス口腔組織発生学」（わかば出版）
フィードバック方法	定期試験実施後、質問等がある場合は問合せること。その後学生イントラで解説する。
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。（15分） 復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）
オフィスアワー	金曜日 16：30～18：00 本館 4 階西棟 解剖学講座教授室

口腔生理学	
担当者	教 授：北川純一
授業概要	人体を構成する器官の機能について復習を行う。特に、循環器系・神経系・感覚器系・分泌器系の重要なポイントを説明する。
教科書	和泉博之・浅沼直和編：「ビジュアル生理学・口腔生理学第3版」（学建書院）
参考書	森本俊文・山田好秋編：「基礎歯科生理学第6版」（医歯薬出版） 上羽隆夫編：「スタンダード口腔生理学」（学建書院）
フィードバック方法	定期試験後、正解率の低い問題を中心に補講またはイントラで解説する。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 復 習：講義ノートを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(60分)
オフィスアワー	月曜日 16:30～18:00 実習館3階口腔生理学講座教授室 左記以外でも適宜質問に応じます。

口腔生化学	
担当者	教 授：宇田川信之
授業概要	生体を構成する高分子化合物（タンパク質、核酸、糖質、脂質）の構造、代謝、生合成および機能についての基本的知識を理解する。また、口腔およびその関連組織に関する生化学的知識について理解する。生命の分子の基盤に関して、生命を構成する物質、遺伝子と遺伝、細胞の構造と機能、細胞間のコミュニケーションについて理解する。
教科書	宇田川信之：「歯科国試パーフェクトマスター口腔生化学第2版」（医歯薬出版）
参考書	宇田川信之他：「口腔生化学第6版」（医歯薬出版）
フィードバック方法	試験実施後、疑問や質問等がある場合は試験実施3日間以内にメールにて担当教員に送ること。その後、学生イントラ等で解説する。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で確認すること（10分） 復 習：当該講義の Weekly Test の復習ノートを必ず作成すること（80分）
オフィスアワー	要予約（TEL 070-5014-3303または nobuyuki.udagawa@mdu.ac.jp） 実習館2階 総合歯科医学研究所

口腔微生物学	
担当者	教 授：吉田明弘
授業概要	免疫学の復習を行う。
教科書	川端忠重他編：「口腔微生物学・免疫学（第4版）」（医歯薬出版） 全国歯科衛生士教育協議会監修「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学」（医歯薬出版）
参考書	熊ノ郷淳他編：「免疫学コア講義」（南山堂） 山本一彦他編：「カラー図解 人体の正常構造と機能Ⅶ 血液・免疫・内分泌」（日本医事新報社） 石原和幸他編：「口腔微生物学（第7版）」（学建書院）
フィードバック方法	定期試験実施後、正解率が低い問題に対し講義中に解説する。
準備学習時間 （予習・復習）	90分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書等で予習を行うこと（受講前の予習を前提に講義を進める）。（45分） 復 習：講義ノート、配布資料を用いて復習し、教科書等で各自知識をまとめること。（45分）
オフィスアワー	木曜日 16：30～17：30 本館5階 微生物学講座研究室 要予約（akihiro.yoshida@mdu.ac.jp）

口腔病理学	
担当者	教授：村上聡、講師：嶋田勝光
授業概要	1. 細胞損傷、修復、循環障害、炎症および腫瘍の総論を復習する。 2. 病理組織診断の基礎的知識を復習する。 3. 口腔領域の代表的な炎症性疾患、粘膜疾患、嚢胞、腫瘍および腫瘍性疾患の病理学的特徴を復習する。
教科書	下野正基・高田隆編：「第3版新口腔病理学」（医歯薬出版） 長谷川博雅・井上孝編：「第3版病理総論にもとづく口腔病理学」（永末書店） 高木實編：「口腔病変アトラス 第2版」（文光堂）
参考書	笹野公伸編改訂8版シンプル病理学（南江堂）
フィードバック方法	Weekly Test の低正答率項目については講義中に解説する。
注意事項	1. 授業に際して、以下のような場合は原則として欠席とする。 ①無断退出など 2. 講義に持参するもの ① 3年次の授業ノート ②教科書
準備学習時間 （予習・復習）	120分 予 習：シラバスを基に3年次の講義ノートを復習する。（60分） 復 習：講義でふれた病態の定義、疾患名、病因、病理組織像などをよく考えて理解する。（60分）
オフィスアワー	随時 本館東棟5階病理学講座 1）病理学講座医局に来室のうえ日時を予約する。 2）メール予約の場合は必ず返信メールを確認して来室する。 村上：satoshi.murakami@mdu.ac.jp

歯科薬理学	
担当者	教 授：荒 敏昭
授業概要	1. 薬物の作用に関する基本的事項（作用機序）を理解する。 2. 種々の方法で適用された薬物の生体内運命（薬物動態）を理解する。 3. 薬物の併用による作用の変化（薬物相互作用）について理解する。 4. 薬物の副作用・有害作用の種類とその予防対策に関する基本的事項を理解する。
教科書	大谷啓一監修、鈴木邦明・戸荻彰史・青木和弘・兼松隆・筑波隆幸編：「現代歯科薬理学（第6版）」（医歯薬出版）
参考書	大浦清・戸刈彰史監修、笠原正貴・兼松隆・三枝禎・十川紀夫・高橋俊介・八田光世編集：「ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学（第3版）」（永末書店）
フィードバック方法	定期試験や演習課題実施後、正解率が低い問題に対して、解答例を学生イントラに掲載、または補講等で解説する。
注意事項	臨床科目と関連付けるように自ら努力すること。
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で予習を行うこと。（15分） 1）各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。 復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書を利用して各自知識をまとめること。（45分） 1）授業の理解を図るため、必ず復習すること。 2）ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。
オフィスアワー	随時 実習館3階 薬理学講座教授室 toshiaki.ara@mdu.ac.jp

歯科理工学	
担当者	准教授：横井由紀子 特任教授：永澤 栄
授業概要	材料の取り扱い方法、特性、化学反応についての詳細を理解する。 各項目の基礎知識の再確認と専門用語の意味の理解度を再確認する。
教科書	中嶋裕・他：「スタンダード歯科理工学第7版」（学建書院）
参考書	2年次のノート
フィードバック方法	各試験の結果から理解度の低い項目については講義中にフィードバックする。 また問題によっては学生イントラに掲載する。
注意事項	教科書を必ず持参すること。
準備学習時間 （予習・復習）	予 習：シラバスを確認して事前に教科書、参考書、2年時ノートなどにより予習すること。20分 復 習：配布されたプリント、ノートを用いて理解が足りない箇所が無いかなどを確認すること。40分
オフィスアワー	月曜日～金曜日 随時 不在の時もあるので、口頭あるいはメールにて予約するのが望ましい。 実習館1階 歯科理工学医局 yukiko.yokoi@mdu.ac.jp（横井） sakae.nagasawa@mdu.ac.jp（永澤）

公衆衛生学

担当者	教 授：山賀孝之 講 師：定岡 直 特任教授：牧 茂
授業概要	1. 2・3年次で学んだ衛生学・口腔衛生学を保健医療に結び付け、疾患予防の指導管理を実践できる段階まで進める。 2. 歯科医療関係者に必要な口腔保健に関する知識を共有する。
教科書	安井利一、宮崎秀夫他編：「口腔保健・予防歯科学」（医歯薬出版、2019年） 末高武彦編：「スタンダード衛生・公衆衛生」（学建書院）矢ヶ崎雅、牧茂：「社会歯科学」（MDU 出版）
参考書	安井利一編：「口腔保健マニュアル」（南山堂） 石井拓男他編：「スタンダード社会歯科学第7版」（学建書院）
注意事項	
フィードバック方法	試験の正答、評価への疑問や質問は担当教員に申し出ること。その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：シラバスおよび事前連絡による教科書の該当範囲を熟読する。(45分) 復 習：講義ノートの整理。暗記項目は何回も繰り返して完全に暗記する。(45分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 随時 本館1階東棟 公衆衛生学講座医局

保存修復学

担当者	教 授：亀山敦史
授業概要	第3学年の保存修復学講義および第4学年前期の保存修復学実習で修得した知識をより確実なものにし、かつ他の歯科領域（歯科理工学、口腔組織学、口腔病理学、クラウン・ブリッジ補綴学、歯内治療学など）で修得した知識との関連性を深く理解できるように、臨床術式と基礎理論について学習する。
教科書	田上順次・奈良陽一郎・山本一世・斎藤隆史監修：「第六版保存修復学21」（永末書店） 千田彰・宮崎真至・林美加子・向井義晴・斎藤隆史編：「保存修復学（第7版）」（医歯薬出版）
参考書	千田彰・寺下正道・田上順次・奈良陽一郎・宮崎真至・片山直編集：「保存修復クリニカルガイド（第2版）」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Weekly Test や定期試験で正答率の低い問題については学生イントラに解説を掲載するので確認すること。
注意事項	・講義は欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は速やかに欠席届を提出すること。 ・教科書、第3学年の講義で配付した資料、自分が作成した講義ノートおよび保存修復学実習マニュアルを必ず持参すること。 ・講義中にポイントとなる事項などは、教科書の該当ページにメモを取ること。 ・理解できない事項や確認したい事項がある場合には積極的にオフィスアワーを活用すること。 ・講義の撮影、録画は原則として認めない。
準備学習時間 (予習・復習)	1. 事前に講義内容を確認して教科書あるいは3年次の講義資料で復習をして講義を受ける。 2. 講義後は、自分のとったメモと本シラバスをもとに復習する。 3. 自分のメモは第5学年の臨床実習や CBT、第6学年の国家試験対策総合講義で役立つはずである。
オフィスアワー	基本的に講義を行った日 17:30～18:30 本館3階東棟 歯科保存学講座 教室または修復研究室

全部床義歯補綴学	
担当者	講 師：吉田裕哉
授業概要	3 年次に学習した全部床義歯補綴学の内容の中でも特に重要な項目について復習を行う。
教科書	市川哲雄ほか編「無歯顎補綴治療学（第 4 版）」（医歯薬出版） 細井紀雄ほか編：「コンプリートデンチャーテクニク（第 6 版）」（医歯薬出版）
参考書	山縣健佑・黒岩昭弘：「図説 無歯顎補綴学」（学建書院） 黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第 5 版）」（学建書院） 山下秀一郎編：有床義歯補綴学（永末書店）
フィードバック方法	講義、実習内容、試験の解答、評価への質問は担当教員に申し出ること。その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。
注意事項	教科書の図・表は特に意識して学習するように努めること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。(15分) 復 習：講義中に指定した教科書の項目や写真を中心に講義内容を復習すること。(45分)
オフィスアワー	講義終了時から当日18：30まで 本館 4 階東棟 歯科補綴学講座医局 いずれも事前連絡、予約が望ましい。

歯科矯正学	
担当者	教 授：岡藤範正
授業概要	乳歯列・混合歯列・永久歯列期の矯正治療の特徴を理解し、適切な治療方針、治療装置を選択する。 成長発育、咬合、不正咬合の種類、原因、生体反応を理解する。
教科書	飯田順一郎・葛西一貴・後藤滋巳・末石研二・榎宏太郎・山城隆編：「歯科矯正学 第 6 版」（医歯薬出版） 3、4 年次歯科矯正学（講義）配付のプリント 歯科矯正学実習 実習書
参考書	清水典佳・鈴木里奈編：「歯科国試パーフェクトマスター歯科矯正学」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Weekly Test 実施後に正解率が低い問題に対し解答例または記入例を次週講義冒頭に掲示するので確認すること
注意事項	3、4 年次までに学んだ歯科矯正学の内容を総復習するため、演習と解説を行う。 出席を重視する。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 復 習：配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(60分)
オフィスアワー	授業日（18：00～20：00）本館 2 階東棟 歯科矯正学講座教室オフィスアワー以外の時間帯でも在室時は随時可能 連絡先 E-mail：norimasa.okafuji@mdu.ac.jp

医療面接学	
担当者	准教授：森 啓
授業概要	1. 医療倫理と生命倫理を知り、患者中心の視点（患者の権利、自己決定権、インフォームドコンセント）を説明できる。 2. 医療面接の目的と理論モデルを理解し、コミュニケーションの目的と技法を説明できる。 3. 一般歯科診療の基本を説明できる。
教科書	伊藤孝訓：「第3版 歯科医療面接 アートとサイエンス」（シエン社）
参考書	斎藤清二：「はじめての医療面接」（医学書院）
フィードバック方法	試験（Weekly Test 等）の低正答率問題について解説の資料を配布する。
注意事項	講義は欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は速やかに欠席届を提出すること。 教科書を必ず持参すること。
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：3年次のノートを参考にすること
オフィスアワー	月曜日～金曜日 17：30以降～ 本館2階北棟病院共同教員室

歯周病学	
担当者	助 教：宮國 茜
授業概要	歯周疾患の病因、基本治療、歯周外科治療について、理解し説明できる。
教科書	吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申基喆編：「臨床歯周病学（第3版）」（医歯薬出版 2020）
参考書	吉江弘正・米山武義・吉成伸夫編：「高齢者への歯周治療と口腔管理」（インターアクション 2018） 沼部幸博・梅田 誠・斎藤 淳・山本松男編：「ザ・ペリオドントロジー（第3版）」（永末書店 2019）
フィードバック方法	講義に対する疑問や質問等がある場合は講義後オフィスアワーに担当教員に質問に来ること。
注意事項	
準備学習時間 （予習・復習）	60分 予 習：シラバスを確認し、事前に講義概要について教科書・参考書等で予習を行うこと。（15分） 復 習：配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自理解を深める。（45分）
オフィスアワー	月曜・火曜・水曜・金曜 18：00～19：00 本館5階西棟 歯科保存学講座医局

歯内治療学	
担当者	教 授：増田宜子
授業概要	第3学年時第4学年時での歯内治療学講義で修得した知識をより確実なものにし、根管処置の意義を理解する。 第4学年時の歯内治療学実習で修得した知識をより確実なものにし、適切な治療方針、臨床手技を理解する。
教科書	勝海一郎他編：「歯内治療学 第5版」（医歯薬出版）
参考書	興地隆史他編：「第6版エンドドンティックス」（永末書店） S. Cohen 他：「Pathways of the Pulp 12th ED」（Mosby） 河野 哲著：「新歯内療法学サイドリーダー第2版」（学建書院）
フィードバック方法	Weekly Test にて正解率が低い問題に関して解答例を学生イントラに掲載するので確認すること。
注意事項	
準備学習時間 (予習・復習)	60分 復 習：配布されたプリントを復習、教科書でわからないことを確認すること。(60分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 18:00～19:00 本館4階西棟 歯科保存学講座教授室

小児歯科学	
担当者	教 授：大須賀直人 准教授：正村正仁
授業概要	小児歯科臨床 小児期から成人に至る口腔機能を理解する。 健康を維持・増進することを目的に全身ならびに口腔領域の正常な成長・発育を理解する。 口腔領域に発生する疾患や異常について成長発育を考慮した予防法、治療法を理解する。 口腔領域に発生する疾患や異常について成長発育を考慮した健康管理を理解する。
教科書	[教科書] 大須賀直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学建書院） 大須賀直人他：「小児歯科学基礎・臨床実習（第3版）」（医歯薬出版）
参考書	[参考書] 大須賀直人他：「歯科医のための小児科学入門」（MDU 出版会） 大須賀直人他：「小児歯科学（第6版）」（医歯薬出版） 大須賀直人他：「乳歯列における外傷歯の診断と治療（第2版）」（クイッテセンス出版） 大須賀直人他：「乳幼児の口と歯の健診ガイド」（第3版）（医歯薬出版）
フィードバック方法	配布資料、教科書、ノートを確認してフィードバックする。
注意事項	教科書は必ず持参すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について予習を行うこと。(15分) 復 習：配付された資料や教科書を復習し知識をまとめること。(45分)
オフィスアワー	月曜日 17:00～18:00 本館2階東棟 小児歯科学講座医局 E-mail：info_ped@mdu.ac.jp で予約をすれば、他の時間でも可能

【授業日程】

総 合 講 義 第 4 学年（後期）				
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	3月24日(金) 1時限	オリエンテーション		中村 浩彰
2	8月18日(金) 2時限	口腔組織学① 1. エナメル質 2. 象牙質 3. 歯髄 4. 歯周組織 5. 口腔粘膜	1. エナメル質、象牙質、歯髄および歯周組織の組織学的特徴を説明できる。 2. 口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。	中村 浩彰
3	8月21日(月) 3時限	口腔生化学① 歯と歯周組織の生化学 生命を構成する基本物質	骨、象牙質、エナメル質の特有なタンパク質について説明できる。 線維性コラーゲンの特徴を説明できる。 プロテオグリカンの構造と役割を説明できる。 接着性タンパク質について説明できる。 生体内におけるエネルギー利用を説明できる。 酵素の働きと主な代謝異常を説明できる。	宇田川信之
4	8月21日(月) 4時限	口腔解剖学① 身体の部位および方向用語について 運動器系（骨格系と筋系）について 歯種別の形態と特徴について	1. 身体の方角用語を正確に用いることができる 2. 身体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 3. 骨の結合様式を説明できる。 4. 歯種別の形態と特徴を説明できる。	金銅 英二
5	8月23日(水) 2時限	口腔生理学① 1. 血液の成分と作用 2. 心臓の働き 3. 血液循環	1. 血液成分とその作用を列挙できる。 2. 浮腫を起こす原因を説明できる。 3. 心筋の特徴や刺激伝導系を説明できる。 4. 循環系の特徴を説明できる。	北川 純一
6	8月25日(金) 2時限	口腔微生物学① 自然免疫	1. 上皮のバリア機構について説明できる。 2. 貪食細胞の機能について説明できる。 3. 補体について説明できる。 4. NK細胞について説明できる。 5. パターン認識について説明できる。	吉田 明弘
7	8月28日(月) 3時限	歯科理工学① 歯科材料に使用される素材とその性質	歯科材料に使用される素材とその性質および所要性質について説明する。	横井由紀子
8	8月28日(月) 4時限	歯科薬理学① 薬物の作用機序、薬理作用	1. 自律神経作用薬の作用、副作用、適応症を理解する。 2. 抗炎症薬の作用、副作用、適応症を理解する。	荒 敏昭
9	8月30日(水) 2時限	口腔病理学① 循環障害総論 1. 局所の血液分布異常 2. 全身の循環障害 3. 閉塞性循環障害	1. 虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 2. 出血の原因、種類および転帰を説明できる。 3. 血栓症の形態学、成因と条件および転帰を説明できる。 4. 塞栓症について塞栓の運ばれる経路、塞栓の種類および転帰を説明できる。 5. 梗塞の種類、形態および転帰を説明できる。 6. 浮腫の原因とその転帰を説明できる。 7. ショックの原因と成因を説明できる。	村上 聡
10	9月1日(金) 2時限	口腔組織学② 1. 歯の発生 2. 顔面の発生 3. 顎関節 4. 唾液腺	1. 歯の発生について説明できる。 2. エナメル質形成について説明できる。 3. 象牙質形成について説明できる。 4. 鰓弓について説明できる。 5. 口蓋の発生について説明できる。 6. 顎関節の構造について説明できる。 7. 唾液腺の組織構造について説明できる。	中村 浩彰

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
11	9月4日(月) 3時限	口腔生化学② 軟骨・骨の形成と吸収機構 細胞のコミュニケーション	軟骨芽細胞による軟骨形成と骨芽細胞による骨形成機構および破骨細胞による骨吸収機構を説明できる。 膜内骨化と軟骨内骨化の違いが説明できる。 細胞の接着装置、接着分子、受容体および細胞内シグナル伝達機構を説明できる。	宇田川信之
12	9月4日(月) 4時限	口腔解剖学② 1. 脈管系 2. 神経系 3. 消化器系	1. 脈管系を説明できる。 2. 神経系を説明できる。 3. 消化器系を説明できる。	金銅 英二
13	9月6日(水) 2時限	公衆衛生学① 1. 健康の概念、口腔と全身の健康 2. 疾病の概念、種類及び予防 3. 予防の概念 (Leavell&Clark のモデル) 4. プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケア 5. プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション	1. 健康の概念、口腔と全身の健康について説明できる。 2. 疾病の概念、種類及び予防について説明できる。 3. 予防の概念 (Leavell&Clark のモデル) について説明できる。 4. プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアについて説明できる。 5. プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーションについて説明できる。	山賀 孝之
14	9月8日(金) 2時限	口腔微生物学② 主要組織適合遺伝子複合体と抗原提示	1. 主要組織適合遺伝子複合体について説明できる。 2. 主要組織適合遺伝子複合体による T 細胞への抗原提示について説明できる。 3. クロスプレゼンテーションについて説明できる。	吉田 明弘
15	9月11日(月) 3時限	歯科理工学② 印象採得に用いる印象材と器具の種類と特性 模型材料の種類と特性	印象材と模型材の種類とそれぞれの特性について説明する。	永澤 栄
16	9月13日(水) 2時限	口腔生理学② 1. 中枢神経 2. 末梢神経 3. 自律神経	1. 脳の機能局在を説明できる。 2. 脳幹の機能を説明できる。 3. 脳神経の機能を説明できる。 4. 自律神経の作用を説明できる。	北川 純一
17	9月15日(金) 2時限	公衆衛生学② 1. 主な口腔疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防 2. 齲蝕予防におけるフッ化物の応用方法 3. ライフステージにおける予防	1. 主な口腔疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防について説明できる。 2. 齲蝕予防におけるフッ化物の応用方法について説明できる。 3. ライフステージにおける予防について説明できる。	定岡 直
18	9月15日(金) 2時限	歯科薬理学② 薬物の作用機序、薬理作用	1. 血液作用薬の作用、副作用、適応症を理解する。 2. 循環器作用薬の作用、副作用、適応症を理解する。	荒 敏昭
19	9月20日(水) 2時限	口腔生化学③ 細胞の構造と機能 歯と骨の石灰化機構	細胞膜、核、細胞内小器官、細胞骨格、細胞周期および細胞死について説明できる。 アルカリホスファターゼ説とエピタキシー説および基質小胞説が説明できる。 エナメル質の石灰化の特殊性を説明できる。	宇田川信之

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
20	9月21日(木) 3時限	口腔病理学② 細胞損傷と修復 1. 細胞損傷の機構と細胞内小器官の形態変化 2. 細胞増殖と分化の調節機構 3. 肉芽組織 4. 創傷の治療	1. 細胞傷害と組織傷害について説明できる。 2. 壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 3. 壊死とアポトーシスについて説明できる。 4. 萎縮と仮性肥大を説明できる。 5. 修復と再生について説明できる。 6. 化生を説明できる。 7. 肉芽組織の構成成分と意義を説明できる。 8. 創傷治療に関する細胞とその過程を説明できる。 9. 異物の種類と処理反応を説明できる。 10. 器質化を説明できる。	嶋田 勝光
21	9月21日(木) 4時限	医療面接学① 求められる歯科医師像 医療倫理 生命倫理 患者中心の医療	医療倫理の基本を説明できる。 患者中心の医療を実践するにあたり必要な知識を説明できる。 生命倫理観が必要な事例を説明できる。 インフォームドコンセントの意義を説明できる。	森 啓
22	9月22日(金) 2時限	保存修復学① 1. 歯の硬組織疾患 2. 検査法・診断法 3. 齲蝕の処置	1. 歯の硬組織疾患を列挙し、分類できる。(想起) 2. 歯の硬組織疾患の発生原因とメカニズムを説明できる。(想起) 3. 歯の硬組織疾患の病態と考えられる症状を説明できる。(想起・解釈) 4. 齲蝕のリスクファクターを列挙できる。(想起) 5. 歯の硬組織疾患の検査法の種類を列挙できる。(想起) 6. 歯の硬組織疾患にあわせた検査法を選択できる。(問題解決) 7. 得られた検査結果から病態を推測する。(解釈)	亀山 敦史
23	9月25日(月) 3時限	歯科薬理学③ 薬物動態	1. 薬物動態 (吸収から排泄までの過程)を理解する。 2. 薬物の適用方法の特徴を理解する。 2. 薬物動態に影響を与える要因を理解する。	荒 敏昭
24	9月25日(月) 4時限	公衆衛生学③ 1. 疫学とのEBM概念 2. スクリーニング検査 3. 口腔疾患の疫学的指標	1. 疫学とEBMの概念を説明できる。 2. スクリーニング検査を説明できる。 3. 口腔疾患の疫学的指標を説明できる。	定岡 直
25	9月27日(水) 2時限	口腔組織学③ 1. 上皮組織 2. 結合組織 3. 軟骨・骨組織 4. 血液 5. 筋組織 6. 神経組織 7. 組織学各論 (脈管系、リンパ性器官、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、内分泌系)	1. 上皮を形態学的に分類できる。 2. 結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 3. 軟骨を分類し、その特徴を説明できる。 4. 骨組織の細胞について説明できる。 5. 赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。 6. 筋組織の構造と機能を説明できる。 7. 神経細胞の構造を説明できる。 8. 消化器系の基本構造と機能を説明できる。 9. 呼吸器系の基本構造と機能を説明できる。 10. 泌尿器系の基本構造と機能を説明できる。	中村 浩彰
26	9月29日(金) 2時限	歯科理工学③ レジン系材料の種類と特性	レジン系材料とそれぞれの特性について説明する。	永澤 栄

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
27	10月2日(月) 3時限	口腔解剖学③ 感覚器系について 呼吸器系について 泌尿器系について 生殖器系について 三叉神経・顔面神経について	1. 皮膚・感覚器の形態、構造を説明できる。 2. 視覚器、聴覚器、平衡感覚器の形態と構造を説明できる。 3. 嗅覚器、味覚器の形態と構造を説明できる。 4. 気道系の構造と機能を説明できる。 5. 腎臓、尿路の分類、形態および構造を説明できる。 6. 男性生殖器、女性生殖器の分類と形態および構造を説明できる。 7. 三叉神経と顔面神経の走行、分布および構成線維を説明できる。	金銅 英二
28	10月2日(月) 4時限	口腔生理学③ 1. 唾液 2. 嚥下 3. 顎反射	1. 唾液の生成機序を説明できる。 2. 嚥下反射の機序を説明できる。 3. 顎反射のメカニズムが明確に説明できる。	北川 純一
29	10月4日(水) 2時限	口腔微生物学③ 獲得免疫 (1)液性免疫	1. 抗体の構造について説明できる。 2. 抗体のクラスと機能について説明できる。 3. クラスイッチについて説明できる。 4. 遺伝子再構成について説明できる。 5. 抗原抗体反応とその応用について説明できる。 6. 親和性成熟について説明できる。	吉田 明弘
30	10月6日(金) 2時限	口腔病理学③ 炎症総論 1. 炎症の形態学的変化 2. 急性炎症と慢性炎症 3. 増殖性炎と肉芽腫性炎	1. 炎症の定義と発生機序を説明できる。 2. 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 3. 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 4. 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。 5. 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。	村上 聡
31	10月11日(水) 2時限	歯科薬理学④ 薬物相互作用	1. 薬力学的薬物相互作用と代表例を理解する。 2. 薬物動態学的薬物相互作用と代表例を理解する。	荒 敏昭
32	10月13日(金) 3時限	医療面接学② 医療面接の基本	1. 医療面接における意義と目的を説明できる。 2. 医療面接の基本を説明できる。 3. 病歴聴取項目を説明できる。 4. 急性症状と慢性症状の聴取の違いを説明できる。	森 啓
33	10月13日(金) 4時限	保存修復学② 1. エナメル質齲蝕の処置法 2. 象牙質齲蝕の処置法 3. 根面齲蝕の処置法 4. 非齲蝕性硬組織疾患の処置法 5. 修復時の前処置	1. エナメル質齲蝕への再石灰化療法を説明できる。(想起) 2. エナメル質齲蝕病巣の除去法と使用する器具を説明できる。(想起) 3. 象牙質齲蝕の臨床的所見を説明できる。(想起) 4. 齲蝕象牙質の識別法と使用する器材を説明記できる。(想起) 5. 象牙質齲蝕病巣の除去法と使用する器具を説明できる。(想起) 6. 根面齲蝕を分類できる。(想起) 7. 根面齲蝕の非侵襲的治療法を説明できる。(想起・問題解決) 8. 根面齲蝕の修復方法を列挙し、その使い分けを説明できる。(想起・問題解決) 9. 非齲蝕性硬組織疾患の処置法を説明できる。(想起・問題解決) 10. 修復処置に必要な前処置の種類とそれぞれの目的を列挙できる。(想起) 11. 修復処置に応じた前処置法を選択できる。(問題解決)	亀山 敦史

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
34	10月16日(月) 3時限	口腔組織学④ 組織学 口腔組織学 口腔組織発生学	1. 組織学の要点を理解する。 2. 口腔組織の構造の要点を理解する。 3. 口腔組織発生の要点を理解する。	中村 浩彰
35	10月16日(月) 4時限	口腔生化学④ カルシウム代謝調節機構	血清カルシウムを調節するカルシトニン、副甲状腺ホルモン、ビタミンDの性質と機能を説明できる。	宇田川信之
36	10月18日(水) 2時限	口腔解剖学④ 永久歯の特徴 乳歯の特徴 歯の異常 口腔の構造 咽頭の構造 喉頭の構造	永久歯と乳歯について説明できる。 歯の異常について説明できる。 口腔の構造について説明できる。 咽頭の構造について説明できる。 喉頭の構造について説明できる。	金銅 英二
37	10月20日(金) 2時限	公衆衛生学④ 医の倫理 医療関連法規	1. 医の倫理を理解する。 2. 医療関連法規を理解する。	牧 茂
38	10月23日(月) 3時限	口腔微生物学④ 獲得免疫 (2)細胞性免疫	1. T細胞の種類と性状について説明できる。 2. 細胞性免疫の制御機構について説明できる。 3. T細胞の分化・成熟とメモリー機能について説明できる。 4. ウイルス感染細胞の排除について説明できる。 5. 細胞内寄生細菌に対する感染防御について説明できる。 6. 腫瘍免疫について説明できる。 7. 移植と拒絶反応について説明できる。	吉田 明弘
39	10月23日(月) 4時限	歯科理工学④ 金属材料を用いた鑄造および熱処理 陶材の特性	歯科用金属材料の種類と用途について説明する。 金属材料の加工方法について説明する。 セラミック材料について加工方法と特性について説明する。	永澤 栄
40	10月25日(水) 2時限	歯科薬理学⑤ 薬物の副作用・有害作用	薬物による副作用、有害作用とその発生機序を理解する。	荒 敏昭
41	10月27日(金) 2時限	口腔生理学④ 生理学・口腔生理学の総復習	視覚素材に慣れる。	北川 純一
42	10月30日(月) 3時限	口腔生化学⑤ 唾液と唾液腺 歯面への付着物 遺伝子と遺伝	唾液タンパク質の生化学的組成と分泌機構を説明できる。 歯面への付着物の生化学的組成を説明できる。 遺伝子の構造とセントラルドグマを説明できる。	宇田川信之
43	10月30日(月) 4時限	歯科薬理学⑥ 薬物と医薬品	1. 医薬品の分類を理解する。 2. 医薬品の表示および保管場所を理解する。 3. 医薬品開発の流れを理解する。	荒 敏昭
44	11月1日(水) 2時限	口腔病理学④ 腫瘍総論 1. 腫瘍の疫学 2. 腫瘍の組織学的特徴 3. 腫瘍の増殖と転移 4. 癌関連遺伝子の役割とその異常 5. 多段階発癌の分子機構	1. 腫瘍の定義と原因を説明できる。 2. 腫瘍の組織発生を説明できる。 3. 異型性、退形成および分化を説明できる。 4. 腫瘍の異型性と多形性を説明できる。 5. 局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。 6. 発癌機構を概説できる。	嶋田 勝光
45	11月6日(金) 2時限	歯科矯正学① 1. 顎顔面頭蓋の成長発育 2. 正常咬合と不正咬合 3. 側面頭部エックス線規格写真・模型分析 4. 矯正力と顎整形力	1. 顎顔面頭蓋の成長発育を理解する。 2. 正常咬合と不正咬合について説明できる。 3. 口腔習癖とそれが及ぼす影響について説明できる。 4. 側面頭部エックス線規格写真と模型分析を説明できる。 5. 矯正力と顎整形力について説明できる。	岡藤 範正

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
46	11月6日(月) 4時限	全部床義歯補綴学① 無菌顎の解剖学的事項 印象採得	無菌顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を説明できる。 概形印象採得と精密印象採得を説明できる。 既製トレーと個人トレーの違いを説明できる。 筋圧形成の目的と関わる筋肉を説明できる。 印象材の種類と適応を説明できる。 研究用模型と作業用模型の製作法を説明できる。	吉田 裕哉
47	11月8日(金) 2時限	公衆衛生学⑥ 社会保障制度 医療経済	1. 医療保険制度を理解する。 2. 介護保険制度が説明できる。 3. 医療経済を理解する。	牧 茂
48	11月10日(水) 2時限	歯科矯正学② 1. 乳歯列・混合歯列・永久歯列期の矯正治療 2. 顎変形症の矯正歯科治療 3. 保定の意義とその種類	1. 乳歯列・混合歯列・永久歯列期の矯正治療について説明できる。 2. 顎変形症の矯正歯科治療について説明できる。 3. 保定の意義とその種類について説明できる。	岡藤 範正
49	11月13日(月) 3時限	口腔生化学⑥ 齲蝕の生化学	齲蝕の発症メカニズムと代用糖（非齲蝕性甘味料）の種類とその性質を説明できる。	宇田川信之
50	11月13日(月) 4時限	全部床義歯補綴学② 顎間関係記録 咬合器装着	咬合床の役割を説明できる。 リップサポートと仮想咬合平面の決定方法を説明できる。 垂直的顎間関係の形態的、機能的決定方法を説明できる。 水平的顎間関係の形態的、機能的決定方法を説明できる。 ゴシックアーチ描記法を説明できる。 咬合床に記入する標示線を説明できる。 作業用模型の咬合器への装着法について説明できる。	吉田 裕哉
51	11月15日(月) 3時限	保存修復学③ 1. 直接修復 2. 間接修復 3. 修復治療の術後管理	1. 直接修復の種類を列挙し、それぞれについて特徴と適応症を説明できる。(想起・解釈) 2. 間接修復の種類を列挙し、それぞれについて特徴と適応症を説明できる。(想起・解釈) 3. 各修復法に適した窩洞形成法を説明できる。(解釈・問題解決) 4. 症例に応じた象牙質・歯髄複合体の保護法を選択できる。(問題解決) 5. 各種修復法の術式と使用する器具・材料を説明できる。(想起) 6. 修復治療後の術後管理の必要性について説明できる。(想起) 7. 補修の方法について列挙し、術式と必要な器材を説明できる。(想起) 8. メンテナンスの実際について説明できる。(想起)	亀山 敦史
52	11月17日(金) 2時限	医療面接学③ 医療面接法	1. 歯科診療の流れを説明できる。 2. 医療面接の環境を説明できる。 3. 医療面接の手順を説明できる。 4. 医療情報の記載方法を説明できる。 5. 急性と慢性症状の対応を説明できる。 6. 基本的なコミュニケーション手法を説明できる。 7. 臨床推論を説明できる。	森 啓
53	11月20日(月) 3時限	小児歯科学① 小児歯科臨床	小児患者の歯科的対応を説明できる。 小児の歯冠修復について説明できる。 小児の歯内療法について説明できる。 咬合誘導の意義と目的について説明できる。 咬合誘導装置の種類と適応について説明できる。	大須賀直人

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
54	11月20日(月) 4 時限	歯内療法学①		増田 宜子
55	11月22日(水) 2 時限	全部床義歯補綴学③ 人工歯排列の基本 蝕義歯試適 埋没・重合・咬合器再装着 義歯完成	基本的な人工歯排列方法を説明できる。 全部床義歯に付与する咬合様式を説明できる。 ろう義歯試適の診査項目について説明できる。 レジンの填入法ならびに重合法について説明できる。 レジン重合後の作業用模型の咬合器再装着の意義について説明できる。 選択割合および自動割合の手順について説明できる。	吉田 裕哉
56	11月24日(金) 2 時限	口腔病理学⑤ 病理診断	1. 代表的な歯源性腫瘍の病理像を説明できる。 2. 代表的な粘膜腫瘍の病理像を説明できる。 3. 代表的な唾液腺腫瘍の病理像を説明できる。 4. 代表的な嚢胞の病理像を説明できる。 5. 代表的な粘膜疾患の病理像を説明できる。	村上 聡
57	11月27日(月) 3 時限	小児歯科学② 小児歯科臨床	小児の外科処置について説明できる。 小児外傷について説明できる。 スポーツによる歯・口腔の外傷の予防について説明できる。 小児疾患と歯科治療の留意点について説明できる。	正村 正仁
58	11月27日(月) 4 時限	歯内治療学②	1. 歯髄疾患を分類できる。 2. 可逆性歯髄炎と不可逆性歯髄炎を説明できる。 3. 歯髄保存療法と除去療法を説明できる。 4. 歯髄疾患の治療法を説明できる。 5. 根尖性歯周疾患を分類できる。 6. 根尖性歯周疾患の治療法を説明できる。 7. 根管処置を説明できる。	増田 宜子
59	11月29日(水) 2 時限	歯周病学①	1. 歯周疾患の病因について説明できる。 2. 病因除去療法としての歯周基本治療を説明できる。 3. 歯周外科療法の種類、目的を説明できる。	宮國 茜
60	12月 1 日(水) 2 時限	公衆衛生学⑤ 1. 主な保健医療統計 2. 主な健康指標 3. 調査方法と統計的分析 4. 保健医療情報の取り扱いと情報セキュリティ 5. 医療情報の開示に関する注意点	1. 主な保健医療統計を説明できる。 2. 主な健康指標を説明できる。 3. 調査方法と統計的分析を説明できる。 4. 保健医療情報の取り扱いと情報セキュリティを説明できる。 5. 医療情報の開示に関する注意点を説明できる。	定岡 直
61	12月 5 日(火) 2 時限	公衆衛生学⑦ 健康日本21 国際保健	1. 健康日本21を理解する。 2. 国際保健に関与する機関を理解する。	定岡 直
62	／ () 1 時限	総合講義予備日①		中村 浩彰
63	／ () 2 時限	総合講義予備日②		中村 浩彰
64	／ () 3 時限	総合講義予備日③		中村 浩彰
65	／ () 4 時限	総合講義予備日④		中村 浩彰
66	／ () 1 時限	総合講義予備日⑤		中村 浩彰

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
67	／ () 2 時限	総合講義予備日⑥		中村 浩彰
68	／ () 3 時限	総合講義予備日⑦		中村 浩彰
69	／ () 4 時限	総合講義予備日⑧		中村 浩彰
70	／ () 1 時限	総合講義予備日⑨		中村 浩彰
71	／ () 2 時限	総合講義予備日⑩		中村 浩彰
72	／ () 3 時限	総合講義予備日⑪		中村 浩彰
73	／ () 4 時限	総合講義予備日⑫		中村 浩彰
74	／ () 1 時限	総合講義予備日⑬		中村 浩彰
75	／ () 2 時限	総合講義予備日⑭		中村 浩彰
76	／ () 3 時限	総合講義予備日⑮		中村 浩彰
77	／ () 4 時限	総合講義予備日⑯		中村 浩彰

2023 年度 4 学年 日程表

		月	火	水	木	金	土	日
		3/20	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26
1	1	9:00～ 10:30	春分の日			オリエンテーション		
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40						
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						
		3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2
2	1	9:00～ 10:30	歯内治療学-1	部分床義歯補綴学-1	歯周病学-1	歯科放射線学-1		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-1	歯科矯正学-1	部分床義歯補綴学-2	クラウンブリッジ補綴学-1	口腔外科学-1	
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-1	障害者歯科学-1		歯科補綴学実習Ⅰ-1		
	4	14:50～ 16:20	保存修復学実習-1					
	5	16:30～ 18:00						
		4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9
3	1	9:00～ 10:30	歯科放射線学-2	歯内治療学-2	部分床義歯補綴学-3	健康診断		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-2	歯科矯正学-2	部分床義歯補綴学-4	口腔外科学-2		
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-2	障害者歯科学-2		歯科補綴学実習Ⅰ-2		
	4	14:50～ 16:20	保存修復学実習-2					
	5	16:30～ 18:00						
		4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16
4	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 1	歯内治療学-3	部分床義歯補綴学-5	歯周病学-2	歯科放射線学-3	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-3	歯科矯正学-3	部分床義歯補綴学-6	クラウンブリッジ補綴学-2	口腔外科学-3	
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-3	障害者歯科学-3		歯科補綴学実習Ⅰ-3		
	4	14:50～ 16:20	保存修復学実習-3					
	5	16:30～ 18:00						
		4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23
5	1	9:00～ 10:30	歯内治療学-4	部分床義歯補綴学-7	歯周病学-3	歯科放射線学-4		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-4	歯科矯正学-4	部分床義歯補綴学-8	クラウンブリッジ補綴学-3	口腔外科学-4	
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-4	障害者歯科学-4	歯科補綴学実習Ⅰ-4	歯科補綴学実習Ⅰ-5		
	4	14:50～ 16:20	保存修復学実習-4					
	5	16:30～ 18:00						
		4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30
6	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 2	歯内治療学-5	部分床義歯補綴学-9	歯周病学-4	歯科放射線学-5	昭和の日
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-5	歯科矯正学-5	部分床義歯補綴学-10	クラウンブリッジ補綴学-4	口腔外科学-5	
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-5	障害者歯科学-5		歯科補綴学実習Ⅰ-6		
	4	14:50～ 16:20	保存修復学実習-5					
	5	16:30～ 18:00						
		5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7
7	1	9:00～ 10:30	歯内治療学-6	憲法記念日	みどりの日	こどもの日		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-6					
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-6					
	4	14:50～ 16:20	保存修復学実習-6					
	5	16:30～ 18:00						

		月	火	水	木	金	土	日
		5/8	5/9	5/10	5/11	5/12	5/13	5/14
8	1	9:00~ 10:30	歯内治療学-7	部分床義歯補綴学-11	歯周病学-5	歯科放射線学-6		
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-7	歯科矯正学-7	部分床義歯補綴学-12	クラウンブリッジ補綴学-5	口腔外科学-6	
	3	13:10~ 14:40	小児歯科学-7	障害者歯科学-6				
	4	14:50~ 16:20	保存修復学実習-7		歯周病学実習-1	歯科補綴学実習 I -7		
	5	16:30~ 18:00						

		5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21
9	1	9:00~ 10:30	Weekly Test 3	歯内治療学-8	部分床義歯補綴学-13	歯周病学-6	歯科放射線学-7	
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-8	歯科矯正学-8	部分床義歯補綴学-14	クラウンブリッジ補綴学-6	口腔外科学-7	
	3	13:10~ 14:40	小児歯科学-8	障害者歯科学-7				
	4	14:50~ 16:20	保存修復学実習-8		歯周病学実習-2			
	5	16:30~ 18:00						

		5/22	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28
10	1	9:00~ 10:30	歯内治療学-9	部分床義歯補綴学-15		歯科放射線学-8		
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-9	歯科矯正学-9	部分床義歯補綴学-16	クラウンブリッジ補綴学-7	口腔外科学-8	
	3	13:10~ 14:40	小児歯科学-9	障害者歯科学-8				
	4	14:50~ 16:20	保存修復学実習-9			歯科補綴学実習 I -8		
	5	16:30~ 18:00						

		5/29	5/30	5/31	6/1	6/2	6/3	6/4
11	1	9:00~ 10:30	Weekly Test 4	歯内治療学-10	部分床義歯補綴学-17	歯周病学-8	歯科放射線学-9	
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-10	歯科矯正学-10	部分床義歯補綴学-18	クラウンブリッジ補綴学-8	口腔外科学-9	
	3	13:10~ 14:40	小児歯科学-10	障害者歯科学-9				
	4	14:50~ 16:20	保存修復学実習-10	歯周病学-7	歯周病学実習-3	歯科補綴学実習 I -9		
	5	16:30~ 18:00						

		6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11
12	1	9:00~ 10:30	歯内治療学-11	部分床義歯補綴学-19	歯周病学-9	歯科放射線学-10		
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-11	歯科矯正学-11	部分床義歯補綴学-20	クラウンブリッジ補綴学-9	口腔外科学-10	
	3	13:10~ 14:40	小児歯科学-11	障害者歯科学-10				
	4	14:50~ 16:20	保存修復学実習-11		歯周病学実習-4	歯科補綴学実習 I -10		
	5	16:30~ 18:00						

		6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18
13	1	9:00~ 10:30	Weekly Test 5	歯内治療学-12	部分床義歯補綴学-21	歯周病学-10	歯科放射線学-11	
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-12	歯科矯正学-12	部分床義歯補綴学-22	クラウンブリッジ補綴学-10	口腔外科学-11	
	3	13:10~ 14:40	小児歯科学-12	障害者歯科学-11				
	4	14:50~ 16:20	保存修復学実習-12		歯周病学実習-5	歯科補綴学実習 I -11		
	5	16:30~ 18:00						

		6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25
14	1	9:00~ 10:30	歯周病学-11	歯内治療学-13	部分床義歯補綴学-23	歯周病学-12	歯科放射線学-12	
	2	10:40~ 12:10	歯科麻酔学-13	歯科矯正学-13	部分床義歯補綴学-24	クラウンブリッジ補綴学-11	口腔外科学-12	
	3	13:10~ 14:40	小児歯科学-13	障害者歯科学-12				
	4	14:50~ 16:20	保存修復学実習-13		歯周病学実習-6	歯科補綴学実習 I -12		
	5	16:30~ 18:00						

		月	火	水	木	金	土	日
		6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2
15	1	9:00～ 10:30	Weekly test 6	歯内治療学-14	部分床義歯補綴学-25	歯周病学-13	歯科放射線学-13	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-14	歯科矯正学-14	部分床義歯補綴学-26	クラウンブリッジ補綴学-12	口腔外科学-13	
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-14		障害者歯科学-13			
	4	14:50～ 16:20		保存修復学実習-14		歯周病学実習-7	歯科補綴学実習 I -13	
	5	16:30～ 18:00						

		7/3(木曜授業)	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9
16	1	9:00～ 10:30	Weekly test 7	歯内治療学-15	部分床義歯補綴学-27	歯周病学-14	歯科放射線学-14	
	2	10:40～ 12:10	クラウンブリッジ補綴学-13	歯科矯正学-15	部分床義歯補綴学-28	クラウンブリッジ補綴学-14	口腔外科学-14	
	3	13:10～ 14:40			障害者歯科学-14			
	4	14:50～ 16:20	歯周病学実習-8	保存修復学実習-15		歯周病学実習-9	歯科補綴学実習 I -14	
	5	16:30～ 18:00						

		7/10	7/11(金曜授業)	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16
17	1	9:00～ 10:30		歯科放射線学-15	部分床義歯補綴学-29	歯周病学-15	Weekly Test 8	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-15	口腔外科学-15	部分床義歯補綴学-30	クラウンブリッジ補綴学-15		
	3	13:10～ 14:40	小児歯科学-15		障害者歯科学-15			
	4	14:50～ 16:20		歯科補綴学実習 I -15		歯周病学実習-10		
	5	16:30～ 18:00						

		7/17	7/18	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23
18	1	9:00～ 10:30						
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40	海の日	定期試験 1	定期試験 2	定期試験 3	定期試験 4	
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30
19	1	9:00～ 10:30						
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40	定期試験 5	定期試験 6	定期試験 7	定期試験 8	定期試験 9	
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						夏季休業

		7/31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6
20	1	9:00～ 10:30						
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		8/7	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13
21	1	9:00～ 10:30						
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	山の日 夏季休業	夏季休業
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		月	火	水	木	金	土	日
		8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20
22	1	9:00~10:30			クラウンブリッジ補綴学-1	歯科放射線学-1		
	2	10:40~12:10			口腔インプラント学-1	総合講義 口腔組織学①		
	3	13:10~14:40	夏季休業	夏季休業	歯内治療学実習-1			
	4	14:50~16:20				歯科補綴学実習Ⅱ-1		
	5	16:30~18:00						

		8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26	8/27
23	1	9:00~10:30	摂食嚥下療法学-1	口腔外科学-1	クラウンブリッジ補綴学-2	歯科放射線学-2		
	2	10:40~12:10	歯科麻酔学-1	高齢者歯科学-1	口腔インプラント学-2	総合講義 口腔微生物学①		
	3	13:10~14:40	総合講義 口腔生化学①	小児・矯正基礎実習-1	臨床予備演習-1			
	4	14:50~16:20	総合講義 口腔解剖学①		歯内治療学実習-2	歯科補綴学実習Ⅱ-2		
	5	16:30~18:00						

		8/28	8/29	8/30	8/31	9/1	9/2	9/3
24	1	9:00~10:30	Weekly Test 9	摂食嚥下療法学-2	口腔外科学-2	クラウンブリッジ補綴学-3	歯科放射線学-3	
	2	10:40~12:10	歯科麻酔学-2	高齢者歯科学-2	総合講義 口腔病理学①	口腔インプラント学-3	総合講義 口腔組織学②	
	3	13:10~14:40	総合講義 歯科理工学①	小児・矯正基礎実習-2	臨床予備演習-2			
	4	14:50~16:20	総合講義 歯科薬理学①		歯内治療学実習-3	歯科補綴学実習Ⅱ-3		
	5	16:30~18:00						

		9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10
25	1	9:00~10:30	摂食嚥下療法学-3	口腔外科学-3	クラウンブリッジ補綴学-4	歯科放射線学-4		
	2	10:40~12:10	歯科麻酔学-3	高齢者歯科学-3	総合講義 公衆衛生学①	口腔インプラント学-4	総合講義 口腔微生物学②	
	3	13:10~14:40	総合講義 口腔生化学②	小児・矯正基礎実習-3	臨床予備演習-3			
	4	14:50~16:20	総合講義 口腔解剖学②		歯内治療学実習-4	歯科補綴学実習Ⅱ-4		
	5	16:30~18:00						

		9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16	9/17
26	1	9:00~10:30	Weekly Test 10	摂食嚥下療法学-4	口腔外科学-4	クラウンブリッジ補綴学-5	歯科放射線学-5	
	2	10:40~12:10	歯科麻酔学-4	高齢者歯科学-4	総合講義 口腔生理学②	口腔インプラント学-5	総合講義 公衆衛生学②	
	3	13:10~14:40		小児・矯正基礎実習-4	臨床予備演習-4		総合講義 歯科理工学②	
	4	14:50~16:20	歯科補綴学実習Ⅱ-5		歯内治療学実習-5		総合講義 歯科薬理学②	
	5	16:30~18:00						

		9/18	9/19	9/20	9/21(月曜授業)	9/22	9/23	9/24
27	1	9:00~10:30	摂食嚥下療法学-5	口腔外科学-5		歯科放射線学-6		
	2	10:40~12:10	高齢者歯科学-5	総合講義 口腔生化学③	歯科麻酔学-5	総合講義 保存修復学①		
	3	13:10~14:40	敬老の日	小児・矯正基礎実習-5	臨床予備演習-5	総合講義 口腔病理学②		
	4	14:50~16:20				総合講義 医療面接学①	歯科補綴学実習Ⅱ-6	
	5	16:30~18:00						

		9/25	9/26	9/27	9/28	9/29	9/30	10/1
28	1	9:00~10:30	Weekly Test 11	摂食嚥下療法学-6	口腔外科学-6	クラウンブリッジ補綴学-6	歯科放射線学-7	
	2	10:40~12:10	歯科麻酔学-6	高齢者歯科学-6	総合講義 口腔組織学③	口腔インプラント学-6	総合講義 歯科理工学③	
	3	13:10~14:40	総合講義 歯科薬理学③	小児・矯正基礎実習-6	臨床予備演習-6			
	4	14:50~16:20	総合講義 公衆衛生学③		歯内治療学実習-6	歯科補綴学実習Ⅱ-7		
	5	16:30~18:00						

		月	火	水	木	金	土	日
		10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8
29	1	9:00～ 10:30	摂食嚥下療法学-7	口腔外科学-7	クラウンブリッジ補綴学-7	歯科放射線学-8		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-7	高齢者歯科学-7	口腔インプラント学-7	総合講義 口腔病理学③		
	3	13:10～ 14:40	総合講義 口腔解剖学③	小児・矯正基礎実習-7	臨床予備演習-7	歯内治療学実習-7		
	4	14:50～ 16:20	総合講義 口腔生理学③			歯科補綴学実習Ⅱ-8		
	5	16:30～ 18:00						

		10/9	10/10	10/11	10/12	10/13(月曜授業)	10/14	10/15
30	1	9:00～ 10:30	摂食嚥下療法学-8	口腔外科学-8	クラウンブリッジ補綴学-8			
	2	10:40～ 12:10	高齢者歯科学-8	総合講義 歯科薬理学④	口腔インプラント学-8	歯科麻酔学-8		
	3	13:10～ 14:40	スポーツの日	小児・矯正基礎実習-8	臨床予備演習-8	歯内治療学実習-8	総合講義 医療面接学②	
	4	14:50～ 16:20					総合講義 保存修復学②	
	5	16:30～ 18:00						

		10/16	10/17	10/18	10/19	10/20	10/21	10/22
31	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 12	摂食嚥下療法学-9	口腔外科学-9	クラウンブリッジ補綴学-9	歯科放射線学-9	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-9	高齢者歯科学-9	総合講義 口腔解剖学④	口腔インプラント学-9	総合講義 公衆衛生学④	
	3	13:10～ 14:40	総合講義 口腔組織学④	小児・矯正基礎実習-9	臨床予備演習-9	歯内治療学実習-9	歯科補綴学実習Ⅱ-9	
	4	14:50～ 16:20	総合講義 口腔生化学④					
	5	16:30～ 18:00						

		10/23	10/24	10/25	10/26	10/27	10/28	10/29
32	1	9:00～ 10:30	摂食嚥下療法学-10	口腔外科学-10	クラウンブリッジ補綴学-10	歯科放射線学-10		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-10	高齢者歯科学-10	総合講義 歯科薬理学⑤	口腔インプラント学-10	総合講義 口腔生理学④	
	3	13:10～ 14:40	総合講義 口腔微生物学④	小児・矯正基礎実習-10	臨床予備演習-10	歯内治療学実習-10	歯科補綴学実習Ⅱ-10	
	4	14:50～ 16:20	総合講義 歯科理工学④					
	5	16:30～ 18:00						

		10/30	10/31	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5
33	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 13	摂食嚥下療法学-11	口腔外科学-11	クラウンブリッジ補綴学-11		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-11	高齢者歯科学-11	総合講義 口腔病理学④	口腔インプラント学-11		
	3	13:10～ 14:40	総合講義 口腔生化学⑤	小児・矯正基礎実習-11	臨床予備演習-11	歯内治療学実習-11	文化の日	
	4	14:50～ 16:20	総合講義 歯科薬理学⑥					
	5	16:30～ 18:00						

		11/6	11/7	11/8	11/9	11/10	11/11	11/12
34	1	9:00～ 10:30	摂食嚥下療法学-12	口腔外科学-12	クラウンブリッジ補綴学-12	歯科放射線学-11		
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-12	高齢者歯科学-12	総合講義 公衆衛生学⑤	口腔インプラント学-12	総合講義 歯科矯正学①	
	3	13:10～ 14:40	総合講義 保存修復学③	小児・矯正基礎実習-12	臨床予備演習-12	歯内治療学実習-12	歯科補綴学実習Ⅱ-11	
	4	14:50～ 16:20	総合講義 全部床義歯補綴学①					
	5	16:30～ 18:00						

		11/13	11/14	11/15	11/16	11/17	11/18	11/19
35	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 14	摂食嚥下療法学-13	口腔外科学-13	クラウンブリッジ補綴学-13	歯科放射線学-12	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-13	高齢者歯科学-13	総合講義 歯科矯正学②	口腔インプラント学-13	総合講義 医療面接学③	
	3	13:10～ 14:40	総合講義 口腔生化学⑥	小児・矯正基礎実習-13	臨床予備演習-13	歯内治療学実習-13	歯科補綴学実習Ⅱ-12	
	4	14:50～ 16:20	総合講義 全部床義歯補綴学②					
	5	16:30～ 18:00						

		月	火	水	木	金	土	日	
		11/20	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	11/26	
36	1	9:00～ 10:30		摂食嚥下療法学-14	口腔外科学-14	歯科放射線学-13 総合講義 口腔病理学⑤ 歯科補綴学実習Ⅱ-13			
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-14	高齢者歯科学-14	総合講義 全部床義歯補綴学③				
	3	13:10～ 14:40	総合講義 小児歯科学①	小児・矯正基礎実習-14	臨床予備演習-14		勤労感謝の日		
	4	14:50～ 16:20	総合講義 歯内治療学①						
	5	16:30～ 18:00							

		11/27	11/28	11/29	11/30	12/1	12/2	12/3
37	1	9:00～ 10:30	Weekly Test 15	摂食嚥下療法学-15	口腔外科学-15	クラウンブリッジ補綴学-14	歯科放射線学-14	
	2	10:40～ 12:10	歯科麻酔学-15	高齢者歯科学-15	総合講義 歯周病学①	口腔インプラント学-14	総合講義 公衆衛生学⑥	
	3	13:10～ 14:40	総合講義 小児歯科学②	小児・矯正基礎実習-15	臨床予備演習-15	歯内治療学実習-14	歯科補綴学実習Ⅱ-14	
	4	14:50～ 16:20	総合講義 歯内治療学②					
	5	16:30～ 18:00						

		12/4(木曜授業)	12/5(金曜授業)	12/6	12/7	12/8	12/9	12/10
38	1	9:00～ 10:30	クラウンブリッジ補綴学-15	歯科放射線学-15	Weekly Test 16	授業なし	授業なし	
	2	10:40～ 12:10	口腔インプラント学-15	総合講義 公衆衛生学⑦				
	3	13:10～ 14:40	歯内治療学実習-15	歯科補綴学実習Ⅱ-15				
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17
39	1	9:00～ 10:30	定期試験 1	定期試験 2	定期試験 3	定期試験 4	定期試験 5	
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40						
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		12/18	12/19	12/20	12/21	12/22	12/23	12/24
40	1	9:00～ 10:30	定期試験 6	定期試験 7	定期試験 8	定期試験 9	総合講義①	総合講義②
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40						
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31
41	1	9:00～ 10:30	総合講義③	総合講義④	冬季休業	冬季休業	冬季休業	冬季休業
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40						
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7
42	1	9:00～ 10:30	元 旦	冬季休業	冬季休業	追・再試験 1	追・再試験 2	
	2	10:40～ 12:10						
	3	13:10～ 14:40						
	4	14:50～ 16:20						
	5	16:30～ 18:00						

		月	火	水	木	金	土	日	
43		1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14	
	1	9:00～ 10:30	成人の日	追・再試験 3	追・再試験 4	追・再試験 5	追・再試験 6		ファウン ダース デー
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							
44		1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	
	1	9:00～ 10:30	追・再試験 7	追・再試験 8	追・再試験 9	CBT模擬試験②			
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							
45		1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	
	1	9:00～ 10:30							
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							
46		1/29	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	
	1	9:00～ 10:30	創立記念日	CBT実施説明	共用試験 (CBT本試験)				
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							
47		2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	
	1	9:00～ 10:30			卒業式 (予定)			建国 記念 日	
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							
48		2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	
	1	9:00～ 10:30	振替休日				共用試験 (OSCE本試験)		
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40				テストラン			
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							
49		2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25	
	1	9:00～ 10:30	共用試験 (CBT追再試験)			天皇誕生日			
	2	10:40～ 12:10							
	3	13:10～ 14:40							
	4	14:50～ 16:20							
	5	16:30～ 18:00							

		月	火	水	木	金	土	日
		2/26	2/27	2/28	2/29	3/1	3/2	3/3
50	1	9:00~ 10:30						
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						
		共用試験 (OSCE再試験)						
		3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10
51	1	9:00~ 10:30						
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						
		3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16	3/17
52	1	9:00~ 10:30						
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

2023年度 第4学年 年間予定

2023年

3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	水		1	土		1	月⑥		1	木⑧		1	土		1	火		1	金③	
2	木		2	日		2	火⑥		2	金⑨		2	日		2	水		2	土	2月
3	金		3	月②		3	水 憲法記念日		3	土		3	月 Weekly Test 7 ⑬木曜授業		3	木		3	日	3火
4	土		4	火②		4	木 みどりの日		4	日		4	火⑮		4	金		4	月③	
5	日		5	水②		5	金 こどもの日		5	月⑪		5	水⑭		5	土		5	火③	
6	月		6	木 入学式		6	土		6	火⑪		6	木⑭		6	日		6	水③	
7	火		7	金 健康診断 ②		7	日		7	水⑩		7	金⑭		7	月		7	木④	
8	水		8	土		8	月⑦		8	木⑨		8	土		8	火		8	金④	
9	木		9	日		9	火⑦		9	金⑩		9	日		9	水		9	土	9月
10	金		10	月 Weekly Test 1 ③		10	水⑥		10	土		10	月⑮		10	木		10	日	10火
11	土		11	火③		11	木⑤		11	日		11	火⑮金曜授業		11	金 山の日		11	月 Weekly Test 10 ④	
12	日		12	水③		12	金⑥		12	月 Weekly Test 5 ⑫		12	水⑮		12	土		12	火④	
13	月		13	木②		13	土		13	火⑫		13	木⑮		13	日		13	水④	
14	火		14	金③		14	日		14	水⑪		14	金 Weekly Test 8		14	月		14	木⑤	
15	水		15	土		15	月 Weekly Test 3 ⑧		15	木⑩		15	土		15	火		15	金⑤	
16	木		16	日		16	火⑧		16	金⑪		16	日		16	水 夏季休業終了		16	土	16月
17	金		17	月④		17	水⑦		17	土		17	月 海の日		17	木 後期授業開始 ①		17	日	17火
18	土		18	火④		18	木⑥		18	日		18	火 定期試験 1		18	金①		18	月 敬老の日	
19	日		19	水④		19	金⑦		19	月⑬		19	水 定期試験 2		19	土		19	火⑤	
20	月		20	木③		20	土		20	火⑬		20	木 定期試験 3		20	日		20	水⑤	
21	火 春分の日		21	金④		21	日		21	水⑫		21	金 定期試験 4		21	月①		21	木⑤月曜授業	
22	水		22	土		22	月⑨		22	木⑪		22	土		22	火①		22	金⑥	
23	木		23	日		23	火⑨		23	金⑫		23	日		23	水①		23	土 秋分の日	
24	金 オリエンテーション		24	月 Weekly Test 2 ⑤		24	水⑧		24	土		24	月 定期試験 5		24	木②		24	日	24火
25	土		25	火⑤		25	木⑦		25	日		25	火 定期試験 6		25	金②		25	月 Weekly Test 11 ⑥	
26	日		26	水⑤		26	金⑧		26	月 Weekly Test 6 ⑭		26	水 定期試験 7		26	土		26	火⑥	26木
27	月 前期授業開始 ①		27	木④		27	土		27	火⑭		27	木 定期試験 8		27	日		27	水⑥	
28	火①		28	金⑤		28	日		28	水⑬		28	金 定期試験 9		28	月 Weekly Test 9 ②		28	木⑥	
29	水①		29	土 昭和の日		29	月 Weekly Test 4 ⑩		29	木⑫		29	土		29	火②		29	金⑦	
30	木①		30	日		30	火⑩		30	金⑬		30	日 夏季休業(～8/16)		30	水②		30	土	30月
31	金①					31	水⑨					31	月		31	木③				

2024年

10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	日		1	水	⑪	1	金	⑭	1	月	元日	1	木		1	金	
2	月	⑦	2	木	⑪	2	土		2	火		2	金		2	土	
3	火	⑦	3	金	文化の日	3	日		3	水		3	土		3	日	
4	水	⑦	4	土		4	月	⑮木曜授業	4	木	冬季休業終了	4	日		4	月	
5	木	⑦	5	日		5	火	⑮金曜授業	5	金	追・再試験 1	5	月		5	火	
6	金	⑧	6	月	⑫	6	水	Weekly Test 16	6	土	追・再試験 2	6	火		6	水	
7	土		7	火	⑫	7	木	授業なし	7	日		7	水		7	木	
8	日		8	水	⑫	8	金	授業なし	8	月	成人の日	8	木	卒業式(予定)	8	金	
9	月	スポーツの日	9	木	⑫	9	土		9	火	追・再試験 3	9	金		9	土	
10	火	⑧	10	金	⑪	10	日		10	水	追・再試験 4	10	土		10	日	
11	水	⑧	11	土		11	月	定期試験 1	11	木	追・再試験 5	11	日	建国記念の日	11	月	
12	木	⑧	12	日		12	火	定期試験 2	12	金	追・再試験 6	12	月	振替休日	12	火	
13	金	⑧月曜授業	13	月	Weekly Test 14 ⑬	13	水	定期試験 3	13	土		13	火		13	水	
14	土		14	火	⑬	14	木	定期試験 4	14	日	ファウンダーズデイ	14	水		14	木	
15	日		15	水	⑬	15	金	定期試験 5	15	月	追・再試験 7	15	木		15	金	
16	月	Weekly Test 12 ⑨	16	木	⑬	16	土		16	火	追・再試験 8	16	金	OSCEテストラン	16	土	
17	火	⑨	17	金	⑫	17	日		17	水	追・再試験 9	17	土	共用試験 OSCE本試験	17	日	
18	水	⑨	18	土		18	月	定期試験 6	18	木		18	日		18	月	
19	木	⑨	19	日		19	火	定期試験 7	19	金	CBT模擬試験②	19	月		19	火	
20	金	⑨	20	月	⑭	20	水	定期試験 8	20	土		20	火	共用試験 CBT再試験	20	水	春分の日
21	土		21	火	⑭	21	木	定期試験 9	21	日		21	水		21	木	
22	日		22	水	⑭	22	金	総合講義①	22	月		22	木		22	金	
23	月	⑩	23	木	勤労感謝の日	23	土	総合講義②	23	火		23	金	天皇誕生日	23	土	
24	火	⑩	24	金	⑬	24	日	CBT模擬試験①	24	水		24	土		24	日	
25	水	⑩	25	土		25	月	総合講義③	25	木		25	日		25	月	
26	木	⑩	26	日		26	火	総合講義④	26	金		26	月	共用試験 OSCE再試験	26	火	
27	金	⑩	27	月	Weekly Test 15 ⑮	27	水	冬季休業(～1/4)	27	土		27	火		27	水	
28	土		28	火	⑮	28	木		28	日		28	水		28	木	
29	日		29	水	⑮	29	金		29	月	創立記念日	29	木		29	金	
30	月	Weekly Test 13 ⑪	30	木	⑭	30	土		30	火	CBT実施説明会				30	土	
31	火	⑪				31	日		31	水	共用試験CBT本試験				31	日	

病 院 概 要

【病院概要】

病院敷地面積	10,986.5㎡
病院建設延面積	15,843.80㎡（地下1階、地上4階）
病院理念	建学の精神に立脚し患者個人の尊厳を重んじた手厚い医療を行う。教学一致の不断の研鑽と高雅な学識、技法に基づく臨床教育及び生涯教育を行い人間性豊かな知識・技術・態度に優れた医療人を育成する。 真理を追究し、真理に基づいた医療のために幅広く有意義な臨床研究を推進し先進的かつ質の高い医療を提供しつつ優れた医療人を育成し医学の発展と地域社会に貢献する。
基本方針	私たちは「やさしく、安全、親切で、確かな医療」を提供できる病院を目指します。
標榜科	歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科、内科、消化器内科、神経内科、耳鼻いんこう科、整形外科、松本歯科大学二條皮ふ科クリニック※サテライト診療所
受付・診療時間	歯科診療部 初診受付 平 日 8:30～11:00／13:00～16:00 土曜日 8:30～11:00 再診受付 平 日 8:30～11:30／13:00～16:30 土曜日 8:30～11:30
診療時間	診療時間 平 日 9:00～12:00／13:00～17:00 土曜日 9:00～12:00 内科・消化器内科・神経内科・耳鼻いんこう科※ 初診受付 月・火・木・金 8:30～11:30／木のみ 14:00～16:30 再診受付 月・火・木・金 8:30～11:30／木のみ 14:00～16:30 ※月・火・金の午後は予約のみ 診療時間 月・火・木・金 9:00～12:00／14:00～17:00 ※土曜日は休診となります。 ※耳鼻いんこう科は水曜日手術日、第4金曜日休診となります。 整形外科 初診受付 平 日 8:30～10:30／14:00～16:00 再診受付 平 日 8:30～11:30／14:00～16:30 診療時間 平 日 9:00～12:00／14:00～17:00 ※土曜日は休診となります。 ※水曜日、金曜日の初診受付は午前中のみとなります。

休診日	日曜、祝日、創立記念日、夏季休業、年末年始休業等
患者数	2019年度1日平均外来 480人（医科を含む） 2019年度1日平均入院 9人（同）
病床数	病床数31床
主な設備	チェアーユニット108台、超音波診断装置、MRI、マルチスライスCTスキャナー、歯科用小型エックス線CT（3DX）、マイクロスコプレーザー治療装置、レーザー溶接機、デンタルキャディシステム、歯科用シミュレーションシステム、電子カルテシステム、医療用画像管理システム（PACS）

【カルテの閲覧】

2008年4月15日よりカルテは電子化されている。レポート提出等で電子カルテの閲覧が必要になった場合は、担当医の許可を得て指示を仰ぐ。

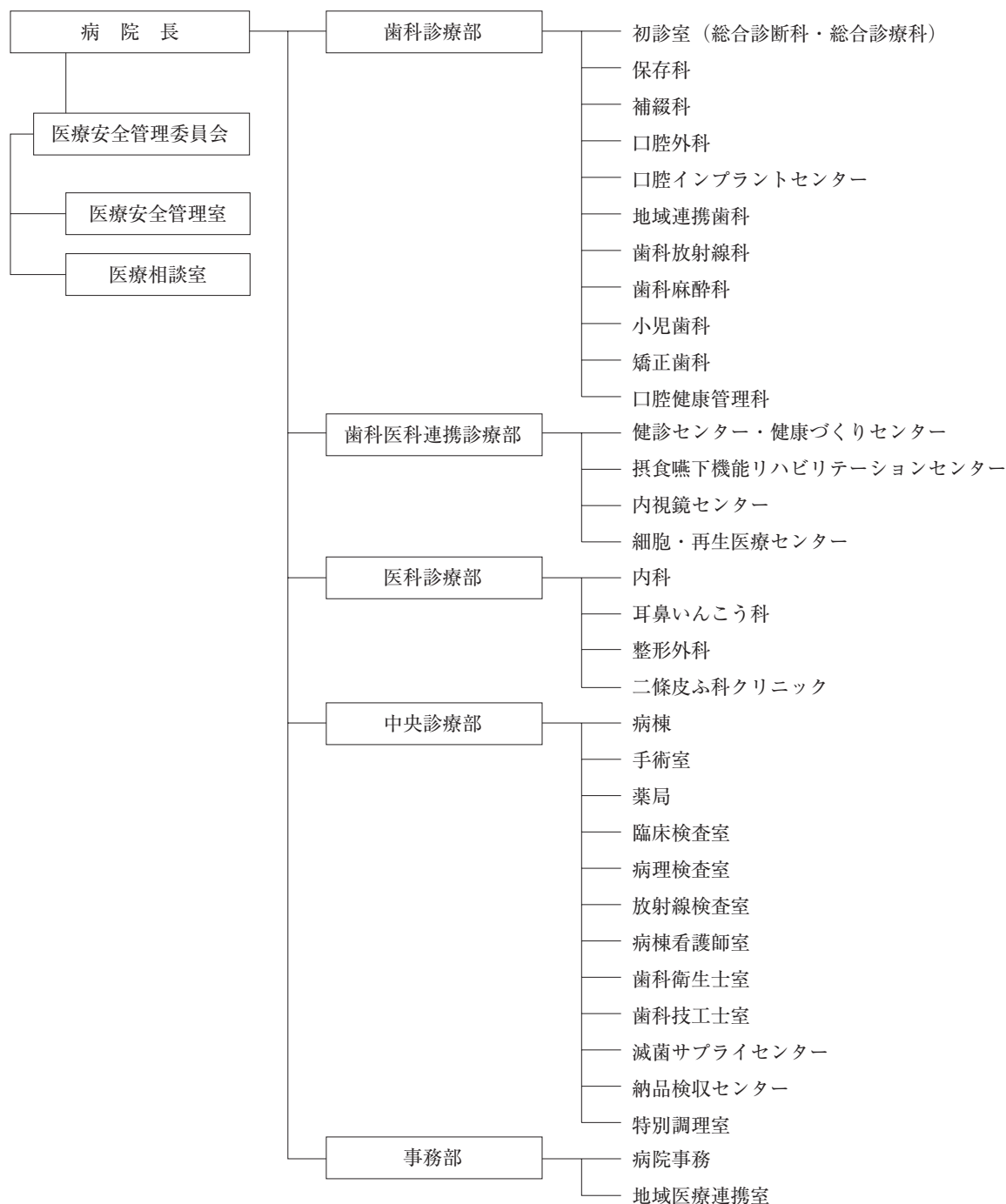
【法令関係】

歯科医業を行っていくためには、種々の法令の制約を受けることになる。歯科医業に関連する法令としては、歯科医師法、薬事法、医療法、健康保険法（国民健康保険法）、保険医療機関及び保険医療養担当規則、歯科点数表の解釈などがある。

歯科医師法	歯科医師の任務、免許、試験、業務等について定めた法律
薬事法	医薬品、医薬部外品、化粧品及び医療用具に関する事項を規制し、これらの品質、有効性及び安全性を確保することを目的とする法律
医療法	医療を提供する体制の確保を図り、もって国民の健康の保持に寄与することを目的とし、医療施設の計画的な整備、医療施設の人的構成、構造設備、管理体制等の規制、医療法人の規制等を行う法律
健康保険法	医療保険制度の中の1つの保険制度 勤労者（加入者）及びその家族が業務外の事由により病気やけがをしたり、死亡、出産した場合に備えて、被保険者と事業主とが保険料を負担して、被保険者及び被扶養者の保険事故に対して保険給付を行い、勤労者やその家族の生活の安定を図ることを目的とした法律
保険医療機関及び保険医療養担当規則	保険医療の原則を定めたものであり、保険医療機関が保険診療を行うにあたっての責務等を定めたものと、保険医が診療を行う際の診療方針等を定めたものの2部から構成されている。
歯科点数表の解釈	保険診療においては個々の医療行為を点数化し、診療報酬明細書（レセプト）として支払機関を通じて保険者に請求する。1点単価は10円であり、歯科点数表は基本診療科、指導管理等、在宅医療、検査、画像診断、投薬、注射、リハビリ、処置、手術、麻酔、放射線治療、歯冠修復及び欠損補綴、歯科矯正の各部から構成されている。歯科点数表は通常2年ごとに改定される。

【組織図】

病院の組織図は以下のようになっている。病院の運営に係る重要事項は、病院長会議及び口腔診療会議、医科診療会議で審議される。臨床実習については、臨床実習運営委員会によりカリキュラムの策定・実習の評価・進級の予備判定等、運営が図られている。



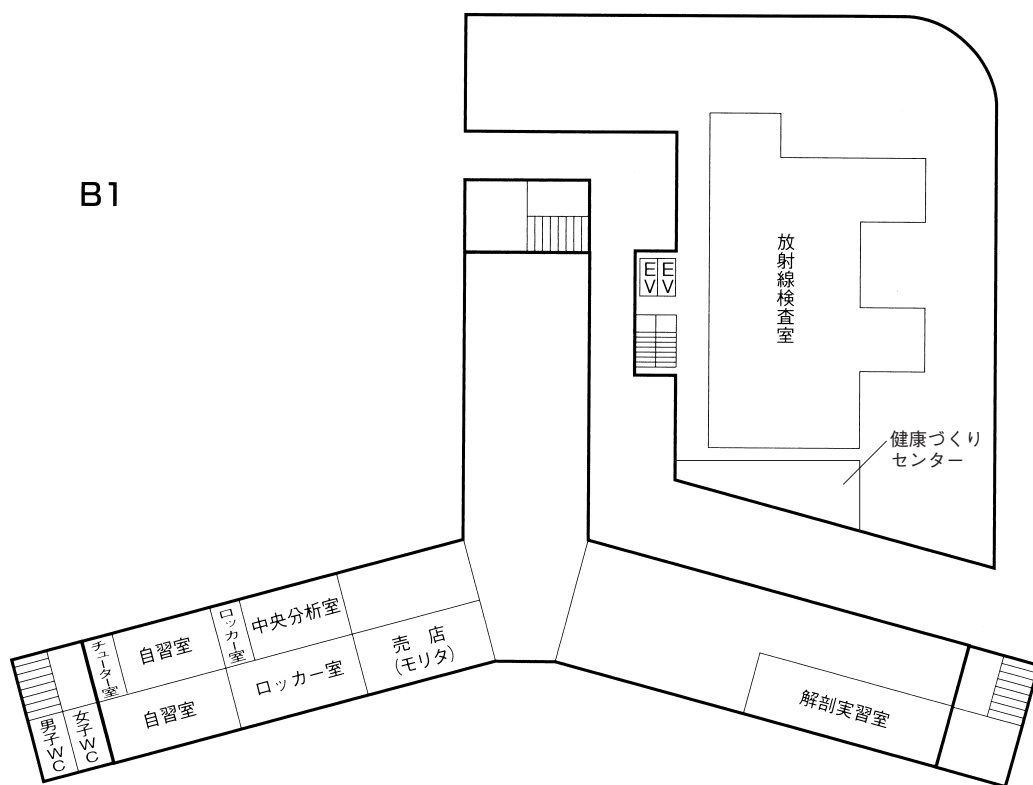
施設概要図



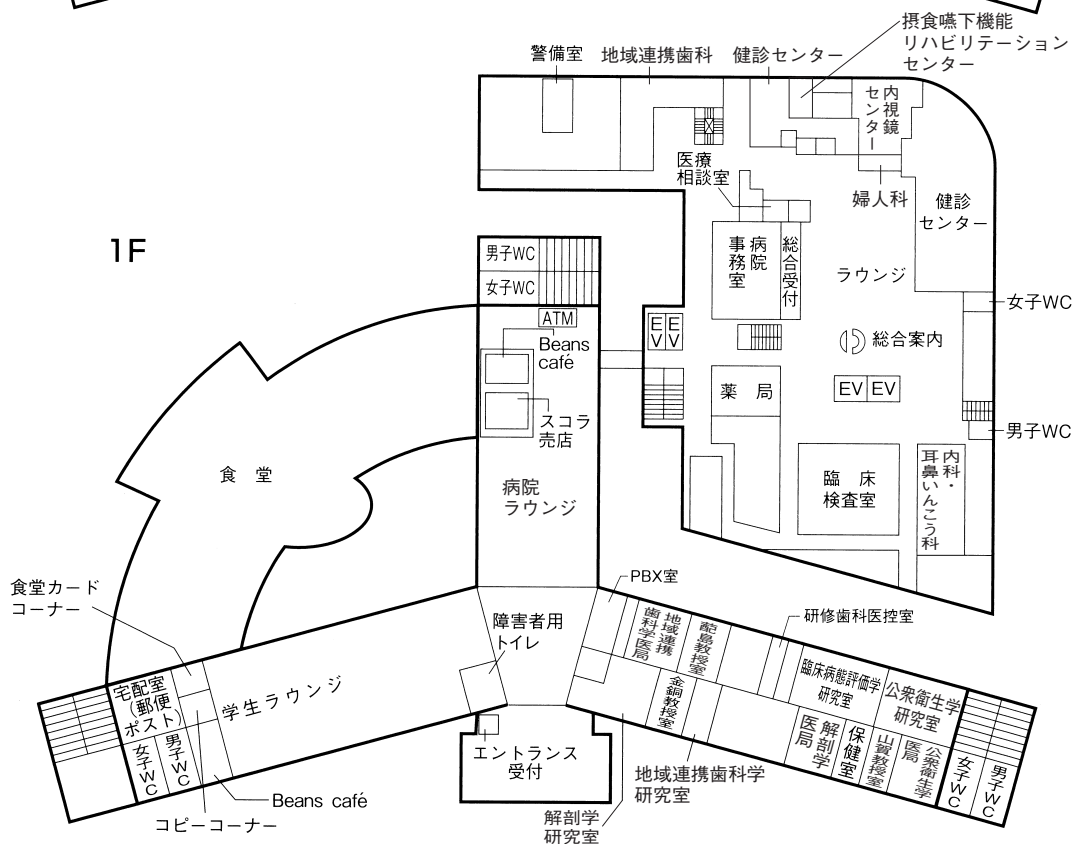
①	大 学 本 館	⑧	陸 上 競 技 場
②	本 部 館	⑨	野 球 場
③	体 育 館	⑩	ゴ ル フ 練 習 場
④	実 習 館	⑪	創 立 30 年 記 念 棟
⑤	講 義 館	⑫	総合歯科医学研究所
⑥	ハイテクセンター	⑬	CAMPUS INN
⑦	図 書 会 館	⑭	病 院 棟

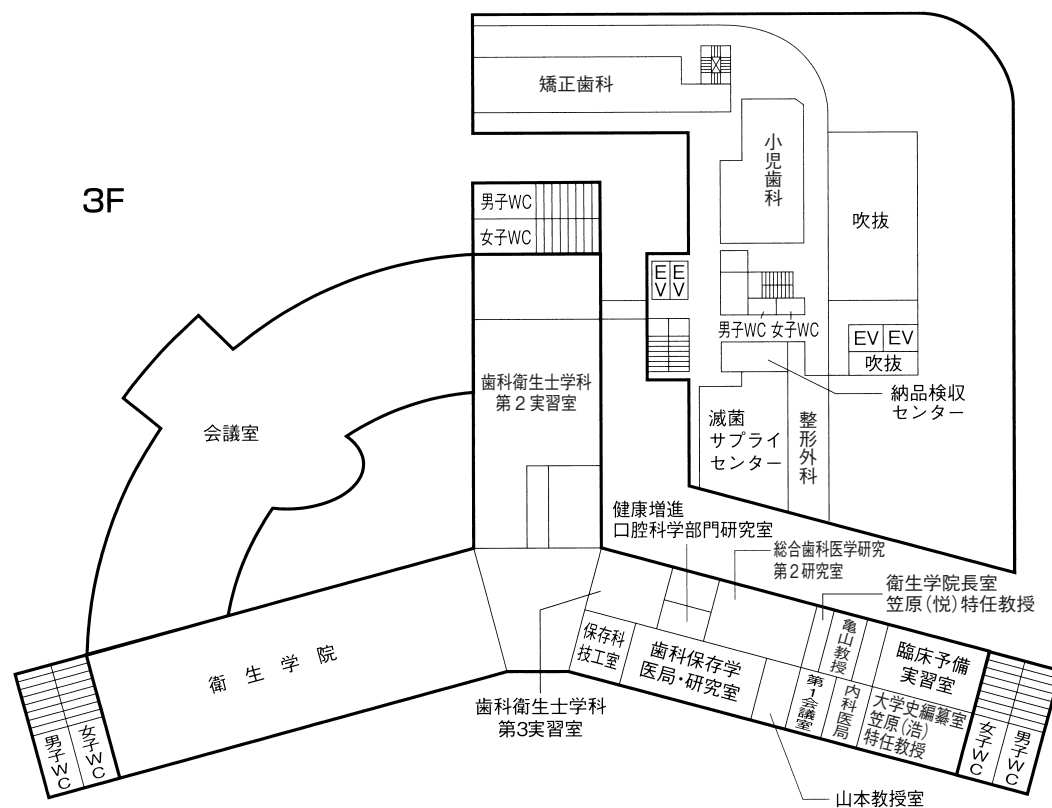
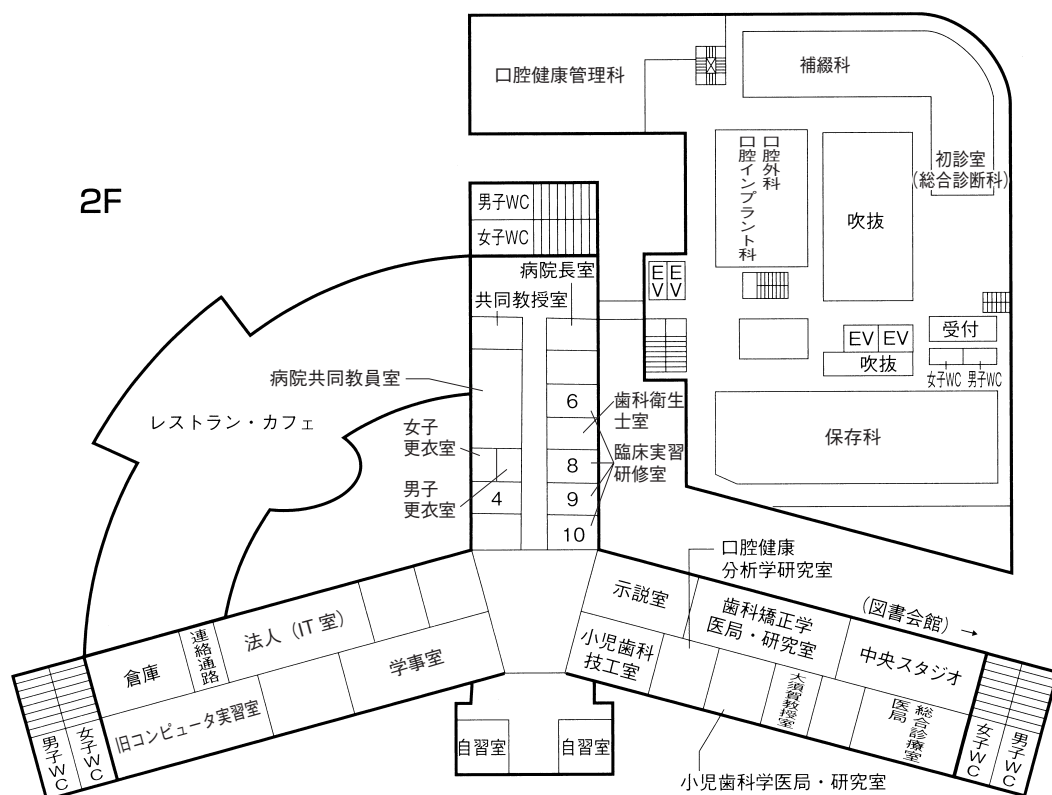
—301—

B1

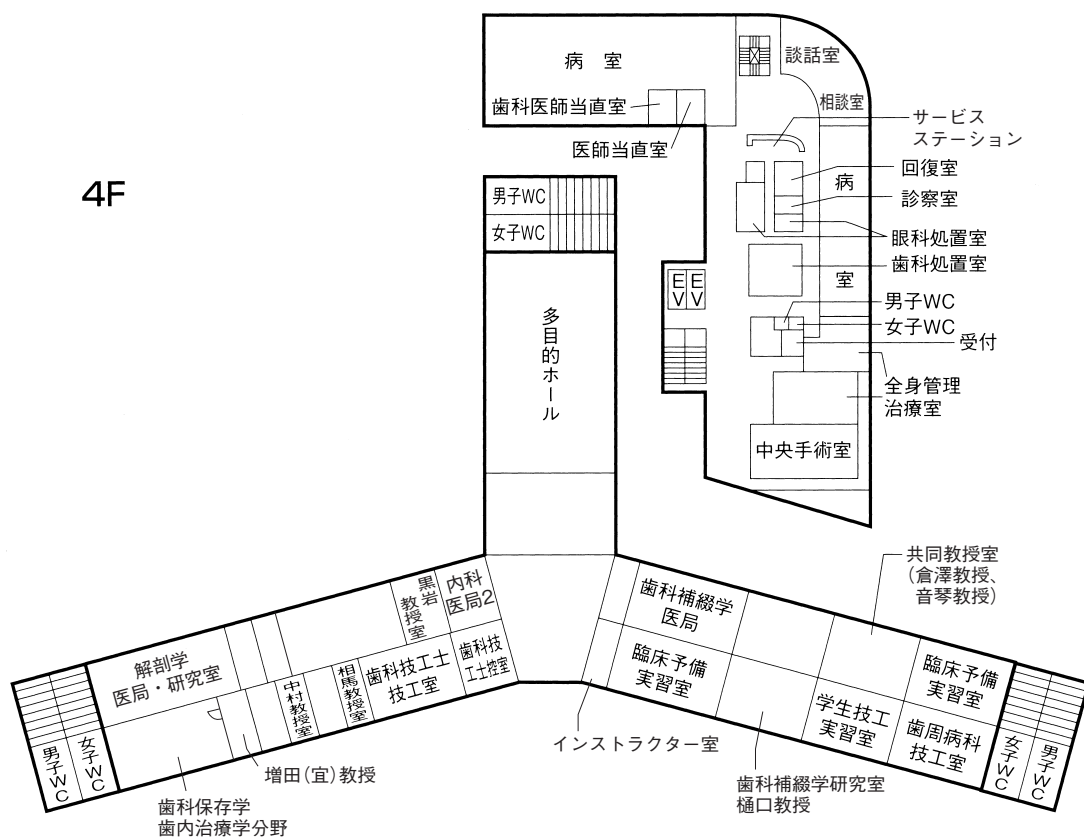


1F

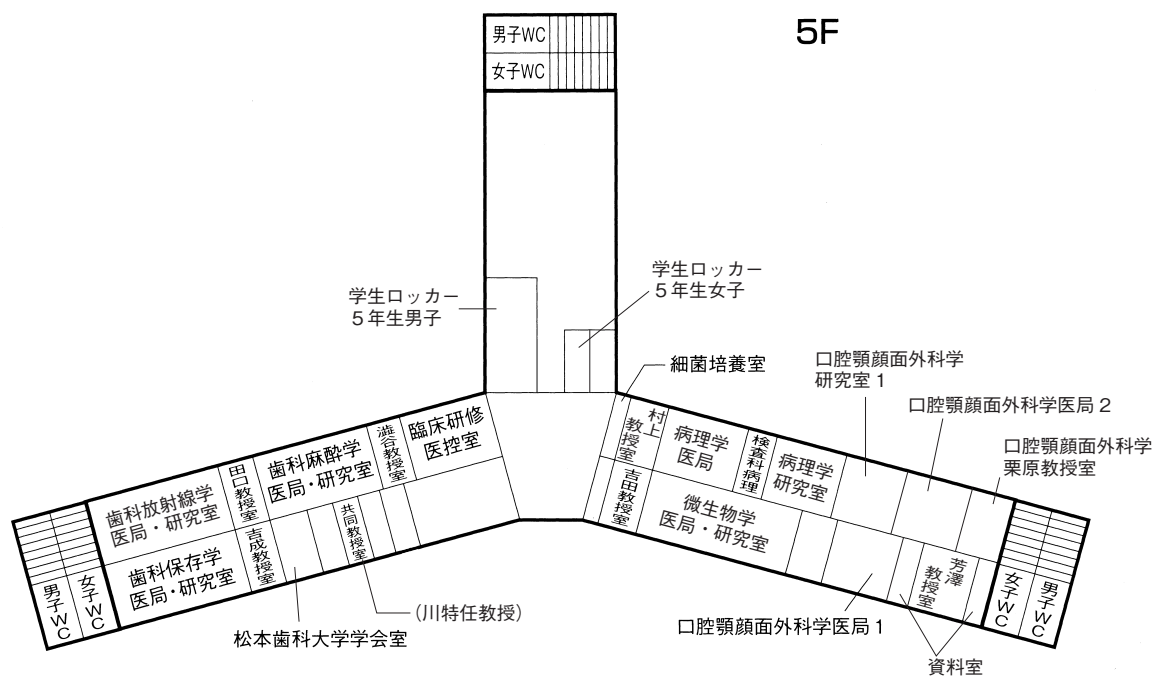


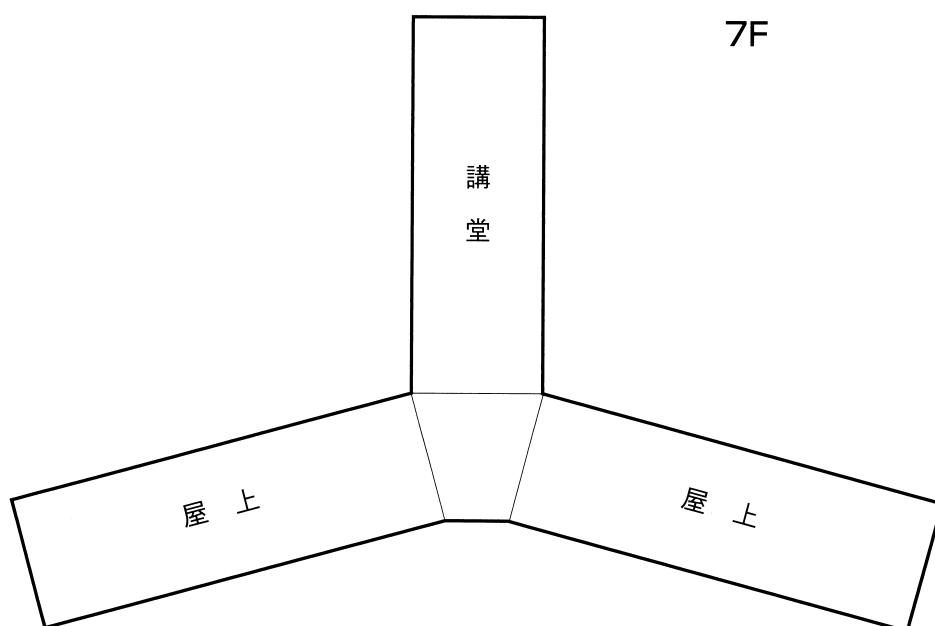
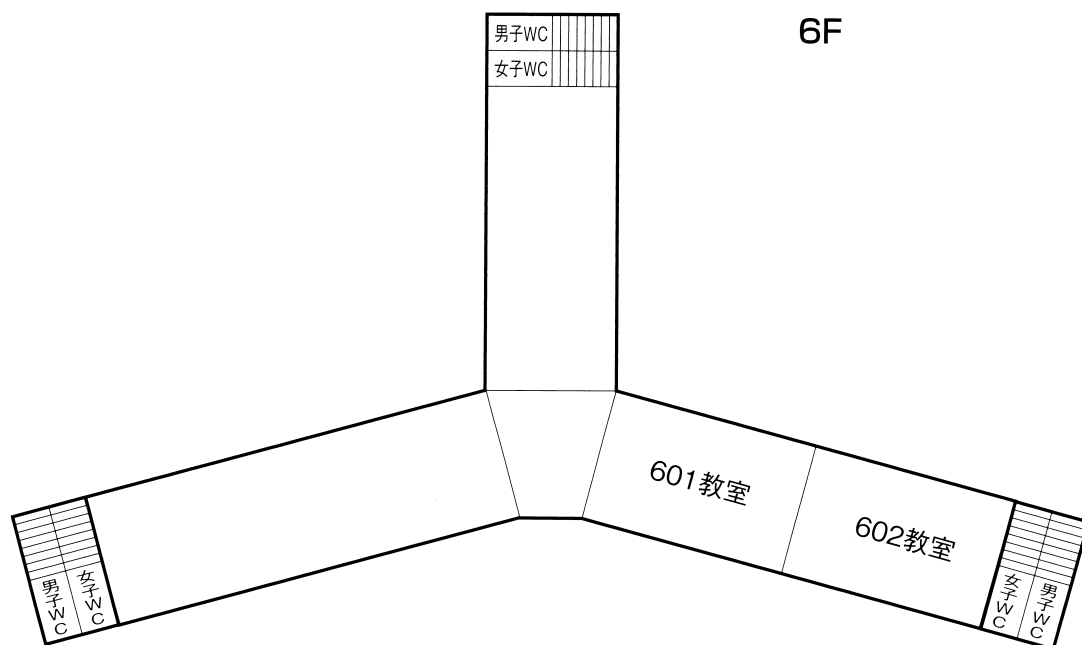


4F



5F





講義館概要

- | | |
|----------|-----------|
| ① | ⑥ |
| ② 共同教授室 | ⑦ |
| ③ 非常勤講師室 | ⑧ 英語非常勤講師 |
| ④ | ⑨ |
| ⑤ | ⑩ |

2F

①	②	③	④	共同研究室		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
201				ロビー				202			
204				標 本 室	講 師 室 勤	衛生学院教員室		203			

1F

駐輪場	101	105	102	駐輪場
106	ロビー			107
	103		104	

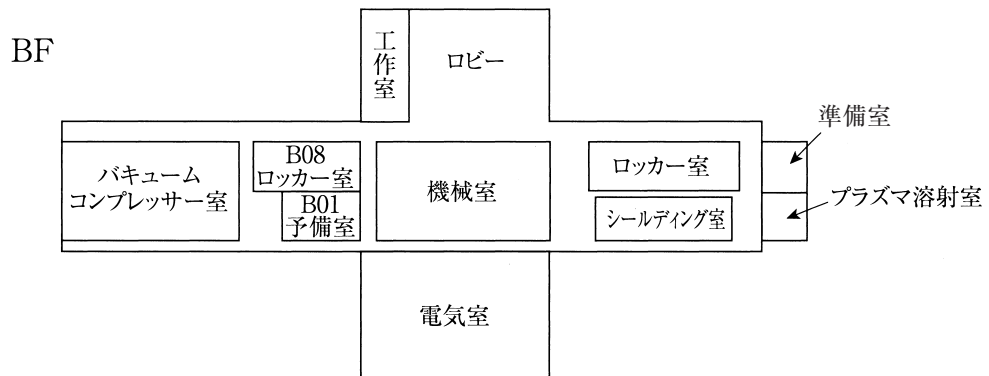
(正面玄関)

BF

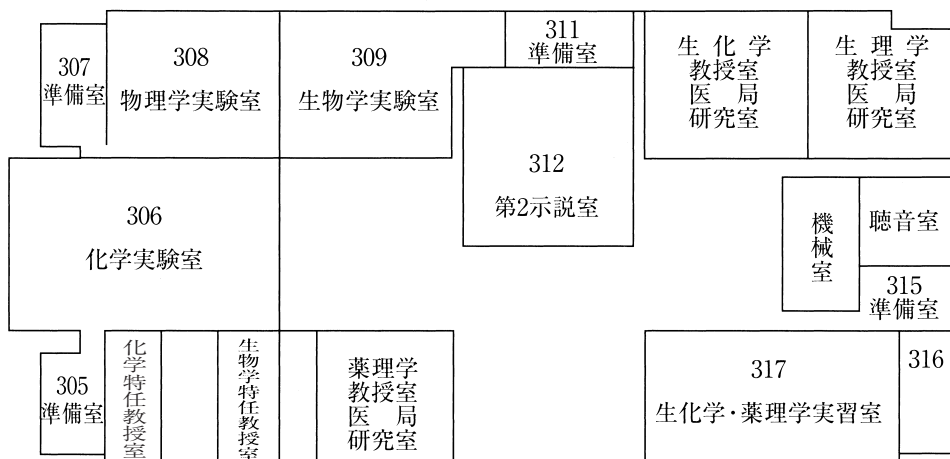
男子ロッカー室		
B01	女子ロッカー 空調機械室	B02
男子ロッカー室		

実習館概要

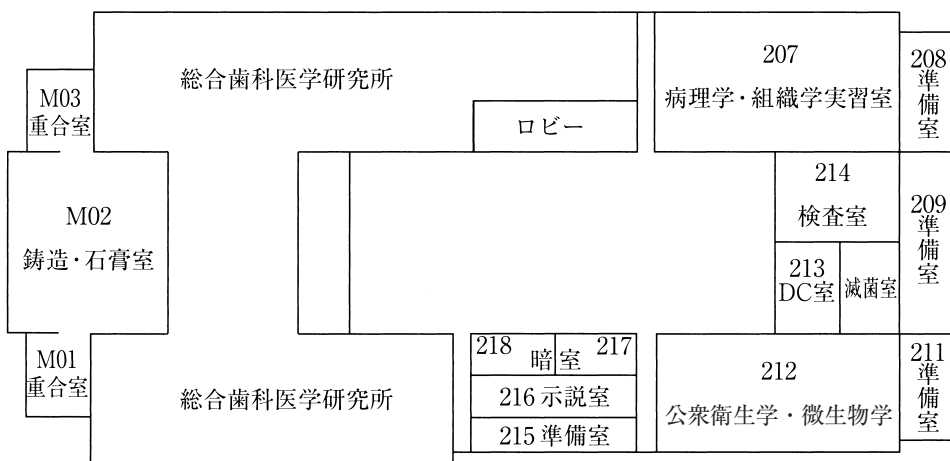
3 F	北川教授（生理学） 宇田川教授（生化学） 荒教授（薬理学） 教室（312） 実験室（306、308、309） 実習室（317）
2 F	教室（216）、総合歯科医学研究所 実習室（207、212）
1 F	黒岩教授（理工学） 実習室（101、113） 共同教員室 売店（アマービレスコラ）
B F	学生ロッカー室



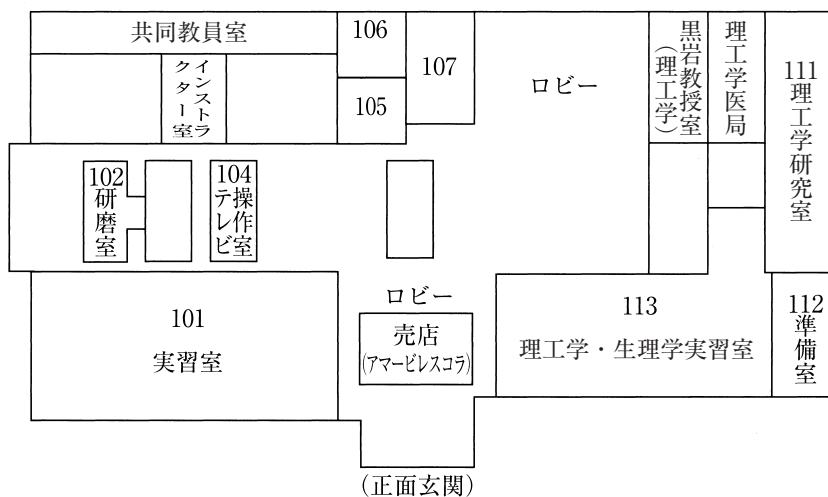
3F



2F

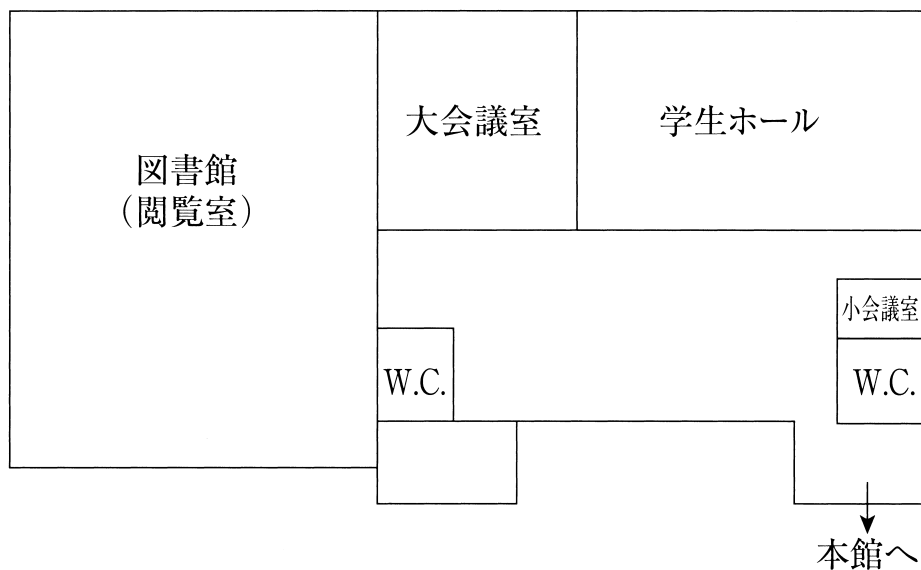


1F

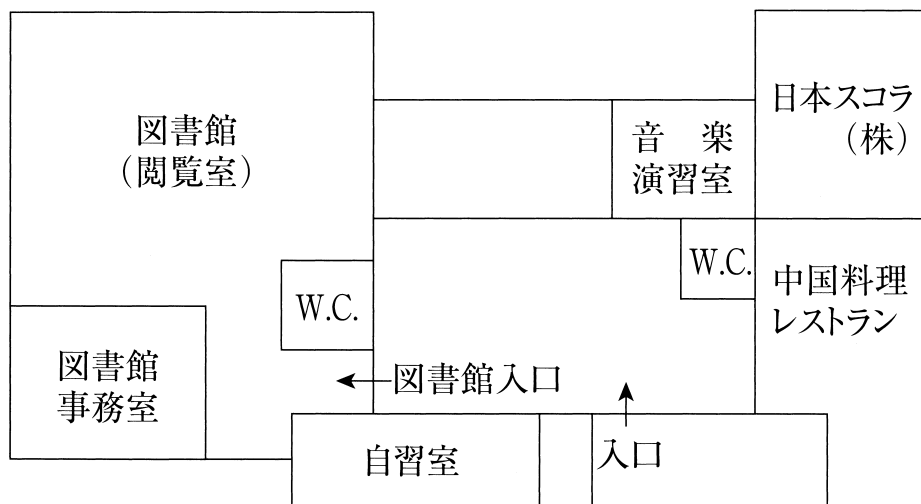


図書会館概要

2F

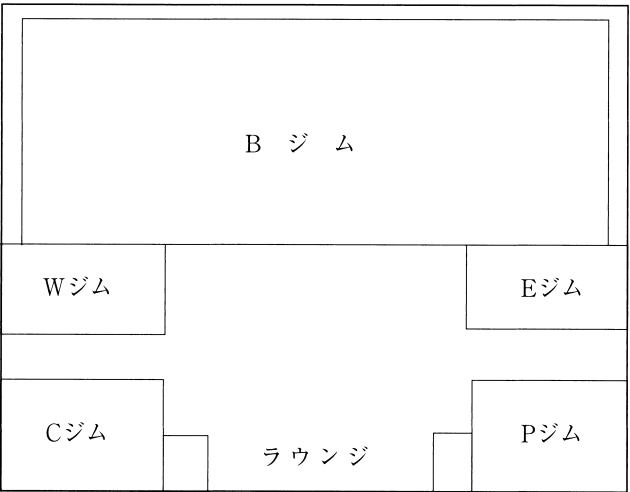


1F

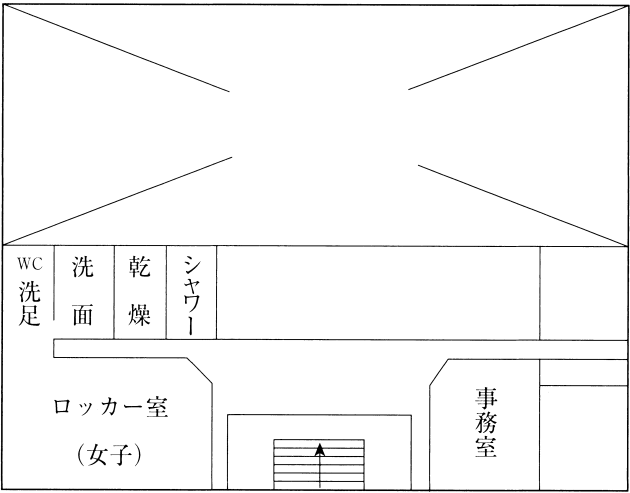


体育館概要

3F

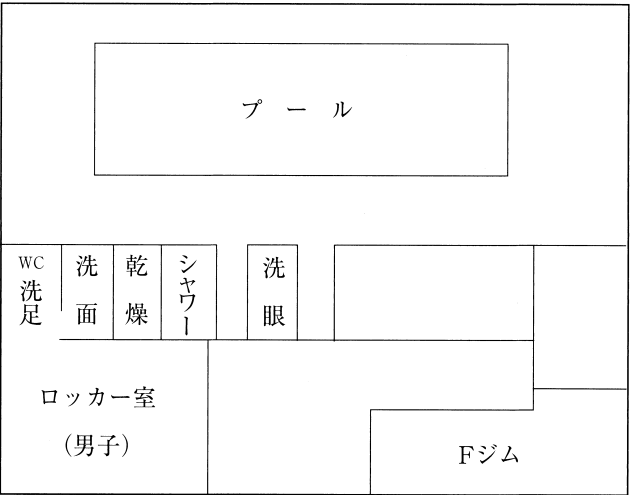


2F

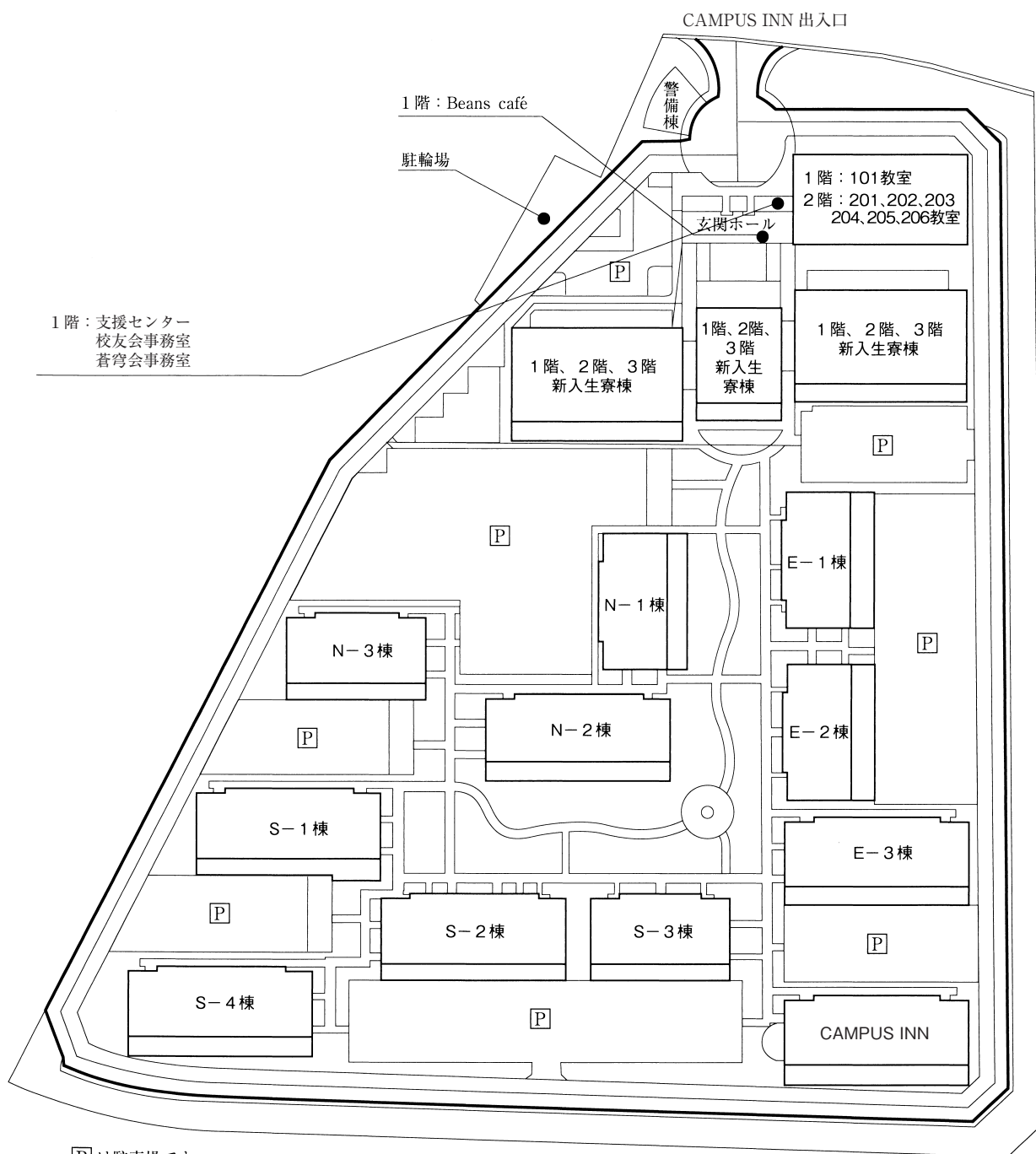


入 口

1F



CAMPUS INN 配置図



授業大要（シラバス） 2023 年度

発 行 2023 年 3 月

松 本 歯 科 大 学

川 原 一 祐

印 刷 日本ハイコム株式会社

